

第七十回帝國議會
衆議院

樺太市制案委員會會議錄(速記)第十回

會 議

昭和十二年三月二十三日(火曜日)午後一時
二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 野村 嘉六君

理事 川崎末五郎君 理事 門田 新松君

齋藤 直橋君 牧山 耕藏君

南條 德男君 片山秀太郎君

上塚 司君

出席國務大臣左ノ如シ

內閣總理大臣 林 銑十郎君
兼文部大臣

外務大臣 佐藤 尚武君

出席政府委員左ノ如シ

對滿事務局次長 青木 一男君

外務次官 堀内 謙介君

外務省亞米利加局長 岡本 季正君

拓務次官 入江 海平君

拓務書記官 副島 勝君

拓務書記官 武田 寛一君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員 植原悦二郎君

議員 服部 教一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

海外移住組合聯合會ニ對スル政府貸付金
ノ出資等ニ關スル法律案(政府提出)

大正九年法律第五十三號中改正法律案

(關稅法及關稅定率法等ノ朝鮮ニ於ケル
特例ニ關スル件)(政府提出)

○野村委員長 是ヨリ開會致シマス——齋
藤君

○齋藤委員 今ハ海外移住組合聯合會ニ對
スル政府貸付金ノ出資等ニ關スル法律案、
是デスカ

○野村委員長 サウデス、今日ハ是ダケー
ツ進メタイト思ッテ居リマス

○齋藤委員 私ハ前會他ノ委員會ニ出席致
シテ居リマシテ、案ノ御説明ガアッタサウ
デアリマスケレドモ、缺席ノ爲ニ承ラナカッ
タノデアリマス、隨テ私御尋致シタイコト
ハ、或ハ既ニ御説明下サッテ居ルカモ知レ
マセスケレドモ、缺席致シタヤウナ關係モ
アリマスカラ、其點御諒承ヲ願ヒマス、先
ヅ一般的ノ問題ニ付テ御尋ヲ致シテ見タイ
ト思フノデアリマス、御承知ノ通り、我國
ノ人口ハ一箇年百萬程度ノ増加ヲ致シテ居

リマスノデ、此人口ノ調節ヲ如何ニスル
カト云フコトハ、是ハ國ノ政策トシテ非常
ニ重要ナ問題ト心得マス、隨テ人口ノ調節
ニハ先ヅ此移民問題ヲ、第一ニ私ハ揭ゲナ
ケレバナラヌト思フ、然ル所世界各國ヲ見
渡シマシテモ、殆下全部ガ我國ノ移民ニ對
シテ門戸ヲ閉鎖致シテ居リマス、僅ニ「プ
ラジル」ソレト最近ニハ滿洲國ヲ數ヘルニ
過ギナイト私ハ思フノデアリマシテ、其他
ハ我國ノ移民地トシテ好適ナ地方ハ多々ア
ルノデアリマスケレドモ、是ハ奈何セン門
戸ヲ閉鎖致シテ居ル、此世界的門戸ヲ閉
鎖致シテ居ルト云フコトニ對シテ、政府
ハドウ云フ御處置ヲ執ラレツ、アルカ、
先ヅ總體ノコトヲ一ツ御尋シタイト存ジ
マス

○入江政府委員 御説ノヤウニ日本ノ人口
問題ト云フモノハ、頗ル重大ナ問題デアリ
マシテ、今日日本ノ人口問題ノ解決ト云フ
コトニ付キマシテハ、拓務省トシマシテモ
非常ナ深甚ノ考慮ヲ拂ッテ居ルヤウナ次第
デアリマス、出來ルダケ人口ノ移植ヲ圖ル
ト云フコトヲ以テ、最も必要ト感ジテ居ル

ヤウナ次第デアリマス、ソコデ然ラバドウ
云フ方面ニ此人口ヲ移植セシムルコトガ出
來ルカト、斯ウ云フコトニナリマス、今
日御承知ノ通り日本ノ移民ヲ歡迎シテ居ル
ト云フ所ハ、極メテ少イノデアリマス、滿洲
ハ御承知ノ通りノ關係上日本ノ移民ヲ送ル
コトガ出來マス、南米「ブラジル」ニ於キマ
シテモ、或ル程度ノ數ハ日本ノ移民ヲ入レ
テ呉レルノデアリマスケレドモ、ソレ以上
ハ中々制限ヲシテ入レナイノデアリマス、
然ラバ斯ル狀態ニ置カレテ居ル現狀ニ於キ
マシテ、如何ナル方法ヲ取ルカト云フ御質
問ノヤウデアリマスルガ、是ハ政府トシマ
シテハ、此情勢ヲ默ッテ見テ居ル譯ニハ行キ
マセヌノデアリマスカラ、出來ルダケ列國
トノ間ニ協調ヲ保チ、出來ルダケ日本ノ移
民ヲ入レテ呉レルヤウニ、今出來ルダケノ
處置ヲ講ジツ、アルヤウナ次第デアリマ
ス、唯御承知ノ通り各國各、其國情ヲ異ニ
シテ居リマシテ、各、其國ノ法律其他ニ依ッ
テヤカマシイ制限ヲシテ居ルヤウナ次第デ
アリマスカラ、之ヲ一朝一夕ニ、直チニ
多數ノ日本移民ヲ入レテ呉レルト云フコト

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
大正九年法律第五十三號中改正法律案(關
稅法及關稅定率法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ
關スル件)(政府提出)
海外移住組合聯合會ニ對スル政府貸付金ノ
出資等ニ關スル法律案(政府提出)

ノ諒解ヲ得ルコトハ難シイノデアリマスルケレドモ、斯ル點ニ付キマシテハ出來得ル限り相手國ノ諒解ヲ求メ、サウシテ中ニハ隨分日本ノ國情ヲ誤解シテ居ル點モアルヤウデアリマスカラ、サウ云フ點ニ付キマシテハ出來ルダケ誤解ヲ解クト云フヤウナコトニ取計ッテ居ルヤウナ次第デアリマス、目下出來ルダケ各國トノ間ニ協調ヲ保ッテ、日本ノ移民ヲ入レルヤウニト云フコトニ努力ヲシテ居ルヤウナ次第デアリマス

○齋藤委員 ソコデ第二ニ御尋ヲ致シタイノハ「ブラジル」ノ問題デアリマス、是ハ御承知ノヤウニ、元ハ二三萬ノ移民ガ年々入ッテ居ッタノガ、其後憲法ノ改正カ何カデ三千位ニナツタカト思ヒマス、段々憲法ノ改正後向フノ情勢ガ緩和ヲ致シマシテ、幾ラカ多クナツタヤウニモ吾々聞イテ居マスケレドモ、此「ブラジル」ノ憲法改正、及ビ憲法改正後ニ伴フ情勢ヲ、此際承リタイト思ヒマス

○武田政府委員 「ブラジル」デ移民ノ入國制限ヲ致シマシタノハ、一昨々年ノ七月、憲法デ過去五十年ニ入國定著シタ者ノ二%ヲ以テ、一年間ノ自由移民ノ割當數トスルト云フコトニナツタ譯デアリマシテ、其爲ニ日本ノ「ブラジル」移民ノ數ハ、從來ニ較ベ

テ大ニ制限ヲ受ケタ譯デゴザイマス、其後ニ於ケル「ブラジル」ノ移民問題ノ經過ニ付テ極ク概略ヲ申上ゲマスガ、大體「ブラジル」國ト致シマシテハ、其國情ガドウシテモ勞力ヲ外國移民ニ仰ガナケレバナラヌト云ッタヤウナ狀態ニアルノデアリマシテ、御承知ノ通り彼處ハ農業國デアリマシテ、殊ニ珈琲ヲ以テ主作物トシ、最近デハ棉ガ大イニ生産サレルヤウニナッデ參リマシタガ、其何レモガ相當多クノ勞力ヲ必要トスルノデアリマシテ、是ハドウシテモ外國ノ移民ニ、此勞力ヲ仰ガナケレバナラヌト云ッタヤウナ狀態ニアルノデアリマス、所ガ一方ニハ又國內ニ國粹的ノ思想モ相當アリマシテ、外國ノ移民ニ對シテ門戸ヲ閉鎖シヨウ、殊ニ日本ノ移民ニ對シテ反感ヲ持ッテ居ルヤウナ一部ノ人モアリマスノデ、サウ云フ人カラシテ、ヤハリ日本移民反對ノ聲ヲ上ゲテ居ッタヤウナ事情ガアルノデアリマス、所ガ實際問題トシテハ、今申シマシタヤウニ勞力ヲ外國カラドウシテモ入レナケレバナラヌト云フヤウナ狀態ニアリマスノデ、最近デハ外國ノ移民入國制限ヲ緩和シヨウト云フ聲ガ、「ブラジル」デモ起ッテ居ルコトヲ最近ノ新聞紙デ時々散見スルコトハ、御承知ノ通りダト思ヒマス、最初ハ日本ニ

對スル暫定的ノ移民ノ制限ハ、二千八百人バカリノ人間ヲ、入國許可數トシテ割當テ、居ッタノデアリマスケレドモ、最近ニ至リマシテ——千九百三十六年ノ四月デアツカト思ヒマスガ、其數ヲ三千四百八十人ト云フコトニシタノデアリマス、併シ十四歳未満ノ者ハ事實上其數ノ中カラ除外サレマスノデ、此人員ヲ計算シテ見マスト、大體五千五百人以上ニモナルノデアリマシテ、最近ノ渡航者ノ數ト云フモノハ、ソレ位ナ程度ニ上ッテ居ルノデアリマス、大局カラ見マスト、「ブラジル」國ノ國情ガ海外ニ勞力ノ供給ヲ求メナケレバナラヌト云フヤウナ實情デアリマスシ、ソレカラ日本トシマシテモ、何トカ通商貿易竝ニ日本ノ眞相ヲ向フヘ紹介スルト云ッタヤウナ方法デ、親善關係ヲ促進シテ、移民ノ極ク圓滑ニ入國出來ルヤウナ方法ヲ講ジテ行キタイト云フ考ヲ以テ、之ニ當ッテ居ル次第ナノデアリマス

○齋藤委員 此「ブラジル」移民ノ憲法ノ改正トカ、或ハ其後ノ狀況ナドヲ見マスト、ドウモ向フニ行ッテ居リマス當事者ガ、其ヤリ方ガ拙イノデヤナイカト云フヤウナ説ガアリマスガ、政府ハドウ御考ニナリマスカ、是ハ向フノ官憲ト折衝ノ方法其宜シキヲ得レバ、マダ〳〵早ク此制限ナドハ緩和サレル、サウ云フコトヲ能ク吾々ハ開クノデアリマス、政府ハドウ見ラレテ居リマスカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

○入江政府委員 此點ニ付キマシテハ、是ハ拓務省カラ御答スベキコトデハナイカモ知レマセヌガ、御承知ノ通り「ブラジル」ノ國內ニモ中々國內事情ガアリマシテ、單純ニ理窟バカリデハナクシテ、其國ノ政情ニ依リマシテ、色々ナ運動ガ行ハレテ居ルヤウナ次第デアリマス、隨テ出先ノ外務省ノ當局者トシマシテモ、出來ルダケノ努力ハシテ居リマスガ、今日ノヤウナ狀態デアリマスルノデ、左様ナコトニ付キマシテノ深い事情ニ付キマシテハ、私共ノ方デハ十分ニ御説明ハ申上ゲルコトハ出來マセヌケレドモ、大體サウ云フ風ノ事情デアラウト思ッテ居リマス

○齋藤委員 何カーツ思切ッテ此移民ニ對シテ造詣ノ深い練達堪ナ人士デモ向フヘ送ッテ、此「ブラジル」ノ行詰ッタ狀態ヲ打開スルト云フヤウナ御考ハナイノデスカ、現状ノ儘ニシテ居ッタナラバ、出來ル事モ出來ヌト云フヤウナ結果ニナリハシナイカト思ヒマス、ソレ等ニ付テ御考ガアリマスカドウカ

○入江政府委員

只今申シマシタヤウニ、單純ニ移民ニ對スル處置ト云フコトデアリマスレバ、事ハ割合ニ簡單ニ行キマスケレドモ、相手國ガ日本ノ移民ヲ入レルカ入レヌカト云フ問題ニナリマス、相手國トノ間ニ中々色々ナ事情ガアリマスノデ、先ヅ相手國ノ日本ニ對スル關係ヲ良クシテ行カナケレバナラスト云フコトガ起ルノデアリマス、サウ云フ點ニ付テハ出來ルダケ相手國トノ間ノ融和ヲ圖ッテ行ク、斯ウ云フ點モ必要デアリマシテ、昨年訪伯經濟使節ヲ送ッテ、平生氏ガ團長デ行タト云フヤウナコトモヤッテ居リマス、ソレニ付テ向フカラモ日本ニ經濟使節ヲ送ル、斯ウ云フコトデ兩國ノ間ノ親善ト云フコトハ、即チ延テ此移民問題ニ好結果ヲ來タス所以デアラウト云フ事ニ付キマシテハ、政府トシテハ出來ルダケノコトハ、今ヤッテ居ルヤウナ次第デアリマス

○齋藤委員

前平生文相ガ行カレテ、大變ナ好イ結果ヲ齋ラサレタト云フコトハ、御説ノ通り吾々モサウ思フノデアリマス、何カ特ニ移民ダケニ付テ、斯ウ云フヤウナコトヲ一ツ政府ガ考ヘテ戴キタイ、是ハ今ニシテ「ブラジル」移民ト云フコトニ付テノ、何カ打開ノ途ヲ此際付ケナケレバ、他日百年

ノ悔ヲ胎シハシナイカト思ヒマス、政府ノ御考慮ヲ願ッテ置キマス、第二ニ御尋致シタイノハ、蘭印方面ノ移民ノ狀態ハドウデアリマスカ、或ハ將來ドウ云フ御考ヲ以テ進マレルカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

○入江政府委員

蘭印方面ハ御承知ノ通り、是ハ中々法律規則ガヤカマシイノデアリマシテ、目下日本ノ移民ヲ入レルト云フコトニ付テハ、非常ニ嚴格ナ規則ガアリマスノデ、十分日本ノ移民ヲ入レルコトハ、今ハ出來ナイノデアリマス、之ニ付キマシテモ、御承知ノ通り色々ノ點ニ於テ誤解モアリマスシ、先ヅ誤解ノアル所ハ、其誤解ヲ解クト云フ必要モアリマシテ、又單ニ向フニ行キマスノハ、勞働移民ト云フコトデハ、向フニ仕事ガナイノデアリマス、南米見タヤウナ所ニ送ル勞働移民ト云フヤウナモノハ、蘭印方面ニハ到底入ル餘地ガナイノデアリマス、ソコデ日本移民ハ企業ヲシテ、其企業ニ伴ッテ日本人ガ入ルト云フコトデナケレバナラスト思ッテ居ルノデアリマス、サウ云フ關係カラシマシテ、蘭印方面デハ日本人ガ企業ヲ起スト云フコトニ付テ、政府トシテハ出來ルダケ、今助成ハ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○齋藤委員

吾々民族ノ發展スベキ方角ハ

色々アリマセウ、東西南北何レモ到ラザルナシデアリマセウガ、私ハヤハリ南方ガ吾々民族ニ適シテ居ルヤウニ考ヘマス、此蘭印、南洋方面ニハ、向フノ法律、或ハ規則ガ許スナラバ、是ハ別ニ獎勵セヌデモ流レテ行キヤセヌカト思フ、サウ云フ點ニ重點ヲ置カレテ、政府ハ此方面ニ特ニ善處セラレンコトヲ希望致シマス、次ニ御尋致シタイノハ、米國ニ對シテハドウ云フコトニナッテ居リマスカ、是ハ隨分古イ事デ、何人モ承知ヲシテ居ル事デアリマスケレドモ、而モ是ハ十年前カ、十何年前カ、殆ド吾々ハ忘レントシテ居ル問題デアリマスケレドモ、此問題ヲ政府ハ思切ッタノデアリマスカ、又現在何カ方策ヲ立テ、居ラレルノデアルカ、米國ニ對スル問題、移民問題ハドウナッテ居リマスカ

○入江政府委員

實ハ北米ニ對シテハ、目下ノ所ハ全然政府トシテハ、移民問題ヲ考ヘテ居ナイノデアリマス

○齋藤委員

是ハ併シ中々我國ノ面目ノ問題ヨリ致シマシテモ、政府ハ此儘ニシテ置カレヌ答デアリマスケレドモ、果シテサウデアリマスカ、重ネテ一ツ御致シマス

○入江政府委員

實ハ北米ノ方ノ問題ハ拓務省ノ關係デアリマセヌデ、今ノ所ハ外務

省ノ方ノ主管ニナッテ居ルヤウナ譯デアリマス、ドウカ……

○齋藤委員

成程他ノ省ノ主管ニモ互ルヤウニモナリマスカラ、其點ハ其程度ニ致シテ置キマス、次ニ御尋致シタイノハ滿洲國トノ關係デアリマス、私ハ前ニ申シマシタ通り、我國ノ移民ニ對シテ門戸ヲ開イテ居リマスノハ、先ヅ滿洲國ト「ブラジル」ノ二國デアル、其一ツデアリマス所ノ滿洲國ニ對シテ、過日ノ委員會ニ於テ私ハ委員諸君ト、政府當局トノ質疑應答中ニ、疑問ヲ懷イタノデアリマス、ソレハ昨年五月ノ特別議會ニ於キマシテ、此滿洲國ノ移民問題ニ付テ、議員ト政府當局トノ質疑應答ノ速記録ヲ見マスト、大體斯ウ云フコトガ述ベラレテアル、長イコト 質疑應答ガアッタノデアリマスケレドモ、私ハ簡單ニ之ヲ要約致シマス、時ノ拓務大臣デアル永田前首相ハ斯ウ云フコトヲ言ッテ居リマス、南鮮ノ人ヲ北鮮ニ移ス、北鮮ノ人ヲ滿洲ニ送ルト云フコトヲ言ッテ居ル、是ハ長イコト言ッテ居リマスケレドモ、結論ハサウナンデス、ソレカラ今井田政府委員ハ、今マダ未開墾地ガ三十萬町歩程アル、南鮮ハ人口ガ稠密デアル、ソレデ之ヲ北鮮ニ移シテ、北鮮ノ人ヲ滿洲ニ移ス、斯ウ云フコトヲ言ッテ居ル、ソ

レカラ其他ノ政府委員ノ答辯中ニ斯ウ云フコトガアル、宇垣總督ハ滿洲移民ニ對シテハ非常ナ熱意ヲ持ッテ居ラレル、ソレデ滿洲大量移民ト云フコトヲ計畫サレテ居ル、サウ云フコトガ述ベラレテアル、ソレヲ見ルト其當時ノ——昨年ノ五月頃ノ朝鮮總督、或ハ拓務省ノ人々ノ考ト云フモノハ、北鮮ノ人ヲ滿洲ニ送ッテ、其後ニ南鮮ノ人ヲ送ル、斯ウ云フコトガ私ハ明瞭ダと思フ、是ハ私速記録ヲ寫シテ來テ居ルノデアリマシテ、長イコト此處ニ持ッテ來テ居ルノデアリマスケレドモ、要點ハサウ云フコトデス、是ハドウ云フ風ニ今日御考ニナッテ居リマスカ、ソレヲ一寸伺ヒタイ

○野村委員長 一寸齋藤君……北米ノ問題ニ付テハ外務省ノ政府委員ヲ呼ビマスカラ……

○入江政府委員 北鮮ノ人ヲ滿洲ニ送り、南鮮ノ人ヲ北鮮ニ送ル、斯ウ云フコトニ付テノ御尋デアリマサガ、今日滿洲ニ對スル朝鮮人移民ト云フコトハ、過日此席上デモ色々御質問ニ對シテ政府カラ答ヘル所ガアリマシタ、此問題ハ今日ニ於キマシテハ過日政府カラ説明シマシタヤウニ、先ヅ滿洲ニ現在出テ居リマス朝鮮人ヲ十分ニ保護指導スルト共ニ、將來朝鮮ト滿洲トハ境ヲ

接シテ居リマス爲ニ、朝鮮人ガ段々滿洲方面ニ移住シテ行キマスルノデスカラ、其移住スル朝鮮人ニ對シテ、同様保護指導ヲシテ行カウ、斯ウ云フ風ノ立前デ今ハ進ンデ居ルノデアリマシテ、現在政府ノ執ッテ居リマスル方針トシマシテハ、積極的ニ朝鮮ノ人ヲ多量ニ滿洲ニ送り出スト云フヤウニハ考ヘテ居リマセヌ

○齋藤委員 サウスルト、ドウモ昨年ノ五月頃トハ、拓務省ノ御方針ハ變ッタヤウニ私ハ思ヒマス、御承知ノ通り、鮮滿拓殖會社ト云フモノガアリマシテ、是ハ所謂宇垣總督ノ御方針トシテ出來タノデアリマス、北鮮カラ十箇年ノ間ニ十六萬戸、八十萬人、ソレヲ滿洲ニ送ルト云フコトガ此會社ノ使命デアル、ソレニ付テモ速記録ヲ見マスト質疑應答ヲ重ネラレテ居リマス、更ニ今井田政務總監ハ、南鮮ノ人ヲ北鮮又ハ滿洲ニ送ッテ、朝鮮ノ人口ノ調和ヲ圖ルト云フコトヲ答辯シテ居ル、然ルニ只今ノ政府委員ノ御答辯ニ依ルト、積極的ニハ朝鮮人ノ滿洲移民ヲ獎勵シテ居ラス、斯ウ云フ御答辯ト私ハ思フ、先日ノ大野政府委員ハ斯ウ言ハレテ居ル、是ガ本當ノコトヲ言ウテ居ラレルノダラウト思フ、大野政府委員「朝鮮ノ滿洲ニ參リマスル移民ニ關シマシテハ、實

ハ捨テ、置イテモ澤山ニ參ルノデアリマス、抛ッテ居ッテモ朝鮮ノ人ハドンノ滿洲ニ行クノデアルカラ、別ニ獎勵ハセヌデモ宜イ、是ハ第一ニサウ云フコトヲ言ッテ居ラレル、併シ無統制デモ困ルカラ——色ンナ争ヒヲ起シテモ困ルカラ、世話ヲヤクト云フコトヲ言ッテ居ル、サウスルト、吾々ハ此鮮滿拓殖會社ト云フモノ、使命モ、自ラ政府ノ御方針ガ變ルニ伴ウテ、變ッタモノト見ナケレバナラスト思ヒマスガ、ドウ云フ風ニ御考ニナリマスカ、ソレヲ伺ヒタイ

○入江政府委員 私ガ申シマシタノハ、其處デ御讀上ニナリマシタ大野政府委員ガ説明シタコト、同じコトガラウト思ヒマス、詰リ大野政府委員ガ説明シマシタヤウニ、今日ノ朝鮮人ハ別段滿洲ニ行ク内地ノ人ニスルヤウナ補助的ノコトヲヤル必要ハナクテ、自然ニ相當ノ數ガ流込ミツ、アルノデアリマサガ、之ヲ十分ニ指導シテ行ク必要ガアルノダ、サウ云フ意味ニ於テ朝鮮人ノ滿洲移民ニ對シテ、政府ハ執リツ、アルノダ、斯ウ云フコト、思ッテ居リマス

○齋藤委員 サウ致シマスレバ、私ハ此前ノ委員會デ御尋ヲ致シタノデアリマサガ、其鮮滿拓殖會社ト云フモノガ成立致シマシテカラ、ドウ云フ仕事ヲサレタカ、其仕事

ノ業績ノ經過、ソレカラドンナ人ガ今職員トナッテ其衝ニ當ッテ居ラレルカ、サウ云フヤウナ鮮滿拓殖會社ト云フモノ、存在ラーツ説明ヲシテ戴キタイト言ウタノデアリマスケレドモ、ソレヲマダ御答辯ガナイノデアリマス、此鮮滿拓殖會社ナルモノハ、所謂宇垣總督ガ鮮人ノ大量移民ヲ滿洲國ニ出サウト云フコトデ出來タ會社デアリマス、半分ハサウデアリマス、半分ノ使命ハ先般大野政府委員ノ御話ニナッタ、ソレカラ只今アナタノ述ベラレタ色々世話ヲヤク、斯ウ云フ方面ノ任務モ無論アル、ケレドモ二分ノ一ノ使命ハ大量移民デアル、ソレハドウ云フ風ニ御考ニナッテ居リマスカ、或ハ聞ク所ニ依ルト大量移民ヲヤッテ居ラレルヤウニモ言フノデアリマス、サウ云フコトヲ言フト、マア朝鮮人ニ惡イカラソレデ言ハヌ、サウ云フノデアアルカト此前質問ヲ致シタラ、ソナコトハナイ、是ハ朝鮮人ハ積極的ニハ送ラヌノダ、自然ニ流レテ行クノダ、斯ウ云フ政府委員ノ答辯デアリマス、サウナルト是ハ違フノデアリマス、僅ニ一箇年ニシテ——尤モ當局モ御送リニナッタカラ、御方針モ變ルノハ已ムヲ得ヌト思ヒマスケレドモ、是ハ中々重大ナル關係ガアル、ソレデ滿洲國ノ狀況ヲ聞キマスト、朝鮮人ニ

餘り來ラレテハ困ル、寧ロ内地人ノ多イ方
ガ宜イ、只今ハ三千萬デアリマスガ、將來
ハ五千萬ニナラナケレバイカヌド、ウシテ
モ日本人ガ一割位ハ居ラナクテハ政治的ニ
モ、産業的ニモ勢力ト云フモノヲ扶植スル
コトガ出來ヌ、斯ウ言ッテ居ルカラ却テ朝鮮
人ヲ 滿洲國ニ入レルコトヲ 厄介視シテ居
ル、サウ云フヤウナコトモ吾々ハ聞ク、又
朝鮮ニハ東拓ト云フヤウナモノガアッテ、サ
ウシテ長イコトヤッテ、アレダケノ内地人ガ
朝鮮ニ入ッタノダラウト思ヒマスガ、私ハヤ
ハリモット内地人ガ 朝鮮ニ多クテモ宜イト
思ヒマス、是ハ今ノヤウナ狀態デハ、内鮮
融和ノ實ヲ舉ゲルニハ、私ハ不適當ダト思
フ、モット内地人ガ朝鮮ニ多ク入ッテ、先日
モ質問ヲ致シマシタガ、皆内鮮ガ結婚ヲヤ
リ、内鮮一如ニナルト云フ風ナ域ニマデ進
マナクテハナラヌ、サウ云フコトノ政府ノ
御方針ガハッキリシナイ、移民ニ關シテ朝鮮
ト滿洲トノ關係ヲ、更ニ明瞭ニ承リタイト
思ヒマス、是ハ對滿事務局ノ御答辯ヲ一ツ
伺ッテ置キタイト思ヒマス

○青木政府委員 朝鮮人ノ滿洲ニ對スル移
民ノ問題ハ、直接私ノ方ノ所管デナイノデ
アリマスルカラ、餘リ詳シイコトハ存ジマ
セヌノデスガ、若干關聯ヲ持ッテ居ル意味デ

承知シテ居ル事ヲ、御參考ニ申上ゲタイト
思ヒマス、滿洲ニ於キマシテ從來朝鮮人ノ
數ハ、内地人ニ較ベテ見マシテ非常ニ多カッ
タノデアリマス、事變前カラモ非常ニ澤山
入ッテ居リマシテ、詰リ日本ノ保護ガ十分デ
ナイ當時ニ於キマシテスラモ、隨分澤山入ッ
テ居ッタト云フ狀況デアリマス、唯是等ノ朝
鮮人ガ滿洲國ノ構成分子ト致シマシテ、各
民族トノ協和ノ上ニ、新國家結成分子トシ
テ働イテ行キマスル上ニ於キマシテハ、從
來ノ儘放ッテ置イテハイケナイ、ヤハリ色々
民族ノ間ニ統制ヲ付ケ、保護ヲ加ヘ、漢民族
トノ融和ヲ圖ル、サウ云フヤウナ方面ニ非
常ナ努力ヲ要スルト云フコトガ、ドウモ實
情ノヤウデアッタノデアリマス、是ハ日本側
ト致シマシテモ、滿洲國當局ト手ヲ握リマ
シテ、此大キナ問題ヲ是非解決シテ行キタ
イト云フ考ヲ向ケテ居ッタヤウデアリマス、
今度ノ鮮滿拓殖、或ハ滿鮮拓殖有限公司ト
申シマスカ、姉妹會社、斯ウ云フ會社ノ出
來マシタ所以ノ一ツモ、サウ云フ事業ヲ兎
ニ角專門ニヤルコトガ、一ツノ眼目デアッタ
ヤウニ御話ヲ伺ッテ居リマス、新ニ朝鮮カラ
ドノ程度ノ移民ヲ入レルト云フコトニナル
カ、或ハ入レル場合ニドウ云フヤウナ統制
ヲ執ッテ行クノデアアルカト云フヤウナコト

ニ付キマシテハ、具體的ニ私共關係致シテ
居リマセヌガ、前ニ住ンデ居ル人ニ付キマ
シテモ、サウ云フヤウナ世話ヲ燒ク問題ガ
多イコトデアリマスカラ、新シク行ク人モ、
ヤハリ同ジヤウナ世話ヲ、此會社ヲ中心ト
シテヤッテ行カナケレバナラヌダラウ、斯ウ
云フ風ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○齋藤委員 今御答辯ヲ承ッテモ、朝鮮人ノ
滿洲移民ニ付テノ政府ノ御方針ガハッキリ
分ラヌ、拓務省ノ御所管デアレバ、拓務省
ノ方カラ承レバ結構デスケレドモ、對滿事
務局ニ關係ハアルケレドモ、自分ノ方ノ所
管デハナイト云フ御話デアル、ソレデ一寸
是ハ分ラヌノデスガ、私ハ御方針ヲ伺ヘバ
宜イノデアリマス、過日大野政府委員ノ答
辯ニ依ルト、移民ト云フモノハ積極的ニハ
獎勵ヲシテ居ラヌ、朝鮮人ハ一人デ滿洲ニ
行ク、其一人行ッタ人ヲ、色々世話ヲ燒クト
云フコトダケデ宜シイト云フコトニナル、
ソレヲ只今拓務省ノ政府委員モ其通りデア
ル、斯ウ云フ御話デアリマス、サウ云フ御
方針ト承知シテ宜イノデアリマスカ、サウ
スルト僅カ一箇年ニシテ、政府ノ御方針ガ
全ク相反シテ居ル、又前朝鮮總督ノ時代ニ
ハ、此速記録ガ證明スル通り、朝鮮人ヲ
滿洲ニ送ルト云フコトガ、明瞭ニ答辯サレ

テ居ルノデアリマスガ、ソレデ宜シイノデ
アリマスカ、重ネテ拓務省ノ政府委員ニ御
尋致シマス

○入江政府委員 朝鮮人ガ滿洲ニ參リマス
コトニ付テハ滿洲五族協和ノ精神カラ見マ
シテモ、決シテソレハ惡イコトデハナイノ
デアリマスガ、唯實際問題トシテ、朝鮮人ノ
滿洲ニ移住シマス者ヲドウ取扱フカ、斯ウ
云フ點ガ今日ノ問題ダラウト思ッテ居リマ
ス、ソレハ先程申シマスヤウニ、今日滿洲
ノ治安ノ狀況カラ見マシテモ、今日滿洲
ノ國情カラ見マシテモ、朝鮮人ノ積極的ニ
向フニ送出スト云フコトハ、今日ノ場合は
ハ餘程考ヘナケレバナラヌ、斯ウ云フコト
ヲ申上ゲテ居ルヤウナ次第デアリマス、ソ
レデ今日ノ政府ノ方針トシマシテハ、朝鮮
人ニ對シテハ、積極的ニ獎勵ヲシテ行カウ
ト云フコトヨリモ、寧ロ現在滿洲ニ居住シ
テ居ル朝鮮人ニ對シテ、指導保護ヲ加ヘル、
ソレト共ニ朝鮮カラ滿洲ニズット自然ニ移
住シツ、アル朝鮮人ニ對シテ、同ジク指導
獎勵ヲシ、保護ヲ加ヘテ行ク、斯ウ云フコ
トガ今日ノ政府ノ眞ノ方針デアル、斯ウ御
諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○齋藤委員 ソレデ拓務省ノ御考ハ分リマ
シタ、ソレト共ニ昨年ノ五月前内閣、前朝

鮮總督ノ考ト云フモノハ、全ク今アナタノ

御話ニナッテ居ッタコト、是ハ相反シテ居

ルノデアリマス、吾々ハ先程一寸申シマ

シタケレドモ、滿洲ニモ内地人ガモット行カ

ナケレバナラヌ、又朝鮮ニモモット内地人ガ

入ッテ行カナケレバナラスヤウニ思ヒマス、

サウ云フ根本ノ考ヘ方ハ、ヤハリ私ハ北鮮

ノ人ヲ滿洲ニ入レテ、南鮮ノ人ヲ北鮮ニ移

シテ——移スト言フト語弊ガアリマスケレ

ドモ、ヤハリ自然ニサウナル、サウシテ假

ニ南鮮ニ人口ガ幾ラカ稀薄ニナッタナラ、其

處ニ内地ノ人ガ入ッテ行クト云フノガ、自然

ノ順序デハナイカト思ヒマス、拓務省ハヤ

ハリサウ云フコトガ宜イト云フコトニ考ヘ

テ居ラレルカ、只今アナタノ御話デハ、滿

洲國ノ治安維持法ノ現狀、ソレ等ノ現在ノ

國情カラ考ヘテ、ドウモサウ云フコトハ思

ハシクナイト云フコトヲ言ハレルノデアリ

マスガ、サウ云フコトハ根本的ニドウ云フ

風ニ御考ニナッテ居ルカ、サウスレバ朝鮮ト

云フヤウナモノハ、今アナタノ言フヤウナ

コトデアレバ、モウ殆ド内地ノ人口ノ緩和

ニハ役立タヌコトニナリマス、私ハ追々ハ

滿洲モサウナリハセスカト思フ、サウスレ

バ日本ノ百萬ヅツ殖エル人口ハ何處ニ行ク

カ、ドウカ其邊ノ一ツ根本的ノ御考ヲ承リ

タイト思ヒマス

○入江政府委員 根本的ノ考ト致シマシテ

ハ、御説ノヤウニ、朝鮮ノ人ガ滿洲ニ多ク

行クト云フコトニ付テハ、何等私共ノ方デ

モ異議ガナイシ、御同感デゴザイマス、唯

今日ノ場合、其朝鮮人ガ滿洲ニ行クニ付テ、

ドウ云フ方法ヲ採ッタラ 宜イカト云フ問題

ニナッテ來テ居ルノデアリマス、其點ニ付キ

マシテ、自ラ其時勢ト其時ノ狀況ニ依リマ

シテ、其方法ヲ考ヘテ行カナケレバナラナ

イト云フ點ニ於テ、今御話申上ゲテ居ルヤ

ウナ次第デアリマス、根本ニ於テハ別段ア

ナタノ御考ト變リハナイト思ッテ居ルノデ

ゴザイマス

○齋藤委員 ソレデハ此問題ハ其程度ニ致

シマシテ、唯前ニ滿鮮拓殖會社ト云フモノ

ノ現狀ニ付テ説明ヲ願ヒタイト云フコトヲ

御願シテアルノデアリマスカラ、是ハドナ

タデモ係リノ政府委員カラ御答辯ヲ願ヒタ

イト思ヒマス、是ハ今日申ナラバ後デモ結

構デグリマス

ソコデ 大體ノ 質問ハ其程度ニ致シマシ

テ、此法律案ニ付テ二三承リタイト思フノ

デアリマス、御配付ニナリマシタ新設會社

要綱ト云フモノヲ拜見致シマス、大體ノ

コトハ分リマス、此新設會社ガ出來マシテ、

現在此種ノ會社ガ他ニモアラウト思ヒマス

ガ、海外興業會社トカ、或ハ是ハ一寸業務

ガ違ッテ居ルカモ知レマセヌケレドモ、南洋

興發會社トカ、色々ナ斯ウ云フ移民ニ關ス

ル會社ガ幾ツモアル、サウ云フ會社トドウ

云フ關係ニナルカ、新設ノ會社ガ一千萬圓

ノ資本トシタラ、マア相當大キナ會社デア

リマス、是ハ從來移住組合ガヤッテ居ッタ、

其移住組合ノヤッテ居ッタコトヲ引受ケルノ

デアルカラ、更ニ影響ハナイ、斯ウ云フコ

トグラウト思ヒマスケレドモ、一應ソレ等

ノ點ヲ御伺致シマス

○入江政府委員 海外興業會社ハ移民ノ取

扱ヲ業トシテ居ル會社デアリマス、今回設

立シマス會社ノ方ハ、移民ニ對シマシテ、移

民ヲシテ自作タラシムル、詰リ「ブラジル」

ニ於テ、日本ノ移民ガ獨立シテ自營ヲスル

ヤウニ世話ヲシヤウト云フ意味デ出來ルノ

デアリマス、ソレデスカラ現在ノ海外興業

會社ト、今回設立シマシタ此會社ト云フノ

ハ、多少其趣キガ違ッテ 居ルヤウナ譯デア

リマス

○野村委員長 一寸武田政府委員ニ伺ヒマ

スガ、昨日聽イタノハ、其點ハ違ッテ居ルヤ

ウニ思ヒマスガ……

○武田政府委員 昨日ハ海外興業會社ノコ

トハ、何ニモ問題ニナッテ居リマセヌ、海外

興業會社ト云フノハ、全然別個ノ移民ヲ送

ル爲ノ會社デアリマス

○野村委員長 昨日ハ此會社ハ、ヤハリ移

民ヲ包含シテノヤウナ 意味ニ御話ガナカッ

タデスカ

○武田政府委員 新會社ハ移民ヲ送ルト申

シマシテモ、其送ル移民ガ此會社ノ所有地

ノ分譲ヲ受ケテ自作農ニナル、或ハ又既ニ

海外興業會社ノ手デ以テ、勞働移民トシテ

向フヘ行ッテ居ル者ヲ、獨立サシテ自作農ニ

スルト云フ仕事ヲヤルノデアリマス

○野村委員長 兎ニ角私ハ其疑ヲ質シタダ

ケデアリマス

○齋藤委員 私ハ冒頭ニ申上ゲマシタヤウ

ニ、昨日他ノ委員會ニ出テ居リマシテ、政

府ノ御説明ヲ聽カナカッタノデアリマス、ソ

レデ御尋ヲスルコトモ、或ハ其御説明ヲ承ッ

テ居ルト、自然ニ分ッタクコトカモ 知レヌノ

デスケレドモ、其點ハ御諒承ヲ願ヒタイト

思ヒマス、サウスルト各府縣ノ海外移住組

合ト云ッタヤウナモノハ、從來移民事業ヲ取

扱ッテ居ナカッタノデアリマスガ

○武田政府委員 海外移住組合ハ、其組合

員ノ海外移住ノ助成ヲスルコトヲ目的トシ

テ居ルノデゴザイマシテ、其組合員ニナッテ

居ル人ノ移住ノ斡旋ハヤッテ居ル譯デアリマス、併シソレ等ノ人達ハ海外移住組合聯合會ノ移住地ニ入ル移住者ダケデゴザイマシテ、一般ノ移民取扱ヲ營業トスル居ル者ハ、移民保護法ニ基イテ、移民取扱人トシテノ許可ヲ受ケナケレバナラヌノデゴザイマス、現在移民ノ渡航斡旋ヲ爲スコトヲ以テ營業トシテ、移民取扱人トナッテ居リマサルモノハ、海外興業會社一社アルダケデゴザイマス

○齋藤委員 サウ致シマス、現在各府縣ニアリマス所ノ海外移住組合、及び其聯合會ノ業務ヲ其儘新會社ガ引繼グノデアリマス、各府縣ノ海外移住組合モ、自作農創設ノ如キハヤッテ居ルト思ヒマス、富山縣ノ移住組合ノ如キハ、「サントス」デ早クカラ自作農ノ創設ヤッテ居ルノデアリマス、サウ云ツタモノガ、各府縣ニ同ジヤウニアルト思ヒマス、サウ云フ業務ヲ一切新會社ガ引繼グ、斯ウ云フコトナンデゴザイマス

○武田政府委員 海外移住組合ハ、現在ノ所デハ國內デ其組合員ノ渡航ノ助成ヲシテ居ルダケデゴザイマシテ、移住地ニ於テハ其經營ヲヤッテ居ラヌノデゴザイマス、ソレデ新會社ガ出來マシテモ、地方ノ海外移住組合ハ續イテ存續シテ、從前通りノ仕事ヲ

ヤッテ居ル譯デゴザイマス、新設會社ハ要スルニ海外移住組合聯合會ガ、移住地デ以テヤッテ居リマスル所ノ事業ヲ、承繼スルト云フコトニナッテ居ル譯デゴザイマス

○齋藤委員 ソレデ大分分ッテ來マシタ、サウスルト海外移住組合ガ——移住地ト云ッタ所デ「ブラジル」ノコトデアリマスガ、其移住地デヤッテ居ッタ仕事ダケヲ、新會社ガ引繼グト、斯ウ云フコトナンデスガ、サウスレバ此新會社ハ「ブラジル」ノ法律ニ依ッテ造ラレル會社デスカ、或ハ又我が帝國ノ法律ニ依ッテ造ラレル會社デゴザイマス

○武田政府委員 「ブラジル」ニ於キマシテハ、「ブラジル」ノ國法ニ準據シタ法人ヲ立テ、是ガ事業ヲ行ッテ居ッタノデアリマス、新設會社ハ要スルニ國內法上ノ問題ナノデゴザイマス、現在ノ事業地ニ於ケル事業ノ形態ト云フモノハ、何モ變化ハアリマセヌト云フ仰セデアリマスカラ、唯資本關係ヲ海外移住組合聯合會カラ新會社ニ移ス、斯ウ云フノデアラウト思ヒマスガ、サウ承知シテ宜イノデアリマス

○武田政府委員 海外移住組合聯合會ニ、政府ガ現在貸付ケテ居リマス所ノ元利金ヲ、其儘現物出資ヲシマシテ、新會社ガ之

ニ民間ノ資本ヲ加ヘテ、新設セラレル譯デアリマシテ、詰リ新設會社ハ政府ニ對スル借金ト共ニ、其財産ヲモ承繼スルトコトニナル譯デアリマス、サウシテ政府ハ株式ヲ拂込マナクテハナリマセヌカラ、結局新會社ノ政府ニ對スル貸付金ヲ以テ、其株式ノ拂込ニ充當スルト云フコトニナル譯デアリマス

○齋藤委員 段々分ッテ參リマシタガ、サウ致シマスト海外移住組合聯合會デハ規模ガ小サイカラ、同ジヤウナ仕事ヲスルノデアルケレドモ、之ヲ新會社ニシテモット大キナモノ、力ノアルモノニシテ行カウ、業務ハ大體同ジ業務ヲシテ行カウ、斯ウ云フヤウナ御説明ノヤウニ思ヒマスガ、ソレデ宜イノデスカ

○武田政府委員 國內ダケデ此會社ハ、形式的ニハ聯合會ノ現在ノ資産負債ヲ承繼スルコトニナッテ居ルノデアリマスガ、實質的ニハ海外ノ移住地ノ經營ヲヤルト云フコトニナッテ居ル譯デアリマス、今マデ聯合會ガヤッテ居リマシタ事業ト云フモノハ、主トシテ移住地ヲ獲得シテ、之ヲ移住者ニ分讓スルト云ツタ、所謂殖産事業ダケデアッタノデアリマスガ、現在デハ相當其成績ヲ擧ゲマシテ、其移住者達ニ其生産物ノ加工販賣、

或ハ金融、其他移住者ノ經濟的ノ基礎ヲ鞏固ニシ、其發達ヲ助成シテ行クト云フヤウナ仕事ガ、必要ナ時機ニ立至ッタ譯デアリマス、斯ウ云フ風ナ仕事ヲヤッテ行カウト云フノガ、新設會社ノ目的デゴザイマス

○齋藤委員 段々能ク分ッテ來マシタ、是ハ私ハ前同ノ委員會ニハ缺席致シマシタケレドモ、既ニ速記録ヲ讀メバ分ル譯デアリマス、所ガ速記ハ取ラレナカッタサウデアリマス、速記録ヲ見様ガナイ、ソレデ此質問ヲ繰返サナケレバナラヌコトニナルノデアリマスカラシテ、他ノ委員諸君モ其點ハ御諒承ヲ願ヒマス、併シ大概御尋ラスルコトハ終リマシタカラ、此程度デ私ハ止メタイト思ヒマスガ、最後ニ一ツ御尋致シタイノハ、此新設會社ノ社長ハ、ヤハリ政府ガ御任命ニナルト云フヤウナ組織ニナルノデスカ、ソレヲ承ッテ置キマス

○入江政府委員 此法律ノ第二條ニアリマスヤウニ、取締役ノ選任ト云シマスノハ、政府ノ認可ヲ受クルト云フコトニナッテ居リマス

○野村委員長 丁度今外務省ノ亞米利加局長ガ見エテ居リマスカラ、先刻保留シテアリマシタ北米ノコトニ關スル御質問ヲ願ヒマス

○齋藤委員

ソレデハ簡單ニ繰返シマス、北米ノ移民ニ付テ是ハ隨分古い問題デ、何人モ承知シテ居ル問題デアリマスケレドモ、モウ此頃忘レラレテ居ル、政府ハ今ドウ云フ處置ヲ執ッテ居ラレルカ、或ハ諦メテアレハアレデ葬ッテシマフト云フ御考デアルカ、是ハ中々我國ノ面目上ニ關スル問題デアルト云フヤウニ思ッテ居リマスケレドモ、現在政府ノ御考ニナッテ居ル所ヲ、此際承リタイと思ヒマス

○岡本政府委員

今御尋ノ點ハ千九百二十四年ニ、亞米利加デ制定致シマシタ移民法ニ關スル件ダト拜承致シマス、御承知ノ通り米國ノ移民法ハ、日本人ニ對シテ非常ニ差別的ナ待遇ヲ規定シタモノデアリマシテ、歷代ノ外務大臣ガ議會ニ於ケル演說ニ於テ、度々述べテ居ラレマス通りニ、日本ト致シマシテハ、其點ハ日本ノ面目問題デアル、亞米利加側ガ反省ヲ致シマシテ、一日モ速ニ斯ル不公平ナ待遇ヲ是正スルコトヲ待ッテ居ル譯デアリマス、亞米利加側ガ此問題ハ自發的ニ何トカ是正ヲシナケレバナラス、ソレヲ政府ノ方デハ何處マデモ期待シテ待ッテ居ル、斯ウ云フ狀態デゴザイマス、亞米利加側ニ於キマシテモ、此排日移民法ノ制定ト云フコトハ、謂ハハ日米關係

ノ歷史上ノ一ツノ汚點デアルト云フコトモ申シテ居リマシテ、各方面ニ於キマシテモ、ドウシテモ日米關係上此問題ハ日本ニ満足ナヤウニ解決シナケレバナラス、言換ヘマズレバ日本人ニ「コーター」ヲ適用スルト云フコトニ、此移民法ヲ修正シナケレバナラスト云フ意見モ、度々出テ居ルノデアリマス、又最近ノコトデゴザイマスガ、新聞紙デ御承知ノコト、存ジマスガ、米國ノ議會ニ於キマシテモ、下院ノ移民委員長デアリマス「デイツクスタイン」ト申シマス人ハ、最近ニ於キマシテ、自分ハ日本人ニ對シテモ「コーター」ヲ適用スルト云フコトヲドウシテモ考ヘナケレバナラス、移民法ヲ全般

的ニ考ヘ直シテ見ナケレバナラスト云フ、意見ヲ述ベテ居ルノデアリマス、此問題ハ先程申セマシタヤウニ、日本側トシテ何處マデモ亞米利加ガ自發的ニ其態度ヲ變ヘルコトヲ期待シテ待ッテ居ル、又此點ニ付キマシテハ、政府トシマシテハ出來ルダケ常ニ十分ノ注意ヲ與ヘマシテ、又サウ云フ機運ガ段々強ク醸成セラレテ、サウ云フコトガ實現セラレルヤウニナルコトヲ、期待シテ待ッテ居ル次第デアリマス

忘レマシタカラ、此機會ニ極ク簡單ニ御尋シテ置キマスガ、ソレハ内地人ガ滿洲ニ移民ヲ致シマス、是ハ國家ノ保護ニ依ッテ、或ハ國家カラ助成ヲ受ケテヤル所ノ、會社ナリノ保護ニ依ッテ移植民ヲ致スノデアリマス、ソレト異リマシテ、在來カラ居ル内地人、所謂五族協和ノ點カラ考ヘマシタナラバ、或ハ滿洲國人デブルカモ知レマセヌ、サウ云フ元カラ滿洲ニ行ッテ居ル者ヲ、此頃デモサウ云フ政府ノ助成ヲ受ケテ居ル會社ノ斡旋ニ依ラズシテ、單獨ニ行ク移民ニ對シテハ、ドウ云フ御取扱ニナッテ居ルカ、吾

最近ニ於キマシテ、自分ハ日本人ニ對シテモ「コーター」ヲ適用スルト云フコトヲドウシテモ考ヘナケレバナラス、移民法ヲ全般

的ニ考ヘ直シテ見ナケレバナラスト云フ、意見ヲ述ベテ居ルノデアリマス、此問題ハ先程申セマシタヤウニ、日本側トシテ何處マデモ亞米利加ガ自發的ニ其態度ヲ變ヘルコトヲ期待シテ待ッテ居ル、又此點ニ付キマシテハ、政府トシマシテハ出來ルダケ常ニ十分ノ注意ヲ與ヘマシテ、又サウ云フ機運ガ段々強ク醸成セラレテ、サウ云フコトガ實現セラレルヤウニナルコトヲ、期待シテ待ッテ居ル次第デアリマス

民ニ對シテハ、別段ニ之ニ對スル援助ヲスルト云フヤウナコトハナイノデアリマス、唯此十二年度豫算カラ千戸ダケ、自由移民ト稱シテ居リマスガ、是ハ單純ナ農業移民デナクシテ木工——大工ダトカ、サウ云フ風ナ移民ニ對シテノ世話ヲシヨウ、斯ウ云フ考デ千戸ダケ移民ノ保護費ガ出テ居ルダケデアリマス、目下ノ所ハサウ云フ風ノ事情デアリマスカラ、農業移民以外ノ者ニ付テハ、政府ハ何等ノ保護援助ヲシテハ居リマセヌ

○齋藤委員

農業移民ニ對シテハ、ドウ云フ譯デスカ

吾斯ウ云フヤウナコトモ聽クノデス、問題ニナッテ居ル滿鮮拓殖會社ト云フモノガ滿洲デ土地ヲ買フ、土地ヲ高く買フカラ其會社ノ保護ヲ受ケヌデ獨力デ滿洲ニ行ッテ居ル人ガ、其土地ノ騰貴ノ爲ニ非常ナ迷惑ヲスル、斯ウ云フコトヲ聽クノデアリマス、總括シテ御尋致シタイ所ハ、從來滿洲ニ行ッテ居ッテ所ノ内地人、或ハ獨立シテ一本立チデ今日滿洲ニ行カウトスル、或ハ行ッテ居ル所ノ内地人ニ對シテドウ云フ保護監督ヲサレ

○入江政府委員

滿洲ニ對スル移民ハ、政府トシマシテ目下保護獎勵シテ居リマスノハ、農業移民デゴザイマス、農業以外ノ移

○入江政府委員

滿洲ニ對スル移民ハ、政府トシマシテ目下保護獎勵シテ居リマスノハ、農業移民デゴザイマス、農業以外ノ移

○入江政府委員

滿洲ニ對スル移民ハ、政府トシマシテ目下保護獎勵シテ居リマスノハ、農業移民デゴザイマス、農業以外ノ移

○入江政府委員

滿洲ニ對スル移民ハ、政府トシマシテ目下保護獎勵シテ居リマスノハ、農業移民デゴザイマス、農業以外ノ移

○入江政府委員

滿洲ニ對スル移民ハ、政府トシマシテ目下保護獎勵シテ居リマスノハ、農業移民デゴザイマス、農業以外ノ移

○入江政府委員

滿洲ニ對スル移民ハ、政府トシマシテ目下保護獎勵シテ居リマスノハ、農業移民デゴザイマス、農業以外ノ移

○入江政府委員

○入江政府委員

滿洲ニ對スル移民ハ、政府トシマシテ目下保護獎勵シテ居リマスノハ、農業移民デゴザイマス、農業以外ノ移

○入江政府委員

滿洲ニ對スル移民ハ、政府トシマシテ目下保護獎勵シテ居リマスノハ、農業移民デゴザイマス、農業以外ノ移

○入江政府委員

○入江政府委員

滿洲ニ對スル移民ハ、政府トシマシテ目下保護獎勵シテ居リマスノハ、農業移民デゴザイマス、農業以外ノ移

○入江政府委員

滿洲ニ對スル移民ハ、政府トシマシテ目下保護獎勵シテ居リマスノハ、農業移民デゴザイマス、農業以外ノ移

式會社ノ借地權ノ問題ガ、其後ドウ云フ風ニナツテ居ルカ、私方昨年歐羅巴カラ亞米利加ニ行ツタ時ニ、「ロスアンゼルス」デ神戸ノ商科大學校長ガ「シャトル」ニ行ッテ歸ラレル所デアリマシタガ、其時マデノ經過ヲ大要伺ッタノデアリマスガ、結局既得權ト吾々が見ルベキ借地權ヲ種々政治的策動、例ヘバ「アマゾニヤ」ノ土地ニ關係ノアル亞米利加上院議員等ガ、巧ニ何カ國防關係等ニ結付ケテ、之ニケチ付ケテ、會社ガ折角計畫シタル事業ニ、蹉跌ヲ來タサシメントシテ居ッタヤウデアリマス、是ハ又國際信義ノ上カラ許スベカラザルコト、思ヒマシテ、單ニ上塚君ノ會社ノ問題デナク、國家トシテ最善ヲ盡シテ解決シナケレバナラヌ問題ダト思ヒマスガ、之ニ對シテ如何ナル處置ヲ執ラレントスルモノデアリマスカ

○岡本政府委員 此件ハ經過ヲ申上ゲマスト、洵ニ遺憾ナ事件デゴザイマシテ、殊ニ上塚サンモ今日御見エニナツテ居リマスガ、元來此「コンセッション」ハ千九百二十七年ニ「アマゾナス」州政府ト日本人ノ間ニ、百萬町歩ノ「コンセッション」ノ假契約ガ締結セラレマシタノニ端ヲ發シマシテ、次イデ州ノ政府ト「アマゾニヤ」産業株式會社トノ間ニ本契約ガ成立シマシテ、一昨年末ニ州

議會ノ承認ヲ得タノデゴザイマス、所ガ「ブラジル」聯邦ノ憲法改正ノ結果、州ノ政府ハ此新シイ憲法ノ規定ニ基キマシテ、憲法ノ百三十條ト思ヒマスガ、其規定ニ基キマシテ、聯邦ノ上院ニ對シテ「コンセッション」ノ許可申請ヲシタノデゴザイマス、ソレデ聯邦ノ上院ニ於キマシテハ、之ヲ審議シマシテ色々委員會議ニ是等ヲ付託セラレマシタ所ガ、餘リニ面積ガ廣大ニ過ギルト云フコトハ、國防上非常ニ危險ガアルト云フコトヲ理由ト致シマシテ、一部ノ議員ノ間ニ猛烈ナ反對ガ起リマシテ、御承知ノ通り「ブラジル」ニハ非常ニ執拗ナ排日家ノ運動ガゴザイマシテ、是等ノ策動ト相俟チマシテ「ブラジル」ノ輿論ヲ大變刺戟シマシテ

〔委員長退席、川崎委員長代理著席〕

ソレガ爲ニ一般ノ對日空氣モ惡化セラルト云フ虞ガアリマシタノデ、政府トシマシテハ、在伯ノ澤田大使ニ度々訓令ヲ致シマシテ、出來ルダケ斯ノ如キ日本ニ不利ナル空氣ヲ緩和スルヤウニ、又政府側ニ對シマシテハ、出來ルダケ了解ニ努ムルト云フコトヲヤッタノデゴザイマスガ、トウ／＼去年ノ八月ニ此「コンセッション」ハ、廣大ナル地域ニ對スル所有權ヲ與ヘテ居ルト共ニ、多大ノ特權ヲ會社ニ付與シテ居ッテ、「ブラジル」

國家ノ利益ニ合致シナイト云フコトヲ理由トシマシテ、上院ニ於テ否決セラレタノデゴザイマス、詰リ「コンセッション」ノ許可ト云フモノヲ、上院ガ與ヘナクナッタノデゴザイマス、ソコデ我が政府ニ於キマシテハ、本問題ガ極メテ機微ナ問題デアリマスルニ鑑ミマシテ、此際外交交渉ヲ避ケテ「アマゾニヤ」産業株式會社ヲシテ「アマゾナス」州政府ニ對シマシテ、直接ニ地方的交渉ヲサセルコトニ致シマシテ、會社側ハ上塚社長ガ丁度當時カラ現地ニオ出デニナツテ居ッタノデアリマシテ、上塚社長ハ非常ナ御苦心ヲシテ、非常ナ御努力ニ相成ッタノデアリマス、サウシマシテ百萬町歩ト云フ面積ヲ、ソレデハ少シ小サクシタラ宜カラウト云フノデ、三十萬町歩ト云フコトニシテ、面積ヲ縮メマシテ許シテ貰ヒタイト云フ希望案ヲ提出セラレ、其後更ニ「ブラジル」側ノ意嚮ヲモ色々參酌シマシテ、十五萬町歩ノ案ヲ提出セラレタノデアリマス、斯ウ云フヤウニ日本側トシマシテハ色々多大ノ讓歩ヲシテ、本件解決ノ爲ニ誠意ヲ披瀝シタニ拘リマセズ、

「アマゾナス」州議會ハ去年ノ十二月ノ七日ニ、有價無償ヲ問ハズ、外國人ニ對スル州有地ノ讓渡ヲ困難ナラシメル法案ヲ可決シ

タノデアリマス、其結果本問題ノ解決ノ前途ニ、非常ニ暗影ヲ投ズルコトニナツタノハ、洵ニ遺憾ト存ジテ居リマス、本件ニ付キマシテハ、ドウ云フヤウニ更ニ善後措置ヲシタラ宜イカト云フコトハ、上塚社長ガ御歸リニナリマシテカラ、十分ニ其意見モ伺ヒマシテ篤ト協議ノ上決定シタイ、政府ハ斯ウ云フ積リデ居リマス、左様ニ御承知ヲ願ヒマス

○牧山委員 上塚社長トシテハ可ナリ用意周到ナ契約ヲサレテ居ッタノデ、即チ此租借權ト申シマスガ、之ニ付テハ其後上塚君契約ノ後ニ、向フノ法規ヲ改正シテ、上院ノ同意ヲ得ナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナツタト云フコトデアリマシテ、既得權ハ侵害サルベキ性質ノモノデナイト云フヤウナコトモ、當時亞米利加デ何ッタノデアリマスガ、サウ云フヤウナコトデアリマスナラバ、國際正義ノ上カラ言ッテモ、外務省トシテハ十分ニ之ヲ應援シテ、之ヲ解決サルベキモノデ、ソシタモノ、分ラヌ者ハカリ集ッテモ居ラヌト思ヒマスガ、此點ハドウ云フ風ニナツテ居ルノデアリマセウカ、又百萬町歩ヲ三十萬町歩ニ縮メテ、又ソレヲ減ラシタト云フコトデアリマスガ、是デ先ヅ當分ノ間ハ會社事業ノ遂行ニハ差支ナイ、又徐

ニ其間ニ問題モ自然解決スルト云フヤウナ點ガアルノデアリマスカラ、政府ニ於テ御説明下サレバ結構デアリ、尙其點ニ付テハ同僚上塚君モ此處ニオ居デニナリマシ、私上塚君ノ名前ヲ申上ゲタノデアリマスルカラ、其關係デ御説明下サルコトハ、委員會ニ於ケル先例モ之ヲ認メテ居ルト思ヒマスカラ、便宜政府ヨリ御意見ヲ伺ヒ、更ニ又上塚君ニ於テ御承諾ガアルナラバ、此點ニ付テ上塚君ノ御説明ヲ煩シタイ、是ハ移民政策ノ上ニ於テ重大ナ問題ダト考ヘテ居リマス

○岡本政府委員 此「コンセンション」ノ契約ガ既得權ヲ爲スカドウカト云フ點ハ相當ムツカシイモノダト承知シテ居リマス、上塚サンハ向フニ於キマシテ、今牧山サンノ仰シヤイマシタ通りニ、非常ニ用意周到ニ有ユル手段ヲ盡サレタノデゴザイマスケレドモ、向フノ有力ナル法律學者ニモ種々意見ヲ徵サレテ、其結果是ハ既得權ト云フコトガ出來ル、既得權デ争ッテ十分勝テルト云フ意見ヲ御取リニナッタノデアリマス、サウ云フモノモ無論今申シタ交渉ニハ十分ニ利用シタノデアリマス、何分ニモ先程申シマス通りニ、州ノ議會ノ「コンセンション」ノ許可ヲ、憲法ノ規定ニ依リマシテ、聯邦ノ上院ニ申請シタノデアリマスガ、上院ニ於

キマシテハ之ヲ審議シテ、三ツバカリ委員會ニ懸ケマシテ、結局是ハイケナイト云フコトニ決メタノデアリマス、既得權ト云フコトデ法律問題デ争ヒマスナラバ、裁判所デ私ハ更ニ争ハナケレバナラヌ問題ダト思ヒマス、私ノ了解致シマス所デハ、裁判所ニ之ヲ持ッテ行ッテ争ヒマシテモ中々埒ガ明カナイ、ソレヨリモ寧ロ議會ニ於テ十分審議ヲシテ貰ッテ、政府ノ援助モ十分ニ得テ、成ベク之ヲ一ツ面積ハ小サクシテモ、ハッキリト許可ヲ取付ケテ、正式ニ仕事ガ出來マシヤウニシタイト云フノガ、上塚サンノ方ノ會社ノ御意嚮デアリマシテ、其方針デ御進ミニナツタ、斯ウ云フコトニ私ハ了解シテ居リマス、今申サレマシタ通りニ、既得權デアアルカナイカト云フ問題ハ、相當ニ是ハ議論ガアル問題デアリマシテ、又コチラニモ今ノヤウニ、非常ニ有利ナ材料ガアッタト云フコトハ事實デアリマス、又ソレヲ利用シタノデアリマスガ、遺憾ナガラ上院ニ於テ勝ツコトガ出來ナカッタ、斯ウ云フ狀態デゴザイマス

ソレカラモウ一ツノ面積ノ點デゴザイマスガ、成程百萬町歩ト一口ニ申シマシテモ、隨分大キナ面積デゴザイマス、是モ「ブラジル」ニ行ッテ居リマス澤田大使ト上塚サ

ンノ間ニ、度々意見ノ御交換ガアッタコトダト存ジマスガ、ドウモ已ムヲ得ナケレバ——ソレハ初メノ通りニ、百萬町歩其儘「コンセンション」ノアレガ正式ニ決マレバ、之ニ越シタコトハゴザイマセヌケレドモ、吾トシテモ何モ面積ヲ小サクスルコトヲ希望シテ居ル譯デヤゴザイマセヌケレドモ、ドウシテモ已ムヲ得ナケレバ面積ハ減シテモ宜イ、サウシテ當分ノ間ハ面積ヲ減シテモ、ソレデ仕事ニハ差支ガナイト云フコトニ、極ク不本意ナガラ御決メニナッテ御交渉ニナツタモノト、私ハ了解シテ居リマス

○牧山委員 ソコデ此「コンセンション」ニ對スル反對ト云フノハ、ドウ云フコトデアリマスカ、向フノ空氣ガ排日ニ傾イテ居ルト云フノデアアルカ、私ノ一寸傳聞スル所ニ依ルト云フト、此處ニ大キナ地主ガアル、何デモ大キナ後家サンダト云フコトデアリマスガ、之ニ特殊ノ關係ヲ持ッ上院ノ議員ガ、今ノ國防問題トカ何トカ云フモノヲ口實ニシテ、不利益ニナルヤウナ處置ヲ執ッタト云フヤウニモ伺ッテ居ルノデアリマスガ、單純ナサウ云フヤウナ理由デアアルカ、或ハ此方面ノ對日感情ト云フモノガ非常ニ惡化ヲシテ、初メハ行政府ニ於テモ大變ナ好意ヲ持ッテヤッタト云フコトハ、慥カ事實ガラウ

ト思フノデアリマスガ、之ニ對スル今ノ苦情ガ生ジタト云フ眞因ガ、何レニアルカト云フコトニ付テ、政府ノ見ラレル所ヲ上塚君ノ御意見ヲ伺フ前ニ、一ツ伺ッテ見タイト思ヒマス

○岡本政府委員 是ハ少シ差障リガアルト思ヒマスカラ、速記ハ止メテ戴キタイト思ヒマス

○川崎委員長代理 一寸速記ヲ止メテ下サイ

〔速記中止〕

○上塚委員 只今友人牧山耕造君カラ、私ノ關係致シテ居リマス「アマゾニヤ」産業株式會社ノ有スル「コンセンション」ニ對シテノ御質問ガアリマシタ

〔川崎委員長代理退席、委員長著席〕

私ハ此點ニ付テ實ハ言ヒタイコトガ胸ニ鬱積致シテ居ルノデアリマス、ソレデ出來ルナラバ我が議會ヲ通ジテ、我方ノ主張ヲ宣明シ「ブラジル」國民ニ向ッテ、其反省ヲ求メタイトマデ考ヘテ居ッタノデアリマス、併シ只今海外移住組合等ノ會社組織ト云フヤウナ「ブラジル」ニ最モ關係ノ深い問題ガ、此議場ニ於テ議セラレタ、是ハ成ベクスラリト通過シテ行ク必要ガアルノデアリマス、サウ云フ場合ニ「ブラジル」ノ國民ヲ刺

載スルヤウナコトハ、自分トシテモ慎マナクチャナラヌト云フコトカラ、鬱積シテ居ル所ノ事柄モ言ハズニ居タノデアリマス、幸ニシテ只今御質問ガアリマシタカラシテ、速記ヲ止メテ戴キマシテ、其點ニ付テ一言考ヘテ居ル所ヲ申上ゲテ、今後ノ政府ノ御方針決定ノ參考ニ資シ、且ツ牧山君ニ御答致シタイト思フノデアリマス

〔速記中止〕

○野村委員長 ソレデハ速記ヲ始メマス

○片山委員 二三ノ問題ニ付テ御伺シタイト思ヒマス、先刻齋藤君カラ、移民ニ關スル各方面ノコトヲ、色々御述ニナリマシタノデ、私ハアノ質問ノ各項目ノ一ツ／＼ニ付テ十分詳シイ質問ヲシタイト思ッテ居タノデアリマスルガ、重複ヲ避ケマシテ其點ハ省キマス、唯茲ニ政府ノ根本的ノ見解ヲ承ッテ置キタイコトハ、日本ノ現在ノ人口ノ過剩ヲ調節シテ行クノニ、海外ニ移民ヲ送ルト云フコトハ必要ナコトデアリマス、併シ現在ノ所デハ、其全計畫ト云フモノガ立ッテ居ラヌヤウニ考ヘラレマス、即チ行當リバツタリニヤッテ居ルヤウナ感じガ致スノデアリマス、若シ之ニ對スル確定シタ計畫デモアリ、且ツ近頃歐米ニ於ケル有力ナル國ノ間ニ問題トナリツ、アル天然資源ノ分

配ト云フ問題ニ、關係スル計畫デモ立ッテ居リマスレバ承ッテ置キタイト思ヒマス、若シ大臣デナケレバ分ラヌナラバ、大臣ニ御出席ヲ願ヒマス

○入江政府委員 只今ノ人口問題デアリマスルガ、是ハ御承知ノ通り人口問題ハ極メテ重大ナル問題デアリマスルガ、人口問題ノ解決トシテハ、私ガ申ス迄モナク、先ヅ國內産業ノ開發ヲ圖ルト云フコトガ、其一ツノ方法デアルト共ニ、海外ニ移植民トシテ送出スルト云フコトガ、又極メテ重大ナル事デアリマス、之ニ付テ政府ハ計畫ガアルカドウカ、斯ウ云フ御質問デアリマスルガ、此移植民ノ計畫トシテハ、今日滿洲移民ノ大量的計畫ヲ立ッテ居ルノデアリマシテ、政府ト致シマシテハ、將來先ヅ百萬戸ヲ送ル計畫ヲ以テ、今滿洲移民ヲ取扱ッテ居ルヤウナ次第デアリマス、先ヅ第一期計畫トシマシテ五箇年間ニ、十萬戸ヲ送ルト云フコトデ以テ、今年ノ十二年度ノ豫算カラ其費用ヲ要求シテ居ルヤウナ次第デアリマス、是ハ的確ニ政府トシテ計畫ヲ立テ、居ル一ツデアリマス、其外「ブラジル」ニ付キマシテ、先程カラ議論ガアリマスヤウニ、今日「ブラジル」政府ト云フモノハ、移民ニ對シマシテ、是ハ獨リ日本ノミニ限りマセ

ズ、各國移民ニ對シマシテ相當ノ制限ヲシテ居リマス、其制限ヲ受ケテ居ル範圍ニ於テハ、日本トシテハ極力移民ヲ送ル計畫ヲ立テ、進ンデ居ルノデアリマス、其外南洋方面ニ對シテハ、是ハ今日ノ蘭印政府ガ今日人ヲ入レルト云フコトニ付テ、中々嚴格ナ制限ヲシテ居リマスノデ、十分多數ノ人間ヲ入レルト云フ計畫ヲ立テルマデニハ至ッ

テ居ナイノデアリマス、併シ南洋方面ニ對シマシテハ、日本人ノ將來經濟的ニ發展スベキ場所トシテハ、ドナタモ御認メニナッテ居ル所デアリマスルカラ、之ニ對シマシテハ相手國トノ間ニ、十分交渉ヲ重ネテ、サウシテ經濟的ノ提携ヲシテ行キタイト、斯ウ云フ考デ進ンデ居ルヤウナ次第デアリマス、大體サウ云フ考デアリマス

○片山委員 南洋移民ノ話ガ出マシタカラ此際伺ヒマスルガ、昨年ノ特別議會ニ於キマシテ、吾々ハ臺灣殖産株式會社法案ト云フモノヲ協賛致シマシタ、此會社ハ臺灣島内ニ於ケル仕事モアリマスルガ、主トシテ其力ヲ向ケテ行クノハ、臺灣ヲ中心トスル南支、南洋地方デアルベキデアアル、又政府ノ其當初ニ於ケル説明ニモ、サウ云フ意味ノコトヲ明白ニ言ハレタヤウニ私ハ記憶シテ居リマス、然ルニ約一年ヲ經過シタ今日ニ

至リマシテモ、南支、南洋地方ニ於ケル仕事ト云フモノハ、未ダ進捗シテ居ナイヤウニ、私ハ承知ヲ致シテ居リマスルガ、何カアノ地方ニ於テ仕事ヲ見付ケテ、其仕事ノ計畫ト云フモノガ立ッテ居ルノデアリマスルカ、其邊ノ點ヲ腹藏ナク一ツ承リタイト思ヒマス

○入江政府委員 臺灣殖産ノ創立ノ際ニ對スル御話ハ、其通りデアリマス、臺灣殖産ハ御承知ノ通り昨年ノ十二月ニ始メテ開業シタノデアリマシテ、マダ今日マデ僅ニ數箇月ヲ經過シテ居ルニ過ギナイノデアリマスルカラ、今日ドウ云フ仕事ヲシテ居ルカ、斯ウ云フ御尋ヲ受ケマスルト、ソレニ對シテ具體的ニ斯ウ云フ仕事ヲシテ居リマスト云フコトハ、マダ申上ゲルダケノ域ニ達シテ居ラナイノデアリマス、併シ會社成立後、會社設立ノ趣旨ニ從ヒマシテ、其目的ヲ達スル爲ニハ、出來ルダケノ今努力ヲシテ居ルノデアリマシテ、現ニ南支、南洋方面ニ對シマシテモ、平和的ニ相手國ノ人ト共ニ手ヲ握ッテ、共存共榮的ニ仕事ヲシタイ、斯ウ云フ考カラシマシテ、色々ノ點ニ工作ヲ施シツ、アルノデアリマス、現ニ其方面ニ人ヲ派シテ、サウシテ實地ニ就テ調査ヲモシツ、アルノデアリマスガ、併シ具體的ニ

申上ゲルマデニマダ行ッテ居リマセヌ、多少或ハ申上ゲテモ差支ナイカトモ思ハレルモノモアリマスルケレドモ、併シマダ何等具體的ニ計畫ガ實行サレテ居ル譯デアリマセヌカラ、暫ク時日ヲ藉シテ戴キタイト、斯ウ思ッテ居リマス、決シテ設立ノ趣旨ヲ無駄ニシテ居ルヤウナ次第デアリマセヌカラ、其點ヲ十分御諒承ヲ願ヒマス

○片山委員 臺灣拓殖株式會社ト相竝ビマシテ、南洋拓殖會社ト云フモノモ設立サレタノデアリマスルガ、此方面ノ仕事ハドウ云フ程度ニ進ンデ居リマスカ

○入江政府委員 南洋拓殖會社モ御承知ノ通りノ趣旨デ出來テ居リマスルガ、是ハ今年ノ一月ニ開業ヲシタ譯デアリマス、仕事ノ本體ハ一ツハ南洋群島ニ於ケル「アングウル」ノ燐礦ノ採掘ヲシテ居リマス、是ハ直チニ引續ク受ケテ仕事ニ著手シテ居リマスガ、南方ニ發展スルコトニ付キマシテハ、今申シマシタ臺灣拓殖ト同ジク、相當調査ヲ進メル必要ガアリマスノデ、目下其方面ノ調査ヲシテ居ルノデアリマシテ、之ニハ先ヅ航路ヲ開ク必要ガアリマスルノデ、其方面ニ付テノ計畫モ、目下進メツ、アルヤウナ次第デアリマスルカラ、是モ臺灣拓殖ト同ジク、今直チニ具體的ニ計畫ヲ

御話スルト云フコトハ、マダ少シ早イヤウデアリマスルカラ、姑ク時期ヲ御藉シテ願ヒタイト思ッテ居リマス

○片山委員 私ハ昨年ノ議會ニ於キマシテ、此臺灣拓殖株式會社ノ組織ト云フコトハ、我が帝國ノ南方ニ對スル經濟的發展ヲ擔フ重大ナル職責カラ考ヘマシテ、其經營ニ當ル人ハ餘程ノ人物、即チ私ハ其當時練達堪能ノ士ヲ選バナケレバ、寧ロ是ハ依ラザルニ如カズト云フヤウナ意味ノコトヲ申シマシテ、其當時ノ拓務大臣モ、全ク同感デアルト云フコトヲ言ハレマシタガ、此兩會社共私共ノ要望シタヤウナ人ガ、今現ニ選任サレテ居ルコトデアルト私ハ思ヒマスルガ、政府ニ於カレマシテハ果シテ如何ナル考ヲ持ッテ居ラレルカ、一寸其點ヲ承リタイト思フノデアリマス

○入江政府委員 御話ノヤウナ趣旨デ以テ、社長其他ノ理事ガ選任サレテ居ルト思ッテ居リマス、實ハ社長ト云フヤウナ實際此仕事ヲヤル人ニ付テハ、相當政府ノ方デモ苦心サレタヤウニ聽及ンデ居リマシテ、其當時ニモ色々官界出身ノ人デハドウカト云フヤウナ意見モアリマシタノデ、サウ云フ點ヲ考慮サレタノデアリマセウガ、兎ニ角民間ノ方デ練達ナル人ヲ選任スル、斯ウ

云フ御方針デ今日選任サレテ居ルト、斯ウ思ッテ居リマス

○片山委員 今序デアリマスカラ茲デ承リタイノハ其兩會社ノ大體ノ組織ガ、ドウ云フ風フニナッテ居リマスカ、其職制等ニ付テ分ッテ居リマスレバ大體ヲ御説明ヲ御願致シマス

○入江政府委員 臺灣拓殖ハ御承知ノ通り社長ガ一人デ、副社長ガ一人、理事ガ三名居リマス、是ガ各々業務ヲ分擔シテ居ル譯デアリマシテ、其業務ノ分擔ハ懃力事業部ト、拓殖部ト、總務部ト斯ウ云フモノニ分レテ居ルノデアリマス、ソレニ理事ガ各々一人ヅツ、ソレノ其部ノ長ニナッテ擔任シテ居ルヤウナ次第デアリマス、南洋拓殖會社ハ社長一人ニ理事ガ三名デアリマシテ、此方ハ副社長ハナイノデアリマス、南洋ノ方ハ其理事ノ三名ガ總務部長、事業部長ト斯ウ云フコトニナッテ、一名ハ現地、所謂南洋群島ニ今常勤シテ居ルヤウナ譯デアリマス、此方ハマダ會社ガ創立勿々デアリマシテ、目下ノ所ハサウ云フ組織ニナッテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、今後モウ少シ内部ノ整備ヲスルコト、考ヘテ居リマス

○片山委員 細カイコトヲ承ルヤウデアリマスガ、兩會社ニ於ケル其重役ノ俸給、其

他手當等ニ付キマシテ、算盤ガ出デ居リマスルナラバ、大體ノコトヲ承リタイト思ヒマス

○副島政府委員 大體臺灣拓殖ノ方ハ重役ノ報酬ガ社長ハ懃力俸給、手當、賞與ト云フモノヲ合セマシテ一萬七八千圓ト云フコトニナッテ居ラカト思ヒマス、ソレカラ普通ノ理事ガ一萬二千圓前後、ソレカラ常任ノ監事ハズツ減リマシテ、懃力五六千圓ト云フヤウニナッテ居リマス、此外ニハ或ハ御承知ト思ヒマスガ、政府ニ對シマスル配當ハ當分出來ナイヤウナ收支豫想ニナッテ居リマスノデ、利益處分ニ依ル賞與ト云フモノハ、大體支出ガ出來ナイト云フコトデ、總額合セマシテ其程度ニナッテ居ルト承知シテ居リマス、南洋拓殖モ大體ソレニ準ジタノデアリマス

○片山委員 兩會社トモ社宅ハ給スルコトニナッテ居リマスカ

○副島政府委員 現地ニ於キマシテハ臺灣拓殖モ、南洋拓殖モ社宅ヲ給スル豫定ニ大體ハナッテ居ル筈デアリマス、南洋拓殖ノ方ハ先刻モ次官カラモ申サレマシタ通り、社長並ニ理事一名若クハ二名ハ、常ニ東京ニ駐在スルヤウニナリマスガ、此方ハ社宅ト云フ形デ以テ提供シナイデ、住宅料ト云フ

ヤウナモノデ、適當ナ金額ヲ支給スルト云フ位ノコトニナツテ居リマス

○片山委員 昨年ノ議會ニ於キマシテ、私ハ此會社ノ人選ト云フコトガ若シ完全ニ行カナレバ、此會社ノ運命ハ到底望ミ得ナイト云フコトヲ申シマシテ、同時ニ其當時

總督ノ左右ニモサウ云フ適任者ガナイヤウニ考ヘマシタカラ、其當時ノ臺灣總督ノ左右カラ人ヲ選ンデ、此會社ニ使フト云フコトハ如何ナモノデアラウカト考ヘマシタガ、此重役ノ中ニ私ノ今申上ゲタヤウナ點ニ該當スル人ガ入ッテ居リマセウカ、之ヲ承リタイノデス

○入江政府委員 臺灣拓殖ノ方ハ役人出身ガ二名居リマス、南洋拓殖ハ一人居リマスガ、斯ウ云フ會社ハ御承知ノ通り臺灣ニ於ケル官租地ノ開墾モヤリマスシ、色々其方面ノ關係モ深イモノデアリマスカラ、役人ガ別ニ宜イト云フ譯デアリマセウカレドモ、サウ云フ方面ノ連絡ナリ知識ヲ多ク持ッテ居ルト云フ點ニ於テ、所謂適才適所ト云フ意味デ、選任サレタ思ッテ居リマス

○片山委員 臺灣ニ於ケル官租地ノ處理トカ、其官租地カラ取リマス所ノ小作料ノ徵收ト云フコトハ、稅務吏ノヤウナ者デモ宜シイデセウケレドモ、南支、南洋方面ニ新

ナル經營カラ展ベテ行カウトスルニハ、不適當ト考ヘテ居リマス、今日デモサウ考ヘテ居リマスガ、サウ云フ方面ニ其ヤウナ人が從事シテ居ルノデアリマセウカ、其點ヲ一ツ伺ヒタイノデス

○入江政府委員 別ニ南支、南洋方面ニ誰ト云フコトハ區別ガシテナイト思ヒマスケレドモ、現在臺灣拓殖ニ於キマシテハ、事業部ト拓殖部ト二ツニ分ケテ居リマスカラ、隨テ其方面ノ關係ノ人ハ、ヤハリ自然事業ソレ自體ニ對スル南支、南洋方面ノコトニモ關係シテ居ルト思ッテ居リマス、目下ノ所ハ全部ノ役員ガ總掛リデ將來ノ進ムベキ途ニ付テ、非常ナ研究ヲ重ネテ居ルト聽イテ居リマス

○片山委員 私ハ此會社ノ運命ハ優良ナ人ヲ得テ、其優良ナ人ガ全力ヲ捧ゲテ此經營ニ當ルト云フコトデ、初メテ意味ヲ成スモノト屢々繰返シテ申シマシタガ、南洋方面、南支方面ニ於ケル仕事ト云フモノハ、私ハ他ノ委員會ニ於テモ機會アル毎ニ述ベテ居リマスガ、是ハ非常ニ難シイ仕事デス、淺慕ナコトデハヤレナイ仕事ダト深ク信ジテ居リマス、先日モ拓務大臣ニ御尋シタノデアリマス、ソレハ澤山質問シタ中ノ一ツデアリマスガ、臺灣ト最モ密接ナ關係

ノアリマス佛領印度支那デアリマスガ、此印度支那ニ對シテモ臺灣拓殖株式會社ト云フモノハ、何等カノ働き掛ケヲシナケレバナラヌモノト私ハ考ヘテ居ル、然ルニ我國

ト佛領西トノ間ニ結バレテ居ル日佛通商航海條約ハ、印度支那ト我國トノ間ニハ適用サレテ居リマス、適用サレテ居ルケレドモ、我國ノ貨物ガ直接彼ノ地ニ入リマスレバ、他國ノ品物ヨリモ重稅ヲ課ケラレマス、是ハ既ニ永イ間ノ事實デゾッテ、彼ノ地ニ貿易ヲ營ム者ガ、一齊ニ苦痛トシテ居ル所デアリマス、斯様ナ狀態ヲ取除カズシテ、臺灣拓殖株式會社ト云フモノガ、恙ナク其使命ヲ果スコトハ到底望ミ得ナイコトデアリマス、此點ニ付テハ拓務大臣ダケデハイカヌデセウケレドモ、外務大臣ト御協議ノ上デ、速ニ之ヲ解決シナケレバイカヌデハナイカト云フコトヲ申述ベマシタ所、拓務大臣ハ能ク取調ベマシテ努力シマス云フ答辯ヲサレテ居リマス、斯ウ云フコトニ付テハ臺灣拓殖株式會社ノ首腦者ハ、既ニ著手シテ居ルカドウカ、成立シテカラマダ一月カ二月ニシカナラヌト云フケレドモ、成立スル前ニ既ニ内命ヲ受ケタ時カラ、此問題ニ觸レテ居ラナケレバナラヌト私ハ思ヒマス、サウ云フ點ニ付テ監督官廳タル拓務省

ニ於テ、何等カノ御配慮ヲ爲シタコトガアリマセウカ、此點ヲ承リタイノデアリマス

○入江政府委員 ソレ等ノ點ニ付テハ事外交ニ關スルコトデ、私トシマシテハ現在ドウ云フ交渉ヲ持ッテ居ルカト云フコトニ付テハ、御答ハ出來マセヌガ、併シ臺灣拓殖ダケノ關係カラ申スト、御承知ノ通り社長ハ佛領印度支那ニモ、三四回モ行ッテ居ル人デアリマスシ、アノ方面ノ知識ヲ豐富ニ持ッテ居ル人デアリマスカラ、是等ノ方面ニ對スル發展ニ付テハ相當ノ考ガアルコト、思ッテ居リマス、唯政府間ノ外交々涉ノ問題ニナッテ來マス、是ハ今私カラ何トモ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、其點ダケハ御諒承ヲ願ヒマス

○片山委員 今アナタガドウトカ斯ウトカ言ッテモ出來ル問題デハナイノデアリマス、此問題ハ非常ニ重大ナ問題デアルト同時ニ、困難ナ問題デアリマス、困難ナ問題デハアルケレドモ、サウ云フ困難ナ問題ヲ其儘ニシテ置イテ、臺灣拓殖株式會社ハ其使命ヲ全ウスルコトハ、私ハ出來スト思ヒマス、ソレデ少クトモ會社ガ成立シタ其當初ニ於テ、此問題ニ觸レテ居ラネバナラヌト私ハ思ヒマス、アノ方面ニ經驗ノアル人ガ

社長ニナツタカラ、多分何カヤッテ居ルダラウト云フヤウナ監督振デハ、私ハイカスト思ヒマス、臺灣拓殖株式會社ガ出來タ當時ニ於キマシテ、監督權ヲ臺灣總督ニ與ヘルカ、拓務大臣ニ與ヘルカト云フ問題ハ、重大問題トシテ兩院協議會ニマデ持出サレタ問題デアリマス、デアリマスカラ拓務省ハ其經緯ニ鑑ミテモ、サウ云フ重大ナ問題ヲ等閑ニ附シテ居ルト云フコトハ出來ナイ筈デアリマス、少クトモ拓務省ノ首腦部ニ居ル人ハ、ソレヲ知ッテ居ラナケレバナラヌ問題ダト私ハ思ヒマス、ソレヲ知ッテ居ラ

ニ、解決ガ出來テ居ラヌコトハ甚ダ遺憾ト致シマス、今ノ御意見ノ次第ハ、私モ篤ト拜承致シマシタカラ、十分大臣首メ皆ニ傳ヘマシテ、成ベク早クサウ云フ結果ガ得ラレルヤウニ努力スルヤウニ致シマス

○片山委員 問題ガ横ニ外レマシテ甚ダ失禮致シマシタ、ソレデハ本論ニ入リマス、本論ニ付キマシテハ、大分質問應答ヲ重ネラレタヤウデアリマシテ、重複スルコトヲ私ハ避ケタイト思ヒマスガ、先刻政府委員ノ御話ノ中ニ、從來アッタ所ノ移民ニ關スル機關及其仕事ヲ、其儘引受ケテ新シイ會社ガ出來ルノダト云フ風ニ、私ハ承知ヲ致シテ居リマス、サウシマスト從來ト同ジヤウナ形デ、從來ト同ジヤウナヤリ方デ、ヤハリ仕事ヲ進メテ行クモノデアルト承知シテ差支ナイノデアリマセウカ、其點ヲ御伺致シマス

○武田政府委員 大體從來ノ儘デ、從來ハ先刻モ申シマシタ通り、事業ノ内容トシマシテハ、拓殖事業ヲ主トシテ居ッタノデアリマスガ、更ニ移住者ニ對シテ經濟的發展ヲ助成スルヤウナ仕事ヲ、從來モ附帶事業トシテ多少ヤッテ居ッタノデアリマスガ、更ニソレヲ從來ヨリモ擴張シマシテ、現在アリマス所ノ基礎ノ下ニ、其仕事ヲ將來展バ

○岡本政府委員 此問題ハ片山サンガ今仰セニナリマシタ通りニ、大變ムヅカシイ問題デゴザイマシテ、多年ノ懸案デゴザイマス、外務省ト致シマシテモ、是マデ度々此點ニ付テハ佛蘭西ノ方ト交渉ヲシテ、何トカコチラニ都合ノ好イヤウニ解決シタイト云フ考デ、努メテ居ルノデゴザイマスケレドモ、今マデノ所ハマダコチラノ望ミ通り

シテ行カウト云フ趣意デゴザイマス

○片山委員 私ハ從來ノ通りニヤッテ行クト云フコトヲ、非常ニ懸念ニ思ヒマス、ト申シマスノハ、私ハ「ブラジル」ニ自分デ行ッタコトハナイノデスガ、私ノ手許ニ移民ニ關スル情報ハ澤山參ッテ居リマス、其中デ取ルニ足ラヌモノモ随分アリマスケレドモ、十分考慮ヲ拂ハネバナラヌ問題ガアリマス、其一二ヲ此處デ申述べマスガ、斯ウ云フコトハ從來ナカッタモノデセウカ、即チ移民ヲ募集致シマシテ、サウシテ彼地ニ連レテ參リマスルガ、彼地ニ到著シマスマデハ、實ニ懇切丁寧ヲ極メルサウデアリマス、出來ルダケ嫌氣ノサ、ヌヤウニ世話ヲシテ參ルサウデアリマスガ、一度ビ彼地ニ上陸シマスト、汽車ニ乗ッケタ儘、モウソレカラ餘リ相手ニナラスト云フノガ、此移民ノ世話ヲスル人達ノヤリ方ダサウデアリマス、非常ニ寂寞ヲ感ジテ歸ラウト云フヤウナ氣ガ起ルケレドモ、モウ歸ル譯ニ行カナイ、サウ云フコトガ屢、私共ノ耳ニ入りマ

○武田政府委員 從來ノ事業ヲ繼承スルト申シマスノハ、此法案ニモ書イテゴザイマス通り、海外移住組合聯合會ト云フモノガヤッテ居リマシタ事業ヲ 承繼シテヤルト云フ意味デゴザイマシテ、海外移住組合聯合會ノヤッテ居リマスル事業ト云フノハ、一般ノ移民ヲ入レル仕事デハナイノデアリマス、是ハ自分ノ移住地ダケニ入レル、極ク局限サレタ移住者ノ移住ノ助成ヲシテ居ルノデアリマシテ、全體ノ「パーセンテージ」カラ言フト、是ハ極ク僅カモノデアリマス、只今御話ノアリマシタ移住者ノ大多數ノ人達ガ行ッテ居リマスノハ、所謂契約移民、詰リ勞働移民トシテ移住地ノ各方面ニ廣ク分散スル移住者ノコトデアラウト思フノデア

スガ、是ハ事實デアリマスカドウデスカ、更ニ移民ガ向フニ居リマシテ妻ノ方ガ死ンダ場合ハ、是ハマア大シタ問題ハナイノデアリマスルガ、若シ夫ガ死ンダ場合ニ、殘ッタ寡婦ト云フモノハ非常ニ慘メナ目ニ遭

フト云フコトガ頻々トシ傳ヘラレテ居リマス、實ニ悲慘ナ境遇ニ陥ルサウデアリマスルガ、此點ハ事實デアリマスカ、而シテ是等ノ場合ニ於テ、從來移民ノ世話ヲシテ居ッタ者ハ、聊カモ顧ミテ呉レナイト、云フコトデアリマス、是ハ私ハ移民ト云フモノ、本質カラ考ヘテ、而モ國家ノ補助ヲ貰ッテヤッテ居ル此事業カラ考ヘマシテ、全ク言語道斷ナリト考ヘル者デアリマスルガ、當局ニ於キマシテ其點ヲドウ御判斷ニナリマスルカ

リマス、是ハ現在デハ海外興業株式會社ガ移民取扱人トシテ、其渡航ノ斡旋竝ニ分散シタ後ノ保護ニ當テ居ル譯デアリマス、而シテ此會社ハ現地ニ支店ヲ置キマシテ、非常ニ大勢ノ移民ヲ扱テ居ルコトデアリマスシ、サウシテ毎年多數ノ移民ガ向フニ行キマス關係上、而モ廣イ奧地ニ分散スルノデアリマスノデ、中ニハ不幸ニシテ御話ノ如ク極メテ可哀相ナ目ニ遭フト云フ者モアルカト思ハレマスガ、斯ウ云フヤウナ人ガアル場合ニハ、是ハ極力ソレ等ノ人達ノ救済策ヲ講ズルヤウニ、監督官廳トシテモ心掛ケテ居ル次第ナノデアリマシテ、今後トモサウ云フコトハ極力ナイヤウニ、成タケ多數ノ人ガ多數向フデ幸福ニ生活ガ出來ルヤウニト云フコトヲ目的ニシテヤッテ居ル次第デゴザイマス、勿論法律上ニ於キマシテモ渡航後十年間ハ移民ガ困難ニ遭遇シタ場合ニハ、移民取扱人ハ其面倒ヲ見ナケレバナラヌト云フコトニナッテ居ル次第デアリマスノデ、サウ云フコトガ成タケ少イヤウニ盡力ハシテ居ル次第デアリマス

○牧山委員

一寸議事進行上資料ノ提出ヲ求メタイト思ヒマス、只今片山君ノ諒解ヲ得マシタカラ一分間程……ソレハ南米拓殖株式會社、「アマゾンヤ」株式會社、南洋拓殖株式會社、臺灣拓殖會社、東洋拓殖會社、各移住組合竝ニ同聯合會ニ對スル業務執行ニ關スル政府ノ指令ト申シマスガ、條件ト申シマスガ、ソレノ全部、會社ノ定款モ見タイト思ヒマス、ソレカラ重役ノ氏名、報酬、賞與一覽表、移住組合ノ方モ手當ヲ支給シテアルト思ヒマスカラ、是モ氏名、賞與、給與、報酬ト云ッタヤウナモノヲ大至急ニ御提出ヲ願ヒタイ

○野村委員長

今御聽キノ通りデスカラ、ドウカ至急資料ヲ御出シ願ヒマス

○片山委員

モウ一點伺ヒタイノハ、此二三年前ノコトデアリマシタガ、「ブラジル」ニ於ケル珈琲ノ値段ガ、徹底的ニ暴落シタコトガアリマス、其當時ニ於テ耕作移民ガ非常ニ困窮ヲシテ、折角開墾シタ土地ヲ人手ニ渡シテ、流浪ノ生活ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ羽目ニ陥ッタ者ガ大變多カッタト云フコトヲ耳ニシテ居リマス、之ニ對シテ其後移民達モ、是ハ一毛ノ作デハイケンナイ、色々ナ物ヲ混ゼテ耕作ヲシナケレバ、到底經濟ハ立ッテ行カナイト云フノデ、苦心ヲシタケレドモ、偕テ如何ナル物ヲ作ッテ宜シイカト云フコトニ付テ、中々經驗モナイシ大變迷ッテ、而シテ困難ヲシタト云フコトヲ屢々耳ニシマシタガ、ソレ等ノ點ニ付テ今後若シサウ云フコトガ起ッタ場合ニモ、之ヲ窮地ニ陥レナイヤウナ、何カ工天ガ其後出來タデアリマセウカ、其點ヲ御伺致シタイノデス

○武田政府委員

南米ニ居リマス日本ノ移住者ガ、經濟的ノ不況其他ニ依ッテ困難ナ目ニ遭ッタコトガ、前後二回バカリアルノデゴザイマシテ、其一度ハ干魃ニ依ッテ非常ニ難澁シタコトデアリマス、今一ツハ只今御話ノ珈琲ノ値段ノ暴落ニ依ッテ收入ガ減ッタコトデアリマス、干魃ニ依ッテ難澁シマシタ時ハ、ソレハ慥カ千九百二十四年デ、アッタカト記憶シテ居リマスガ、其時ニハ政府ハ橫濱正金銀行通ジテ、低利資金ヲ貸シマシテ、ソレニ供給シテ居ルノデアリマシテ、是ハ外務省ノ爲メテ居ルコトデアリマス、サウ云フ救済ノ方法ガ講ゼラレテ居ルノデアリマス、ソレカラ珈琲ノ値下リノ爲メ移民ノ收入ガ減リマシタ際ニハ、是ハドウモ「ブラジル」國全體ノ經濟情勢ガサウ云フ風ニナッタノデアリマシテ、ドウモ其範圍ガ非常ニ廣クテ、救済ノ方法ト云ッテモ困ッタノデアリマスガ、兎ニ角是ハ「ブラジル」國ガ自國ノ經濟上ノ重大問題トシテ、其救済策ニ非常ニ盡力シマシタ、ソレカラ又珈琲園主ノ方デモ果樹園ニ、珈琲バカリデナクテ

間作ヲ許スコトニ依ッテ、生活ヲ援助スルト云ッタヤウナ方法ガ講ゼラレタノデアリマス、其後段々珈琲ノ景氣モ少シハ良クナリマシテ、現在デハ只今御話ノヤウニ、色々混農作其他ノ方法ガ講ゼラレテ、漸次生活ノ狀態ガ良クナッテ居ル次第デアリマスガ、斯ウ云フコトハ要スルニ唯一ツノ作物ニ集中スルト云フコトノ弊害ノヤウニモ考ヘラレマスガ、少クモ自作農トシテヤッテ居リマス移住者達ニハ、サウ云フ場合ニ單作ノ弊害ヲ蒙ッテ、經濟的ニ難澁スルコトノナイヤウニ極力有ユル方面ノ作物、或ハ家畜ノ飼育ナリ何ナリト云フモノヲ獎勵スルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フコトヲ常日頃カラ向フニ滞在シテ居ル職員ナリ、移住者ノ指導者ナリガ念頭ニ置イテ、盡力シテ居ル次第デアリマス

○片山委員

今後ニ於テサウ云フ禍ノナイヤウニ御盡力ニナルコトヲ最モ必要ト致シマスルガ、ドウモ我國ノ人ノ從來ノヤリ口ヲ見ルト云フコト、例ヘバ南洋地方ニ於テ護謨ノ値段ガ大變上ルト云フト、南洋ニ行ッテ護謨園ヲ無暗ニ拵ヘルガ、其護謨園ノ出來上ッタ頃ニハ、護謨ノ値段ガ下ッテ非常ナ打撃ヲ受ケル、珈琲ノ値段ガ良イト云フト、無暗ニ珈琲ヲ作ッテ、ソレガ爲メ暴落ヲ

來シテ自ラ破滅ニ陥ルト云フコトガ、是ハ島國ニ生レタ者ノ通弊カトモ思ヒマスガ、度々耳ニスル所デアリ、目ニ見ル所デアリマスカラシテ、今後ニ於キマシデハ、移民ニ關シテ唯人ヲ持ッテ行キサヘスレバ宜シイトカ、又ハ現前ニ於テ景氣ガ宜シイカラト云フコトノミヲ以テ、直チニ實行スルコトハイカスト思ヒマス、今後ハ各方面ヲ考ヘ天ノ時地ノ利等ヲ能ク判別ヲシテ、計畫ヲ立テ、進ンデ行カナケレバイカスト思ヒマスガ、今度ノ會社ハサウ云フコトニ對スル準備ガアリマスカ

○武田政府委員 只今ノ御尋ハ洵ニ御尤モデアルト私共同感ナンデゴザイマシテ、動モスレバ功ヲ急イデ、一ツノ最モ景氣ノ好イモノニ集中スルト云フコトガ、日本人ノ缺點ト言ヘバ缺點デアルト思フ、又ソレガ皆ク當ッタ場合ニハ、從來非常ニ成功シテ居ルノデアリマス、併シ大局的ナ見地カラ見マスと云フト、斯ウ云フ風ナ計畫ト云フモノハ、一步躓イタ場合ニハ、非常ニ打撃ガ大キイノデアリマシテ、永農耕作トシテハ、斯ウ云フ方法ハ不健全デアッテ、決シテ獎勵スベキコトデナイト云フコトヲ、私共ハ確信シテ居ルノデゴザイマス、ソレデ固ヨリ今後新設セラルベキ會社ノ事業ト致シ

マシテハ、サウ云フ點ニ付テハ極力考慮ヲ拂フコトハ勿論デアリマスガ、又現在ニ於キマシテモ混農作ヲ獎勵致シマシテ、棉ナラ棉ガ宜イト言ッテ、ソレニバカリ全力ヲ集中スルト云フコトハヤラサナイヤウニシマシテ、有ユル方面ノ指導ヲスルト云フコトヲ、現在デモ實行シツ、アル譯デアリマス

○片山委員 私ハ既ニ數回ニ亙ッテ述ベマシタヤウニ、斯ノ如キ事業ハ是非常ニ地味ナ仕事デアッテ、困難ナ仕事デアアル、デアルカラ其經營者ハ餘程技術ノ優レタ人デナイトイカスト思ヒマスガ、何レノ方面カラ人ヲ取ルニ致シマシテモ、餘程注意ヲスルコトガ必要デアルト思ヒマス、尤モ是ハ此法文ニ依リマスと、政府ハ唯認可ヲスルダケノヤウニナッテ居リマスケレドモ、實際上ハ其認可ヲスル迄ノ下工作マデシヤラナケレバイカストコトダト思ヒマス、何卒其邊モ十分御考ヘ置キノ上デ仕事ニ進ムコトガ必要デハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマスノデ、一應附加ヘテ質問ヲ打切りマス

○野村委員長 此際片山君ノ質問ニ關聯シテ委員外デハアリマスガ、特ニ植原君ニ發言ヲ許シマス——植原君

○植原悦二郎君 私ハ海外移住組合聯合會

ニ對スル政府貸付金ノ出資等ニ關スル法律案ニ付テ、特ニ二三點伺ッテ置キタイノデアリマス、先刻渡邊君カラノ御意見、只今ノ片山君ノ御質問ニ付テ、政府ガ御答辯ニナリマシタ、茲ニ計畫サレテ居ル所ノ新シイ會社ハ、海外移住組合聯合會ノ從來ノ仕事ヲ繼承スルノダ、海外移住組合聯合會ハ從來拓殖ガ主デアッテ、其他ノコトハ副業的ノモノデアッテ、附帶的ノモノデアッテ、斯ウ云フ御話デアリマシタ、其通りデアルト思ヒマスガ、從來ノ移住組合聯合會トシテモ、拓殖ニ關係スル一切ノ事業ハ、如何ナル程度デモ此新會社ガスル程度ナラバ、前ノ規約デ十分出來ルト私ハ信ジテ居ル、移住組合法ノ規定ニ依リマシテ、此新會社ガ目論見マス所ノ仕事ト同一ノ範圍ニ於テ、私ハ出來ルモノト思ヒマスガ、其點出來ナイト云フ御解釋カ、出來ルト云フ御解釋カ、其點ヲ先ヅ第一ニ伺ヒタイ

○武田政府委員 從來ハ移民ノ經濟的保護ノ爲ニ、極ク密接ナ附帶事業ダケハヤッテ來テ居ッタノデアリマス、所ガ現在デハ相當移民ノ數ガ殖ヘテ參リマシテ、其經濟的ノ發展ノ段階ガ相當上ノ方マデ達シタ譯デアリマシテ、是等ノ人達ハ農業方面ニ於テ、相當色々ナモノヲ生産シテ居リマシテ、棉

デアルトカ、珈琲デアルトカ、米デアルトカ、色々ナモノヲ作ッテ居リマス、所ガ棉トカ珈琲ト云フヤウナモノヲ作りマス場合ニ、之ニ對シテ金融ノ必要ガアル、拓殖金融ト云フコトハ、是ハ拓殖事業ニ取ッテハ非常ニ必要ナコトデアリマスガ、從來ノ移住組合聯合會ト云フモノデハ、ソレニ廻ハスダケノ資金ハ殆ドナイヤウナ有様デアリマシテ、爲ニ移住者達ハ外國ノ棉花商カラ高イ利率デ金ヲ借りル、或ハ外國ノ個人カラ金ヲ借りルト云フヤウナ有様デ、相當高イ利息ヲ拂ハナケレバナラヌ、ソレカラ又生産物ノ棉花トカ珈琲トカ云フモノモ、サウ云フモノ、「ブローカー」ノヤウナ者ガ與地ニ入り込ンデ參リマス、ソレ等ノ者カラ高イ金ヲ借りテ、委託販賣ヲヤラサナケレバナラヌト云フヤウナ狀態ニアリマシテ、此方面デモ相當損ヲシテ居ル、ソレカラ又……

○植原悦二郎君 私ハソナコトヲ聽イデ居ルノデアリマセヌ、從來ノ組合ノ規定デ、此會社ノスルダケノ仕事ガ出來ルカ出來ヌカト云フコトヲ伺ヘバ宜イノデス

○武田政府委員 法律問題トシテハ、是ハ程度ノ問題デスカラ全然アレナイト云フ譯デナカラウト思ヒマス

○植原悦二郎君 私ハ出來ルカ出來ヌカラ
伺ヘバ宜イノデス

○武田政府委員 ソレハ全然出來ヌト云フ
譯デアリマセヌ

○植原悦二郎君 御斷リシテ置キマスガ、
私ハ委員ナラドレダケ時間ヲ掛ケテモ、外
ノ人ニ御迷惑ヲ掛ケナイ、私ハ政府委員ノ
詳シイ御親切ナル御答辯ヲ感謝致シマス、
併シ私ハ委員外ノ質問者デアリマスガ故
ニ、成ベク要點ダケヲ簡潔ニ答辯シテ戴キ
タイノデアリマス、ドウカ私ノ質問ノ其通
リノ御答ヲ願ヒ、其他ノ説明ハ省イテ戴キ
タイ、只今ノ質問ハ海外移住組合聯合會ノ
仕事トシテ法規ノ上カラ、實際ノ上カラ此
新設會社ノスベキ仕事ガ出來ルノカ出來ナ
イノカ、斯ウ云フ御尋ヲシタノデアリマ
ス、法規ノ上デハ只今ノ通り出來ルト云フ
御解釋ダト思フノデス、唯實際トシテ資金
難ノ爲ニ出來ナイ、斯ウ云フ御答、ソレダ
ケノ要領デアルコト、私ハ思フノデス、ソ
コデ次ニ私御尋シタイコトハ、從來政府カ
ラ海外移住組合聯合會ニ貸付ケラレタ金、
出資セラレタ金、ソレガ滞リナク皆返還サ
レテ居リマスカドウカ、滞ッテ居ルナラ、ド
ノ程度滞ッテ居ルカ、長イ説明ハ要リマセヌ
カラ簡潔ニ御答辯ヲ願ヒマス

○武田政府委員 貸付條件通りノ償還ハ現
在ハ出來テ居リマセヌノデ、相當額滞ッテ
居リマス、併シ現在ノ事業成績竝ニ將來ノ
見透シニ依リマシテ、償還計畫ト云フモノ
ヲ新ニ立テマシテ、サウシテソレニ依ッテ毎
年政府貸付金處理委員會ニ懸ケテ、其償還
額ヲ決定シテ貰フト云フコトニナッテ居リ
マス

○植原悦二郎君 只今ノ御答辯モ攝摘ンデ
見レバ是ダケデアリマス、從來貸付ケタル
金モ豫定通りニハ返ッテ居ラス、已ムヲ得ザ
ルガ故ニ新シイ返還方法ヲ計畫シテ、ソレ
ニ依ッテ返サセルダケノ紙ノ上ノ計畫ダケ
ハ立ッテ居ル、斯ウ解釋スベキダト思ヒマ
ス、次ニ御尋シタイコトハ、外務省ノ政府
委員ガ居ラレマスカラ關聯シテ——ソレモ
時間ガ少カラウト思ヒマスカラ、二三道寄
リデスケレドモ關聯シテ居リマスカラ御尋
シテ置キマス、此海外移住組合聯合會ノ今
回ノ會社ヲ作ルニ付キマシテ、此事ハ「サ
ンパウロ」ノ外務省關係ハ當局者ノ諒解ヲ
得、承認ヲ得テ居リマスカ如何デスカ

○岡本政府委員 此計畫ガ始マリマシタ時
ニ、大要ヲ「サンパウロ」總領事、竝ニ「ブラ
ジル」ニ居リマス大使、其他ノ領事ニ電報
致シマシテ、知ラセルト同時に意見ヲ徵シ

マシテ、大體其後ニ色々コチラモ事情ヲ
言ッテヤリマシテ諒解ヲ得テ居リマス

○植原悦二郎君 モウ一度外務省ニ御尋シ
テ置キタイノデスガ、最近「ジュネーブ」ニ於
テ「ブラジル」移民ニ對シテ、日本ガ一人二
百五十圓ヅツ補助シテ居ル、サウ云フコト
ガ「ブラジル」ノ新聞記者ニ「ジュネーブ」ニ
於テ分ッテ——多分拓務省ノ印刷物カト思
ヒマスガ、ソコデ其事ガ「リオデジャネイ
ロ」ニ分ッテ、是ガ宣傳ヲシテ、日本ノ政府
ハ移民ニ補助ヲシテ「ブラジル」ニ送ッテ寄
越シテ居ルノダ、金錢上ノ補助ヲシテ居ル
事マデモ——斯ウ云フ事實ガアルト云ッタ
コトガ、外務省デ問題ニナッテモナラヌデ
モ、「リオデジャネイロ」ニ於テ其事ガ新聞
ニ於テ問題ニナッタコトガアリマスガ、ゴザ
イマセヌカ、御尋致シマス

○岡本政府委員 サウ云フ事實ハゴザイマ
ス、國際労働機關ニ奉職シテ居リマス萩島
ト云フ日本人ガ、國際労働局ノ爲ニ移民問
題ヲ調べテ居リマシテ、一ツノ論文ヲ書キ
マシタ、其論文ガ「ブラジル」ニ傳ハリマシ
テ、「ブラジル」ノ議會デ排日議員ノ間ニ惡
用セラレマシテ、日本政府ハ斯ウ云フコト
ヲシテ居ルヂヤナイカト云フノデ、排日間
題ニ利用セラレタト云フ事實、ガゴザイマ

ス、其情報ヲ得マシタノデ、直チニ其論文
ガドウ云フモノデアアルカト云フコトヲ取寄
セテ調べマシタ、ソレハ今申上ゲマシタヤ
ウニ惡用セラレタ譯デゴザイマシテ、書イ
タ人ハ日本ノ移民送出ニ付テハ、政府ガ是
ダケノ力癪ヲ入レテ居ルト云フコトヲ書イ
テ、寧ロ非常ニ整然トシタ、移民ヲ外國ニ
送出スコトニ付テ、日本ガ最モ其點ニ於テ
ハ優レテ居ルト云フコトヲ書クノガ眞意デ
アッタノデアリマス、ソレ以外ニハ特ニ向フ
デ惡用セラレタヤウナ惡イ箇所ハナイノデ
アリマス、此點ハ「ブラジル」政府ノ方ヘモ
十分ニ説明致シマシテ、向フモ諒解致シテ
居リマス

○植原悦二郎君 特ニ「ブラジル」移民ニ付
テ二百五十圓出シテ居リマス金ハ、實際上
移民ノ手ニドレダケ行キ、海外興業ガドレ
ダケ取ッテ居リマスカ

○武田政府委員 移民ノ手ニハ五十圓入ッ
テ居リマス、ソレカラ二百圓ト云フモノハ
是ハ船賃トシテヤッテ居ルノデアリマスカ
ラ、移民ノ手ニハ入ッテ居リマセヌ

○植原悦二郎君 其二百圓ノ船賃ノ中、船
會社ニ幾ラ行キ、海外興業ニ幾ラ行ッテ居ル
ノデス

トノ約束デ、獎勵金ト云フ名前デヤッテ居ルノダサウデアリマス、ドウモ私共トシテ外部カラ之ヲ彼此レ一寸言フ譯ニモ参リマセヌコトデアリマスシ、其儘ニ致シテ居リマス

○植原悦二郎君 言フ譯ニ行カケレバ御尋致シマセヌ、唯監督官廳デアル拓務省ガ船會社ト海外興業會社、ドッチモ政府ノ監督ノ下デ補助金ヲ受ケテ居ル、其モノ、契約ガ、片方ガ幾ラ取ッテ居ル、片方ガ幾ラ取ルト云フコトヲ知ラヌト云ヒマシテハ、拓務省ノ政府當局者ハ其責任ヲ果セルト思ヘルカドウカ、追究スル意味デヤナイガ、餘リニ酷イ答辯ダト思ヒマスカラ承ッテ置キマス

○武田政府委員 ソレデハ申上ゲマス、事實私共ガ聞イテ居ル所ハ、三十圓ダト云フコトヲ承ッテ居リマス

○植原悦二郎君 次ニ私ガ御尋シタイ問題ハ、移住組合ニ政府ガ貸付ケテ居リマシタ金ハ、ハッキリ日本國內以外ニ知レル途ハアリマスマイガ、今ノ二百五十圓ノ補助モ、偶、「ジュネーブ」ニ於ケル移民論シスル人ガ書イタコトガ發端トナッテ、「ブラジル」ニ知レタ、其事ヲ私ハ追究スル爲ニ申スノデハアリマセヌ、サウ

云フ事實ガアル、ソコデ今度ノ會社ハ日本ノ法律ニ依ッテ作ラレル所ノ——移住組合モ法律ニ依ッテ居リマスガ、組合組織ノモノトハ違ヒマシテ、株式會社トシテ、其株式會社ノ出資ヲ四分ノ三ハ政府ガスルノダ、四分ノ一ハ民間ガスルノダ、斯ウ云フコトニナリマシタ場合ニ、「ブラジル」ニ於ケル移民ハ、日本政府ノ直轄ノ支配ヲ受ケテ居ルト云フ誤解ヲ懷ク虞ガナイモノデアリマセウカ、如何デアリマセウカ、其點ニ深キ考慮ヲ拂ハレタカドウカ、之ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○武田政府委員 此點ハ私共ノ考デハ、新ニ政府ガ出資スルノデハアリマセヌデ、既ニ事業資金ヲ貸シテ居リマスノヲ、其儘姿ヲ變ヘルト云フコトデアリマシテ、而モソレヲ成タケ民間的ノ事業ニ移シテ行カウト云フヤウナ氣持デ居ルノデゴザイマシテ、此點ニ付テ若シモ誤解ガアッテハ非常ニ困ルト思ヒマシテ、誤解ノナイヤウニ十分關係方面ト連絡ヲ圖リマシテ、出來ル限り今マデ盡シテ參ッタノデアリマスガ、今後ニ於テモ成タケサウ云フ方面ニハ十分ニ注意ヲシテ、豫メ誤解ヲ避ケルヤウナ方法ヲ講ジテ行キタイト考ヘテ居リマス

○植原悦二郎君 只今ノ政府委員ノ御答辯

ハ、私ハ甚ダ當ヲ得ザルモノト認メマス、私ハ此案ニ賛成スルトカ、反對スルトカ、政府ヲ苦シメルトカ云フ立前デ、一ツモ質問シテ居ルノデアリマセヌ、日本ノ移民ガ海外ニ發展スルコトヲ切望致シマス、殊ニ日本ノ領土ナラザル所、日本ノ勢力ガ及バザル所、日本ノ陸海軍ヲ以テ萬一ノ場合ガアッテモ、之ヲ保護スルコトノ途ナキガ如キ遠方「ブラジル」地方ニ於ケル所ノ移民ニ對シテ、其發展ヲ切ニ希望スルガ故ニ、私ガ只今ノ質問ヲ致シタノデアリマス、移住組合、聯合會デヤリマスル時ニハ、總テノ問題ガ公ニハナリマセヌ、ナサナンデモ宜シイノデス、成程政府ガ是マデ貸付ケテ居ッタ金ヲ、茲ニ株式ニ振替ルノデアリマスルケレドモ、ハッキリト一千萬圓ノ會社ニ對シテ、政府ハ七百五十萬圓ノ出資者デアル、四分ノ三ノ出資者デアル、一千萬圓ノ會社デ四分ノ三持ッテ居ルモノガ、實權ヲ自由ニ出來ルコトハ明カデアリマス、ソレガハッキリ政府ノ持株デアルト云フコトガ公ニナリマスル場合ニ、如何ニ釋明シテモ、辯明シテモ、是ガ政府直接ノ關係デアルト云フコトヲ、釋明モ辯明モスル餘地ハ出來テ參リマセヌ、故ニ私ハ此會社ガ出來マシテ事實ガハッキリスレバ、是ガ排日ノ非常ナ武器ニナル

コトヲ惧ル、者デアリマス、林大使ノ居リマスル時ニモ偵察ガ足りナクテ、移民排斥ニ對スル憲法ノ案ヲ、外務省當局ガ知ラズニ居ッタコトモアリマス、世間ニ公ニナッテ、愈、慌テタ事實モアリマス、只今ノ「ジュネーヴ」ニ於ケル所ノ無意識的ニ書イタノガ、利用サレテモ悪用サレテモ、一度排日ノ問題ノ波ヲ立テタ以上ハ、之ヲ消スコトハ出來マセヌ、眞ニ外國ニ於テ日本ノ移民ヲ排斥スルノ機運ガアルナラバ、排斥ノ問題ヲ起サセザルコトニ努メナケレバナライノデ、一度ソレガ如何ナル形ヲ執ッテ現ハレテモ、現ハレテ來タ以上ハ、ソレヲ容易ニ抜キ取ルコトノ出來ナイト云フコトハ、トリスバール」ノ移民ヲ見テモ、濠太刺利ノ移民ヲ見テモ、北米合衆國、加奈陀ノ移民ノ跡ヲ見テモ、其歴史ニ依ッテ明瞭ナルコトデ、一點ノ疑問ガアリマセヌ、隨テ只今私ノ質問ニ對スル所ノ政府委員ノ御答辯ハ、却テ逆デアリマス、事實ハ此會社ノ設立ニ依ッテ明瞭ニナリマス、蔽フコトモ、隱スコトモ出來ナイモノニナリマス、是ガ排日ノ一ツノ好イ口實、「ブレテクスト」ニナラナイト云フコトハ、恐ラク私外務省當局デモ、理解ノ出來ル御説明ハ出來ナイト思フ、唯コチラノ計畫ヲ「サンパウロ」ノ領事館ヤ、

「リオデヂヤネイロ」大使館ニ言ッデヤッテ、實際ガ分ラナイデ、或ハ内諾シテ居ルカモ知レナイ、丁度林大使ノ時ノ憲法改正ノ問題ノ如キ事件ガ起ラナイト、誰ガ之ヲ言ヒ得ルカ、此數年間「ブラジル」ニ於ケル日本人移民ノ排斥ハ、可ナリ根強イモノデアリマス、上塚サンノ土地ノ問題モ、政府ガ迭々タコトモアリマセウケレドモ、日本人排斥ノ一ツノ槍玉デアルト、之ヲ見ルコトガ當然デアリマセウ、必ズヤ一定ノ場所ニ違ッタ人種ガ集團移民ヲナシ、其移民ヲ移民本國ノ政府ガ、官憲ノ力ヲ以テ明ニ補助スルト云フ場合ニ起ラザル實例ハ、世界ノ何處ノ移民史ヲ見テモアリマセヌ、斯ウ云フコトヲ御考ニナリマシテ、此會社ノコトヲ考ヘルナラバ、私ハ少カラザル憂慮ニ堪ヘザルモノガアリマス

次ニ私ハ御尋シタイコトハ、此會社ヲ設立ナサルコトヲ、政府デ認可ナサルコト云フ御計畫ニ對シテハ、政府ガ四分ノ三ノ株ヲ御持チニナルコトデアリマスガ故ニ、此、プロモータート申シマスカ、之ヲ計畫シタ人、是ノ重役ニナルベキ人、ソレハ政府デドウデモ分ラヌト仰シヤレバ、分ラヌデ済ミマスガ、ソレガ豫メ御分リニナラヌ筈ハナイト思ヒマスガ、臺灣拓殖トカ南洋拓殖

トカ又東北ノ拓殖ト云フコトナラ何デセウケレドモ、既ニ政府ガ貸付ケテアル金七百五十萬圓ヲ、株ニ振替ヘテ作上ゲル會社デアリマスガ故ニ、ドウ云フ方ガ此新シイ會社ノ重役、社長ニナルカ位ノコトハ、政府ニ腹案ガナケレバ出來ナイ筈デスガ、其腹案ハドウ云フ方ガナリマスガ、御漏シガ出來ルナラ承リタイト思ヒマス

○牧山委員 一寸議事進行ニ付テ——私此委員デアリマスガ、他ノ豫算總會其他ヲ持ッテ居リマス爲ニ、先刻カラ此處ヘ來テ同僚ト政府トノ質問應答ヲ聽イテ居リマス、先ヅ斯様ナ移民取扱機關ヲ審議スル以前ニ於テ、現内閣ノ移民政策ノ根本ニ付テ質サナケレバナラヌト云フコトヲ、痛切ニ感じタノデアリマス、其方針ヲ吾々ガ了解スルニアラザレバ、斯様ナ枝葉末節ノ問題ヲ論ズルコトハ、無用ダト思フノデアリマス、例ヘバ「アマゾン」ニ於ケル問題ノ如キモ、斯ノ如キ相手方ノ事情ヲ了解シテ、之ニ付テハ我國トシテモ確乎タル移民政策ヲ確立シナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、ソレニ對スル政府ノ所見ヲ質スニハ、此處ニ御列席ノ政府委員デハ適當ナラズト思ヒマスガ、佐藤外務大臣、若クハ林總理大臣ナリ、直チニ此席ニ御出席アッテ、此

根本方針ニ對スル政府ノ明確ナル御答辯ヲ煩ハシタ上デ、斯様ナ問題ニ入りタイト思ヒマス、之ヲ要求シマス

○野村委員長 分リマシタ、サウ云フ手續ヲ致シマス

○植原悦二郎君 私ノ今ノ答辯ヲ……

○武田政府委員 是ハ一寸速記ヲ止メテ戴ケマセヌカ

〔速記中止〕

○野村委員長 是カラ速記ヲ……川崎君

○川崎委員 私ハ質問ノ前ニ當リマシテ、議事進行ニ付テ一言私ノ意見ヲ申上ゲマス、先刻モアルコト、ハ思ヒマスガ、私ハ議事ノ進行ニ付キマシテ、委員ノ發言ニ付キマシテハ、成ベク發言ノ申込順位ニ從ッテ御許シヲ願ヒタイト思ヒマス、而シテ委員外カラノ御質問ニ付キマシテハ、敢テソレヲ私ハ排斥スルヤウナ狹イ料簡デハアリマセヌ、併ナガラ會期ノ切迫致シテ居ル際デゴザイマスルカラ、斯様ナ場合ニ於キマシテハ、議事ノ進行ヲ圖ル意味カラ申シマシテ、成ベク先ヅ正規ノ發言ノ通知ノアル委員ニ發言ヲ御許シ下サレマシテ、其正規ノ委員ノ發言ノ終ッテ後ニ於テ、委員外ノ人ニ對シテ質問ヲ御許シニナルナリ、或ハ眞ニ具體的ニ吾々ガ考ヘテ關聯シタ事項ニ付

テ、其部分ニ付テ御質疑ニナル場合ニハ、私ハ敢テ申スノデハアリマセヌ、一般的ニ互ル質問ニ、總テノ委員ノ質問ノ終ラナイ前ニ、長イ質問ヲ委員外ニ御許シニナルコトハ、吾々議事ヲ審議シテ行ク上ニ於テ、多大ノ支障ガアルト思ヒマスガ、今後御注意アラシコトヲ御願ヒ致シマス

○野村委員長 ソレハ注意シマス、併シ事ノ善シ惡シハ別トシテ、從來ノ慣例カラ申シマスルト、委員外ノ人ニモ問題ニ關聯シテ居ルト云フト、質問ヲ許シタ例ガアルノデアリマシテ、私ハ唯先例ヲ追ウタノミデアリマス、併ナガラ仰セノ通りニ非常ニ切迫シタ今日デアリマスカラ、以後ハ其點モ相當ニ考慮シテヤルコトニ致シマス

○川崎委員 段々本案ニ付キマシテハ、他ノ同僚ノ委員諸君カラ御質問モゴザイマシテ、大體私モソレニ依ッテ諒解致シテ參リマシタノデ、敢テ多クノ御質問ヲ申上ゲタクナイノデアリマス、殊ニ本案ニ付キマシテハ、最初ニ於キマシテ政府ノ御希望ノ點モアリマスルノデ、吾々ハ其點ヲ諒ト致シマシテ、成ベク質問ヲ差控ヘタイト存ジテ居リマシタ、併シ今朝來ノ同僚委員ナリ、又委員外ノ議員ノ御質問ニ依リマシテモ、段々色々ト質問スルニ從ッテ、政府ノ御答辯、

色々關聯致シテ参リマスルト、私モドウモ此儘默過スル譯ニ行カナイヤウナ點モアリマスルノデ、遺憾ナガラ此機會ニ於テ一二確メテ置キタイノデアル、第一點ハ只今植原君カラモ御質問ガアリマシタガ、私モ實ハ同様ノ疑問ヲ持ッテ居ラ、此點若シ速記願ッテ置キマシテ、政府デ御困リニナレバ、以後御質問申上ゲルコトニ付キマシテハ、何時デモ政府ノ御都合ノ惡イ時ハ、其部分ハ委員長ノ御諒解ヲ得テ、取消スノデハアリマセヌガ、速記録ニ載セナイコトニ付テハ然ルベク御願致シタイ、其意味ニ於テ自由ニ發言ヲサシテ載キマス、私ノ發言中御都合ノ惡イ所ハ、委員長ト御打合せ願ッテ抹殺シテモ構ヒマセヌ、併シ取消スノデハナイ、私モ非常ニ疑問ヲ持ッテ居ラノデスガ、併シソレハ立場ヲ變ヘテ御尋致シタイ、唯純然タル法律ノ意味ニ於テ、從來ノ移住組合ノ聯合會ガ、新ニ會社ヲ組織スルト云フコトガ、如何ナル根據ニ依ッテ法律上ニ可能デアルカト云フコトニ付テノ御見解ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○入江政府委員 是ハ少シ質問ニ對シテノ御答トシテハドウカ知リマセヌガ、大體現在「ブラジル」ニ移住シテ居ル日本人ニ對スル經濟的援助ヲスル爲ニ、海外移住組合聯

合會ト云フモノガ出來テ、今日マデヤッテ來タノデアリマス、所ガ此海外移住組合聯合會ハ政府カラ金ヲ借りテ居リマシテ、此政府ノ金ト云フモノハ、一定ノ期間ガ來レバ返サナケレバナラヌコトニナッテ居ルノデアリマス、今日成績カラ申シマス、餘リ好イ成績デハナカッタ、ソレハ創立後日モ淺イコトデアリマスシ、今日マデノ成績ハ遺憾ナガラ十分申スコトハ出來ナカッタデアリマス、併シ今日ニ於キマシテハ、相當日本人モ發展ラシテ、サウシテ二十萬人ノ今日同胞ガ「ブラジル」ニ働イテ居ルシ、此海外移住組合聯合會ニ依ル移民ガ、約二萬人位ニ達シテ居ル、斯ウ云フコトニナッテ、今後益々發展スベキ狀態ニ置カレテ居ル譯デアリマス、此際此聯合會ノ貸付金ガ、何年カ後ニナリマス、皆完済サレテシマフ、完済サレテシマヒマス、今後「ブラジル」ニ於ケル日本人ノ發展ノ上ニ、土地ヲ買ッテ世話スル人モ自然ナクナリマスシ、又金融ノ便ヲ圖ル人モナイ、斯ウ云フコトニナリマス、是ハ甚ダ私共遺憾トシテ居ルノデアリマス、政府ニ對シマシテハ、出來ルダケ此貸付金ヲ返シタラ又貸シテ貰ヒタイト云フヤウナ交渉ヲシタコトモアリマシタガ、今日御承知ノ通り、政府ハサウ云

フ風ナコトニ付テハ中々簡單ニ行キマセヌ、又時ニ議會ガ解散ナンカニナリマス、返シタ金ヲ直チニ貸付金トシテ假ニ政府ガヤリタイト思ッテモ、ヤレナイヤウナ場合モ出來ル譯デアリマスカラ、ドウシテモ恆久的ニ海外ニ於ケル日本人ノ發展上ニ、何等カノ組織ヲ作ッテヤル必要ガアルダラウ、ソレニハ幸ヒ政府ガ聯合會ニ對シテ、從來貸付ケテ居ル金ガアリマスカラ、之ヲ將來モ返サナイデ、詰リ政府ガ最初ハ海外移住者ノ爲ニ援助シタ金ダ、斯ウ云フコトニ考ヘテ貰ッテ、此金ダケデモ恆久的ニ使フヤウニサシテ貰ヒタイ、斯ウ云フコトカラ政府ニ交渉ラシテ、其結果ガ今日ノヤウナ會社組織ニナッタ譯デアリマス、サウシテ會社組織ニナリマス、其會社ノ資本金ト云フモノハ決マッテ居リマシテモ、其情勢ニ依リマシテハ、之ヲ増加スルコトモ出來ルシ、又社債ノ發行モ出來ルト云フコトニナリマシテ、詰リ資金ガ豊富ニ供給ガ出來ルト云フコトニナル譯デアリマスルカラ、サウナリマス、海外ニ於ケル移住民ノ發展上、非常ニ利益スルコトガ多クナイカト云フヤウナ點ニ考ヘ付キマシテ、斯ウ云フ案ヲ立テ次第デアリマス、ソレデアリマスカラ、先程モ植原サンアタリカラノ

色々御意見ガ出デ居リマシタ、是ハ私意見トシテ聽イテ居リマシテ、別ニ意見ニ對シテ彼此レ意見ヲ申立テルコトハ差控ヘマシタケレドモ、日本人ガ海外ニ發展シヨウト云フ以上ハ、何處ニデモサウ簡單ニ中々發展ガ出來ルモノデヤナイト思フ、今日ノヤウナ世界的ノ情勢ノ下ニ、日本人ガ發展スルニ付テハ、相當ヤハリ苦心ヲ要スル點モアリマスルシ、又困難ナ點モ打破ッテ進ンデ行カナケレバナナルマイと思ッテ居リマス、サウシタ點カラシマシテ、色々ノ點ニ於テ困難ナ場合ガアル、斯ウ思ッテ居リマスケレドモ、此困難ハ國家大局ノ上カラ見テ、打破ッテ進ンデ行クベキモノデハナイカ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居リマス、今日「ブラジル」方面ニ對スル日本人ノ移住民事業ニ付テハ、此方法ガ先ヅ今日私共ノ考ヘ付イタ一ツ方法デアル、斯ウ考ヘタ譯デ、斯ウ云フ案ヲ出シタ次第デアリマス、其事情ダケハ御諒承願ヒマス

○川崎委員 只今次官ノ御話ハ一應諒承致シマシタガ、ソレハ今回ノ新會社ヲ設立シナクテハナラヌト云フヤウニナリマシタ事實上ノ事情ナリ、又其必要ヲ御述ニナッタノデアリマシテ、其點ハ一應能ク諒承致シマシタガ、私ガ御尋致シマシタノハサウ云フ

實際上ノ必要トカ、事情ヲ伺テ居ルノデハ

アリマセヌデ、現在ノ法規ニ依テ設立サレテ居リマスル海外移住組合ノ聯合會ガ、新ニ其大部分ノ事業ヲ讓ツテ他ニ別ナ會社ガ出來ル、サウシテソレニ全部讓ツテ繼承サシテヤラスト云フ立前ニナツテ居リマス、其立前ガ現在ノ此法律デ許サレテ居ルノデアリマスカ、法律上一體海外移住組合ト云フモノガ、別ノ法人ヲ組織シテ、ソレニ自分ノ今マデノ事業ヲ全部繼承サシテヤルト云フコトガ、此法律ニ依テ可能デアルカ、ソレヲ伺テ居ルノデアリマス

○入江政府委員 其繼承スルコトニ付テ、此法律ヲ今度作ル譯デゴザイマス

○川崎委員 ソレデ私ノ御尋致サウト思ッテ居ッ所ニ入ッテ來タノデアリマス、ドウモ私ハ從來ノ移住組合法ニ依ッテハ、此聯合會ガ直チニ斯ウ言ツタ新會社ヲ組織シテ、殆ド大部分ノ事業、資産ヲ繼承シテシマフト云フコトハ、從來ノ法規デハ一寸困難デヤナイカ、ソレデ此今回ノ法案ガ其新シイ會社ヲ拵ヘルト云フソレ迄ノ授權ノ意味ニナル、聯合會ガサウ云フ風ニ組織ヲ變更スルト云フコトヲ認メル、第一條ノ規定ガ其授權ノ意味ダト云フ風ニ今伺ッタノデアリマスカ、左様デゴザイマスカ

○入江政府委員 左様考ヘテ居リマス

○川崎委員 サウ致シマスレバ其點ハソレデ諒承致シマシタ、ソコデ御尋致シタイノハ、此法ニ依ッテ新會社ガ出來マスレバ、從來ノ海外ノ移住組合ノ聯合會ハ消滅スルノデアルカ、シナイノデアルカ、一部殘ルノデアリマスカ、サウ云フ關係ハドウ云フコトニナリマスカ

○入江政府委員 聯合會ハ消滅ハ致シマセヌ、消滅致シマセズニ、現在ノ海外移住組合聯合會ガ「ブラジル」ニ於テヤツテ居ル仕事ヲ、是ハ全部繼承シマスガ、其他ノ地方ニ付テハマダ聯合會ガヤツテ居リマス、ソレハ例ヘバ「パラグアイ」ニ於ケル移住計畫ハ、其聯合會ニヤラシテ居ルヤウナ次第デアリマス

○川崎委員 御尋致ス順序上一應法理的ノ部分ダケヲ先ニ御尋致スノデアリマスガ、サウ致シマシテ、第一條ニ依ッテ此會社ヲ新設スル、ソコデ是デ決メテ置ク、斯ウ仰シヤル、然ラバ其會社ノ定款其他ニ付テハ之ニ何モアリマセヌケレドモ、當然是ハ第一條ガ今ノヤウナ御趣旨ナラバ、其精神カラ見マシテ設立行爲ナシカニ付テハ、總テ政府ガ干涉サレルノデアリマスカ、或ハ從來ノ海外ノ移住組合ノ聯合會ノ方デ之ニ當

リマスカ、ドチラガヤルノデスカ、前ニ植原君カラモ御尋ガアリマシタガ、之ヲ伺ッテ見タイ、設立ノ手續ハドチラガ責任ヲ取ッテ當面ノ衝ニ當ッテヤルノデアリマスガ、聯合會ガ設立者ニナリマスカ、政府ガ設立者ニナリマスカ、大體ノ所ハ……

○入江政府委員 是ハ詰リ第一條ヲ御覽下サイマスト、一寸前ニ戻リマスケレドモ、同聯合會ノ事業ノ主タル部分ヲ繼承スルモノニ對スル現物出資ニ充ツルコトガ出來ルトアリマシテ、事業ノ主タル部分ヲ繼承スル、斯ウ云フコトニナツテ居リマスガ、此會社ノ設立ニ付キマシテハ、何レ設立委員ガ出來ルコト、思ッテ居リマス、其委員ノ手ニ依ッテ此會社ガ設立サレルコト、思ヒマス、ソレカラ重役ハ勿論其會社ノ設立委員ニ於テ選任スルダラウト思ヒマスケレドモ、勿論會社ニ付テハ政府ガ株ヲ持ッテ居リマシテ、政府ノ認可ヲ得ナケレバナリマセヌカラ、事實ニ於キマシテハ、政府ノ方デ相當重役ニ付テハ關與スルコト、思ッテ居リマス、先程植原君カラ重役ニ付テノ御尋ガアリマシタガ、是ハマダ會社ガ出來テ居リマセヌカラ、重役ニナル人ハ政府ニ於テモ相當ノ目途ハナイデハナイノデアリマスケレドモ、マダ會社ガ出來ナイノニ重役

ニナル人ニ交渉スル譯ニ行キマセヌカラ、是等ノ點ニ付テハ此席上ニ於テ申上ゲルコトハ差控ヘタ次第デアリマス

○川崎委員 斯ウ云フコトヲ餘リ諄々シク申スコトハ恐縮デアリマスガ、ハッキリシナケレバナラヌカラ申上ゲマスガ、前ニ御尋シマシタノハ、海外移住組合聯合會ガ、當然致スベキ主タル事業ヲ、新タナル會社ヲ拵ヘテ、ソレニ依ッテヤラスト云フコトハ、現在ノ規定デハ私ハ困難ト思ヒマス、ソレデ此ノ第一條ハ客觀的ニ見テ——サウ云フ會社ガ設立サレル場合ニ於テハ、其會社ニ對シテ政府ガ現物出資ヲナサルノデアリマスカ、ドウモ此第一條ニ依ッテ新タナル會社ヲ設立スルノダト云フコトハ、ドウモ此規定ガ曖昧デハッキリ致シマセヌ、私ハ法律ニハ精シクアリマセヌカラ、サウ云フヤウナ條文ノ解釋論ヲ致スコトハ固ヨリ好ミマセヌ、又如何ニモ政府ノ方ノ苦シイ事情ハ御察シスルガ、斯ク如キ曖昧模糊タル條文ハドウモ立法上餘リ宜クナイコトダト思ヒマス、サウ云ツタ意味デ、隨テ設立委員ヲ拵ヘラレルト仰シヤイマスケレドモ、其設立委員ハ一體誰ガ選定スルカ、普通ノ會社ナラバ發起人ト云フモノガ集マツテヤルノデアリマスカ、是ハ從來ノ特殊會社——恐ラク

四分ノ一弱ノ出資ヲ政府ガスルノデアリマスカラ、其意味デ特殊會社ト言ッテ差支ヘナイデセウガ、此會社ノ設立委員ヲ拵ヘルト云フコトニナレバ、政府ガ任命スルノデアリマスカ、聯合會ノ方デ設立委員ヲ依囑スルモノデアルカ、或ハ同志ノ人が集ッテヤルノカ、ハッキリ御聽キシテ置キタイ

○入江政府委員 一寸速記ヲ止メテ戴キタイ

○野村委員長 ソレデハ速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○野村委員長 速記ヲ願ヒマス

○川崎委員 續イテ御尋致シマスガ、此會社ガ設立サレマス場合ニ於テノ、設立後ニ於キマシテハ政府ハ此會社ノ業務ニ關シテ、監督上必要ナル命令ヲ發シタリ、又必要ナ處分ヲ爲スコトガ出來タリ、選任及ビ改任、定款ノ變更、利益金ノ處分、合併並ニ解散ノ決議ハ、政府ノ認可ヲ受クルニ非レバ效力ヲ發生シナイ、斯ウ云フ規定ガゴザイマスガ、此會社ガ設立サレル場合ニ於テノ手續ナリ、此會社ノ定款ナリ、是ガ誰ガ設立者ニナルカ、斯ウ云フコトニ付テハ一向私達ハ諒解スルコトガ出來ナイノデスガ、第一條ニハサウ云フ規定モ窺フコトガ出來マセヌ、定款ハ勿論創立總會デ定メル

ノデセウガ、定款ノ一部ニ付テモ之ヲ變更スル場合ニ於テ、政府ノ認可ヲ得ナクチャ效力ヲ生ジナイ、殊ニ政府ガ多大ノ出資ヲ致ス場合モアリマスルカラ、實際ノ此會社ノ設立ノ手續、誰ガ設立者ニナリ、定款ヲ實際上誰ガ定メルカ、サウ云ッテ點ヲ一ツ同ッテ置キタイと思ヒマス

○武田政府委員 此點ハ此法案ヲ立案シマス時ニ、關係省トモ協議シマシテ、色々問題ニモナッテ考慮シタノデゴザイマスガ、結局此會社ノ設立ニ付テハ、政府デ以テ十分面倒ヲ見ルト云フコトニナッテ居リマスノ

デ、マア事實上政府ノ意向ヲ十分ニ體現シタモノガ出來上ルノダト云フコトラ諒解シテ、設立ハ形式的ニハ無論商法ニ依ルノデアリマスケレドモ、實際問題トシテハ政府ノ意向ガ十分ニ體現サレルト云フコトニナッテ居ル譯デゴザイマス

○川崎委員 只今政府委員ノ御答辯デ分リマシタガ、要スルニ一言デ申セバ、此會社ハヤハリ日本ノ商法ノ規定ニ依ッテ、一商社會社トシテノ普通ノ手續ニ依ッテ設立サレルモノダト、總テ設立ニ至ルマデノ經過、手續ナリ方法、又法律上ノ性質ナリ、總テハ日本ノ商法ニ依ル一商社會社ト、斯ウ解シテ宜イノデスネ、ソレデ宜シウゴザイマ

ス

○武田政府委員 左様デゴザイマス

○川崎委員 ソコデ御尋致スノデアリマスガ、一商社會社デアッテ、ヤハリ是ハ實質的ニハ公益ヲ大イニ目的トシテ加味シテ居ルノデアリマセウガ、併ナガラ商社會社トシテハ、ヤハリ營利ヲ目的トシタ一ツノ商社會社ニ過ギナイ、今マデノ海外移住組合ノ聯合會ト云フモノハ、是ハ移住組合共同ノ目的ヲ達スル爲ニ集ッテ會デアリマシテ、恐ラク其目的トスル所ハ公益的ノ主タル理由ニ依ッ

テ出來テ居ルモノダト思ヒマス、隨テ其施設モ色々事實上ニ於テノ商行爲モ行ヒマセウシ、經濟行爲モ行ヒマスルガ、其窺極ノ

目的ハ總テ移住民相互ノ共同ノ利益デアルトカ、サウ云フ意味ニ於テ公共、公益ノ目的ニ於テ、私ハ出來テ居ルモノデアッテ、營利ノ爲ノ聯合會ハ認めラレテ居ルモノデナ

イ、其聯合會ガ一商社會社ニ、其主タル所ノ資産ナリ事業ト云フモノヲ繼承サセテヤラスト云フコトハ、是ハドウ云フヤウニシ

テ出來ルノデアリマセウカ、其點ガ非常ニ私ハ不可解デアリマスガ、海外移住組合ノ聯合會ガ解散ニデモナリ、而モ主タル事業ノ大部分ヲ一商社會社ニ全部委譲シテシ

マッタ、サウシテ事實ニ於テ新タナル會社ヲ拵ヘルト云フコトハ、今マデ海外移住組合

ノ規定ノ本旨ニ副フモノデアルカ、甚ダ私ハ疑ハシイノデアリマスガ、法律的ニモ果シテ是ガ可能ナリヤ否ヤト云フコトハ疑問

ナノデアアル、此疑問ヲ第一條ニ於テ解決シテ居ラレルト云フナラ、第一條ノ規定ヲモウ少シハッキリ明確ニ何トカ他ニ規定ヲシ

ナケレバ、私ハ諒承ニ苦シムノデアリマス

○入江政府委員 洵ニ御尤ナ御質問デアリマスガ、實ハ先程カラ申上ゲマシタヤウ

ニ、此會社ハ本質的ニ申シマス、詰リ海外移住組合聯合會ノ仕事ヲ繼承シテ居リマスカラ、公益的ノ仕事デアリマスガ、併シ此會社ト云フ點ニ於キマシテハ、商法ニ依ル會社ト同ジヤウナモノデアリマスルカラ、是ハ表面カラ法律的ニ議論サレマス、

營利ヲ目的トスルノデハナイカト斯ウ仰ッシヤラレルト、其點ニ付テ左様デアリマス

ト、斯ウ云フマア形ニナリマスガ、併シ實質的ニハ海外移住組合聯合會ノ仕事ヲ繼承シタ、一種ノ公益的ノ仕事ヲヤッテ居ルノ

デアリマシテ、サウ云フ點ニ付キマシテノ、詰リ此會社トシテサウ云フ方面ノ目的ニ仕事ヲセシムルニ付テハ、政府ハ十分監督ヲ

シ、又サウ云フ方面ニ向ケルヤウニ指導ヲスル積リニシテ居リマス、其邊ガ甚ダ此法

案ソレ自體ヲ見マスルト、矛盾シタヤウナ
點モアリマスルガ、其邊ハ左様御承知ヲ願
ヒタイと思ッテ居リマス

○川崎委員 序デニ御尋致シマスガ、此新
設會社ノ要項ニ依ッテ見マスルト、大體資本
金一千萬圓、此中ノ十四萬五千株ト云フモ
ノハ、政府ガ之ヲ持株トシテ居ル譯デアリ
マスガ、其殘餘ノ五萬五千株ハ聯合會ノ組
合員其他關係者ニ於テ出資スル、斯ウ云フ
コトニナッテ居ルノデアリマスルガ、此點ニ
付キマシテ根本ニ遡ッテ、私ハ聯合會ノ現在
ニ於テノ資産其他ニ付テ、御尋致シタイト
思ヒマスルケレドモ、ソレハ後ニ致シマシ
テ、兎ニ角此組合會員ト云フモノ、其他ノ
關係者、會員ガ現在ドレ位アリマセウカ、
組合員以外ノ會員、サウシテドウ云フ人デ
アルカソレヲ伺ッテ置キタイ、其他ノ關係
ニ於テ出資スル者、是ハドウ云フ關係者ト
云フモノヲ豫想サレテ居ルモノデアリマセ
ウカ、ソレヲ伺ッテ置キタイ、一應其點ヲ一
ツ御答辯ヲ願ヒマス

○武田政府委員 組合以外ノ會員ニ付テ
ハ、其才名前ガ總テハッキリシテ居リマス
カラ、後デ資料トシテ差上ゲマス、出資ニ
付キマシテハ、御承知ノ通り南米關係ノ事
業會社團體其他ノモノガアリマスルシ、又

移住組合聯合會ニモ相當ナ出資金ヲ擁シテ
居ルモノガアルノデアリマスカラシテ、是
等ノモノモ出資スルダラウト思ヒマス、ソ
レカラ又個人デ斯ウ云フ風ナ方面ノ仕事ノ
熱心家デ、從來モ斯ウ云フ方面ニ相當ナル
功績ヲ擧ゲラレタ方々デ、出資ガシタイト
云フヤウナ意向ヲ内々漏ラサレテ居ルヤウ
ナ方面ノ方モアリマス、サウ云フ人デ大體
構成出來ルノダト云フヤウニ見込ヲ付ケテ
居ル譯デアリマス

○牧山委員 一寸議事ノ促進ニ關スルコト
デスガ、私ハ是マデ他ノ委員會デ外ノ省ニ
資料ヲ要求シタモノハ、直グ提出シテ居ル
サウシテ貰フ方ガ斯ウ云フ審議ニ當ッテモ
便宜デアリマスガ、私カラ要求シタ特殊會
社ニ關スル資料、ソレト同時ニ要求シタ種
種ノ資料モ、今日マデアナタノ拓務省ノ方
ハ御出シニナラナイ、是ハドウモ甚ダ不親
切ノヤウニ思フ、斯ク怠慢デハ私共委員ガ
議案審議上不便此上ナイノデアアル、例ヘバ
本案ノ「貸付元利金ノ内七百二十五萬圓ノ
債權ヲ同聯合會ノ主タル財産ヲ承繼シ」ト
ナッテ居リマスガ、此七百二十五萬圓ノ内容
ヲ明ニスルコトナクシテ、吾々が直グ之ニ
協賛ヲ與ヘルモノト思ハレルノハ、常識上
理解出來ナイ、吾々が要求スルトシナイト

ニ拘ラズ、斯ル資料ハ當然政府ガ進ンデ提
出シナケレバナラヌモノデヤナイカと思フ
ノデス、其爲ニ非常ニ審議ガ遅クナルノデ
ス、又此會社設立ハ當然立法事項デアアル、
ソレ位ナ重大ナモノヲ、唯數字ダケ、七百
二十五萬圓ヲ政府カラ出資スルト云フノミ
デ、果シテ適當ナリヤ否ヤト云フコトノ判
斷ハ、神様デモ出來ヌコトデアリマス、ア
ナタ方ハ移植民獎勵ノコトニ付テハ——吾
吾ハ多年之ヲ力説提唱シテ居ルノデアアル
ガ、宜イ加減ノ説明デ通シテ貰ヘルダラウ
ト云フコトデハ絶對ニ承服出來ヌ、案ノ内
容ヲ吾々が十分了解スルニアラザレバ絶對
賛成シマセヌ、アナタト懇意トカ何トカ云
フ、ソシナ私情デハ一切私ハ受付ケナイカ
ラ、ソレハ十分御考ヲ願ヒタイ

○入江政府委員 資料ガアリマスノハ十分
提供シマス、サウ云フコトヲ出シ惜ミシテ
居ル譯デモ何デアリマセヌカラ、其點ハ
ドウカ御諒承ヲ願ヒマス

○牧山委員 重ネテ申シマスガ、此移民組
合ノ狀態ガドウナッテ居ルカ、其施設ガドウ
ナッテ居ルカト云フコトハ、此法案ノ唯一ノ
資料デハアリマセヌカ、ソレガ一ツモ出デ
來ナイデヤアリマセヌカ、私ガサッキ要求
シタガ、私共ハサウ云フ事ガ十分合點ガ行

カナケレバ、會期ガ切迫シテ居ルカト申
シテ、私共ハ首判ヲ捺スコトハ出來ナイト
云フコトヲ重ネテ申上ゲマス、是ハ當然ノ
要求デアアル、私ハ他ノ委員會モアリ、豫算
委員會モアル、他ニ重大法案ノ委員長モヤッ
テ居ルカラ、ドウモ此處ニ來テ長質問ヲス
ルコトハ非常ニ迷惑ダ、隨ッテ成ベク資料ニ
依ッテ早く了解シテヤリタイノデス、併シ是
デハ全然提案理由ガ分ラナイ、是ハアナタ
方ノ責務デスカラ、責務ニ忠實デナクテハ
ナラヌ、審議ニ要スル資料ハ政府委員諸君
ガ常識デ考ヘテモ分ル筈ダと思フ

○武田政府委員 實ハ川崎サンカラノ御要
求ガアッテ、川崎サンノ御手許ニハ相當詳シ
イ物ヲ差上ゲテアルノデアリマスガ、内容
ガ相當複雑シテ居リマスノデ、御説明ヲ申
上ゲタ方ガ宜イカト思ッテ、實ハ御質問ガ
アッタラ御答シヨウト思ッテ居ッタノデアリ
マス、サウ云フ御要求デゴザイマシタラ、
早速取寄セマシテ詳シイ資料ヲ——最近數
年間ノ決算報告、ソレヲ又分リ易イヤウニ
整理シテ拵ヘタ本ガアリマスカラ、ソレヲ
御手許ヘ差上ゲマス

○齋藤委員 私モ牧山君ト同感デアリマ
ス、左様ナ資料ヲ出サレヌト云フ政府ノ御
取扱ガドウモ分ラヌ、只今ノ御説明デハ川

崎君カラ質問ガアルカラ其際答辯ニ依ッテ説明ヲスル、斯ウ云フ積リデ資料ヲ御提出ニナラナカッタ、斯ウ云フノデスケレドモ、ソレハ今日ノコトデアリマスカラ、委員會ノ初ニ當ッテサウ云フ重大ナル資料ヲ出サレヌト云フ政府委員ノ御氣持ガ分ラヌ、茲ニ牧山委員ニ同感ノ意ヲ表シテ置キマス

○川崎委員 只今御答辯ヲ得マシタガ、重ネテ申シテ置キマス、會員ノ氏名ハアトデ御知ラセ願フコトニ致シマシテ、關係者ト云フコトニ付テノ御説明ガゴザイマシタカラ、モウ少シ此會員ヲ御知ラセ願フ時ニ、範圍モ具體的ニ御示シ願ヒタイと思フノデ

ス、要スルニ是等ノ點ニ付テ、私ハ斯ウ云フ特別ノ關係者ノミニ依ッテ出資サスコトモ、一ツノ方法ダと思ヒマスケレドモ、併シ苟モ今回何ト申シマスカ、或ル意味ニ於テノ是ハ一種ノ特殊會社デアアル、政府ハ四分ノ三弱ノ出資ヲスルコトニナリマス、サウ云ッテ場合ニ於テ、他ノ方ノ而モ民間ノ出資ニ對シテハ、是ガ利益ガアレバ相當ニ優遇サレテ、政府ノ出資ニ對シテハ他ノモノハ年六分ニ達スルモノハ全然配當ヲ受ケナイ、斯ウ云ッテヤウナ特典モ與ヘテ居ル、其保護ヲ與ヘラレテ居ル場合ニ於テ、政府以外ノ出資者ガ或ル局部ノ人ニ限ラレテ居

ルト云フコトハ、一般國民ニ對シテドウ云フモノデアアルカ、是ハ拓殖政策上カラモ考ヘナケレバナラヌデセウガ、又出資者側ガ或ル意味ニ於テハ、特別ノ關係ノ者ノミガ保護シテ、而モ政府ノ特殊會社ニ持株ヲ持チ得ル特權ノヤウニナレバ、是ハ私ハ考ヘナケレバナラヌと思フ、サウ云ッテ意味デ此出資者ト云フモノハ、餘程御考ニナラナケレバナラヌト私ハ思フノデスガ、ドウ云フ意味デ、政府ハ斯ウ云フ風ニ組合及ビ會員其他ノ關係者ト云フヤウニ、出資者ヲ限定サレタノデアリマスカ、重ネテ伺ッテ置キマス

○入江政府委員 關係者ト云フコトニ書キマシタノハ、實ハ南米邊リノ仕事デアリマスルカラ、之ヲ募集シマシテモ、實際ノ事情ハ分ッテ居ナイノデアリマシテ、果シテサウ云フ風ナ應募者ガアルカドウカト云フコトモ、懸念シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ仕事デアリマスカラ、半バ理解ノアル人デ、サウシテ斯ウ云フ事業ヲ進ンデ助ケテ、國家的ノ事業ニ參與シテ、サウシテ此事業ヲ援助シタイ、斯ウ云フ氣持ノ人ニ御願スルヨリ外ハナイ、斯ウ云フ關係カラ關係者ト云フヤウナコトヲ書イテアルノデアリマスガ、併シサウ云フ點ニ付テ此株ヲ持ッテ下サル人ガアレバ、ソレハ非常ニ結構

ナコトダと思ッテ居リマスガ、尙ホ色々會社ガ設立サレル場合ニハ、サウ云フ點ニ付テハ十分遺憾ナク考慮シタイ、斯ウ思ッテ居リマス

○川崎委員 私ノ申上ゲタノト政府委員ノ御答辯トハ、マルデ私ガ東ト言ヘバ政府委員ノ方ハ西ト云フ御考ヲ持ッテ居ラレル、即チ私ハ斯ウ云フモノヲ獨占的ニ、或ル範圍ノモノニ出資者ヲ決メルト云フコトハ、ドウカト云フノデス、ソレハ他ノ方面ノ出資ガアレバ宜イケレドモ、恐ラク斯ウ云フ特殊事業デ困難デアルカラ、先ヅ義務的ニ關係者ニ、寧ロ或ル意味ニ於テハ理解ト申シマスルカ、或ハ強要シテサウ云フヤウナ特殊ノ關係ノアル者ニ、因果ヲ含メテ持ッテセ

ルヨリ仕方ガナイ位ノ御考ノヤウデアリマス、左様ナ場合ニ於テハ、例ヘバ現在ニ於テモ東拓ニ致シマシテモ、或ハ滿鐵ニ致シマシテモ、事實ニ於テハ朝鮮銀行ニ於テモ、朝鮮殖産銀行ニ於テモ、植民ノ爲ニハ相互援助ノ意味ニ於テ、相互ノ株ヲ持合ッテ居ル實情デアリマスカラ、サウ云フモノヲヤハリ特殊會社ニ持タスコトハ一向憚ラナイモノト思フシ、ソレガ却テ特殊ナモノニ迷惑ヲ掛ケルヨリ其方ガ宜クハナイカト考ヘマス、是ハ餘計ナコトデアリマスガ、其意

味カラ申シマシテ、何モ出資者ノ少イコトヲ惧レル必要ハナイカラ、關係者ニ局限スルト云フヤウニ御考ニナルコトハ宜イト思フ

次ニ御尋致シマスガ、「パラグアイ」拓殖部特別會計及出資ノ一部ヲ除クノ外海外移住組合聯合會ノ有スル資産負債ヲ繼承スルモノトスト云フコトニナッテ居ル、「パラグアイ」拓殖部特別會計及出資ノ一部、是ハ只今牧山先輩ナリ齋藤君カラモ御質問ガアリマシタガ、私モソレニ付テ質問ヲシヨウト思ッタノデス、同時ニ御尋シテモ宜イノデスガ、拓殖部ノ特別會計及出資ノ一部ト云ヒマスガ、ソレハ具體的ニドウ云フモノヲ意味スルカ、一ツ之ヲ御示願ヒタイ、特別會計ト云フノハドウ云フモノデアッデ、現在ドウ云フ狀態デアアルカ、又ハ出資ノ一部ヲ除クト云フ、其除外スベキ出資ノ一部ト云フノハ如何ナルモノヲ意味スルカ、斯ウ云フモノハ一體具體的ニ御示願ヒタイ、先程カラ度々牧山先輩カラ御話ガアリマシタガ、抽象ノ問題デハナク、具體的實際のノ問題デアアル、一體幾ラ入レル、何ボ持株ヲ持ッテドウスル、而モ金デ出シテ居ルモノハ、既ニ出シテ居ルモノヲ換算シテ七百五十萬圓トシテ持株ニシヨウト云フノデア

カラ、最初政府ノ御要求ガアツタカラ、成ベク觸レタクナイト思ヒマスケレドモ、併シ吾々責任上御尋スルト、益、サウ云フ點ニ付テハ疑問ガ深マルノミデアリマスカラ、敢テ此案ニ反對スル意思デモアリマセヌ、寧ロ之ヲ早ク通シテ上ゲタイ、又私達ノ此質問應答ガ、海外ニ對シテ面白クナイ影響ヲ及ボスト云フコトハ、是ハ私達モ非常ニ不本意デアリシ、吾々ハ政府ニ對シテ總テ其意味デ申上ゲテ居ル、併シ吾々議員ノ職能トシテ、又義務トシテ質スベキモノヲ質シテ、サウシテ正シキ認識ノ下ニ於テ判斷處理シタイト思ヒマシテ、他意ナク御尋申上ゲテ居ルノデアリマスカラ、其意味デーツ御答願ヒタイト思フノデアリマス

○武田政府委員 是ハ「パラグアイ」移住者ヲ創設スル爲ニ、別ニ「パラグアイ」拓殖費ト云フモノヲ設ケマシテ、之ニ對シテハヤハリ移住者ノ入植ニ必要ナル移住地ヲ取得、並ニ之ヲ分譲スルニ必要ナ施設、資金、並ニ移住者ニ必要ナ生産資金ト云フヤウナモノヲ貸付ケ、更ニ又必要ナ施設ニ對シテ補助ヲシテ居ル、洵ニ小サイ計畫デハアリマスケレドモ「パラグアイ」ニモ昨年カラ此實行ニ著手シテ居ルノデアリマシテ、此法案ノ事業ハ「パラグアイ」拓殖部ト云フ特別

會計デヤツテ居ル譯デアリマス、現在既ニハ千町歩餘リノ移住地ヲ購入致シマシテ、其處ヘ移住者ヲ送ツテ居リマスガ、此方ノ仕事ハ何分ニモマダ創設當初デアリマスシ、之ヲイキナリ會社ニ繼承サセヨウト云フコトハ、色々ナ事情カラ見テ困難ノ點ガアリマスノデ、之ヲ聯合會ガ存續シマスノデ、續イテ聯合會ニヤラセヨウト云フコトニナツテ居リマス、詳シイ資料ハ何レ後ニ差上ゲルコトニ致シマス

○川崎委員 續イテ御尋致シマスガ、從來政府ニ於キマシテハ、海外移住組合聯合會ニ對シテ、年々相當ノ貸付金ヲ致シテ居ルノデアリマス、先ニ牧山君カラモ御質問ガアリマシタガ、ソレト重複致シマスレバ、其牧山君ニ對スル資料ヲ吾々ニモ御配付願ヘバ結構デアリマス、若シ重複シナイ分ガアリマスレバ、只今私ガ要求致シマス點ヲ一ツ御示ヲ願ヒタイト思ヒマス、是ハ後デ書面デ宜シウゴザイマス、海外移住組合聯合會ニ對スル從來ノ政府ノ貸付金、此額ハ茲ニ戴イテ居リマスガ、是等ノ企業費ノ貸付金ナリ、其生産資金ノ貸付ノ條件、サウシテ其償還計畫ニ付テ、實際ニ其償還年次通りニ、ソレガ運用サレテ居ッタカドウカ、又其年ノ償還計畫通りニ、政府ニ對シテ償還

サレタカドウカ、此一部ハ政府委員ノ御答辯ニモアリマシテ、中々最初ノ計畫通りニ償還ガ實行サレテ居ナクッタヤウニ伺ヒマスガ、之ヲ計數的ニ一ツハッキリ御示ヲ願ヒタイ

○野村委員長 川崎君、御質問中デスガ、時間ノ都合デ、先ニ牧山君カラ大臣ノ出席ヲ求メラレテ居リマシテ、今大臣が見エマシタカラ、其方ヲ先ニシテ其間一寸御待下サイ

○川崎委員 宜シウゴザイマス、私ノ發言ハ一時是デ中止致シマスガ、今申シマシタ要求事項ヲ後デ宜シウゴザイマスカラ、書面デ計數的ニハッキリ御示シヲ願ヒマス

○牧山委員 外務大臣ガ御出席デアリマスガ、實ハ移植民政政策ニ關スルコトヲ御尋シタイノデアリマス、所管ハ主トシテ拓務省ダト思ヒマスガ、併シ實際ニ於テハ今ノ拓務大臣ハ大藏大臣ガ本務デ、拓務省ノ方ハ兼攝ニナツテ居リマシテ、此間他ノ委員會ニ於テモ實ハ伺ッタノデアリマスガ、

詰ジリマシタ所、御取消ニナツタノデアリマスガ、實際ヲ言ヘバ屬僚任セデアラウト思フノデアリマス、ソコデ所管大臣ノ拓務大臣ニ此處ヘ御出デテ願フデモ、一寸御迷惑ト思ヒマシテ、實ハ總理大臣ト外務大臣トノ御出席ヲ願フタ譯デアリマス、總理大臣ハ豫算委員會等デ御多用ノ中ヲ御出デテ願テ恐縮デアリマスガ、私モ豫算委員デスカラ、アノ席デ伺フデモ宜カッタデスガ、此委員會席上デ伺フ方ガ適當ダト思ッテ、此處ニ御出席ヲ願フタノデアリマス

今私共ハ從來南米ノ移民問題ニ關シテ移民組合ニ貸付ケテ居ッタ七百二十五萬圓ノ金ヲ、政府出資トシテ新ニ一ツノ移民會社ヲ作ラウト云フ計畫ノ案ヲ、審議致シテ居ル譯デアリマス……

〔川崎委員長代理退席、委員長著席〕

ソコデ先刻來大分委員ト政府委員トノ間ニ、質問應答ヲ重ネタノデアリマスガ、ドウシテモ總理大臣カラ我國ノ移植民政政策ノ根本ニ付テ、大體ノコトヲ伺ハナケレバ、此審議ヲ進メルノニ非常ニ不便ダト考ヘルノデアリマス、我國ノ情勢ニ於テ國民ノ海外發展ノ必要ナルコトハ申スマデモナイノデアリマスガ、對外移植民政政策ニ付テハ何處ニ主力ヲ置キ、ドウ云フヤウナ方針デヤッ

テ行カウト云フ御考デアリマスカ、先ヅ之ヲ總理大臣カラ伺フテ見タイト思ヒマス——只今ノ質問要旨ダケデハ、御答辯ナサルノニ趣旨ガ徹底シナイカト思ヒマス、御答辯ニ御躊躇ニナツテ居リマスカラ、一ツ私ノ間ハント欲スル要點ヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、先刻來岡本亞米利加局長カラ伺ッタノデアリマスカ、「アマゾニヤ」産業株式會社ト云フノガ、政府補助ノ下ニ出來上ツテ居ルノデアリマス、是ハ佐藤外相ハ十分御承知ダラウト思ヒマスカ、「ブラジル」政府カラ百萬町歩ノ「コンセシジョン」ヲ得テ、將來一萬戸バカリヲ移住セシメヨウト云フ計畫デヤツテ居ル、私共之ニ對シテハ滿腔ノ贊意ヲ表シテ居リマスカ、然ルニ其後先方ノ國情ト申シマスカ、政情ガ變化シマシテ、既得權ダト思フテ居リマシタ此「コンセシジョン」ニ難辯ヲ付ケテ、ソレガ爲ニ今日デハ全然租借權ガ無効トナツタ會社モ立竦ミノ狀態デアル、其理由ハ岡本局長カラ伺ッタノデアリマシテ、其内情ヲ今茲伺ハウト云フノデアリマセヌ、サウシテ今頃挫ラ來シタノデアル、北米ニ於ケル移民狀態ハ御承知ノ通りデアリマスカラ、私ノ所見ヲ先ヅ申述ベテ、御答辯ヲ煩ス方ガ適當ダト思フノデスカ、海外移民發展ハ極メ

テ必要デアリマスカ、卑見ヲ以テ致シマスレバ、先ヅ日本ノ勢力圈内ニ力ヲ集注スルコトガ宜イノデハナイカ、具體的ニ申シマスナラバ滿洲方面、即チ日本ノ接壤地方面ニ主力ヲ盡ス、飛ビ離レタ所ニ力ヲ注イデ居リマシテモ、例ヘバ先年亞米利加ニ於ケル移民排斥ニ依ツテ日本ハ根本的ニア、云フ狀態ニナツタ、南米モ「アマゾニヤ」産業會社ヲ設立サレタ當時ニ於テハ、向フモ非常ナ歡迎ヲシテ此計畫ガ行ハレタノデアリマスケレドモ、即チ相手國ノ政情ガ變化致シマスレバ、此大計畫ト云フモノガ根本カラ破壊サレルヤウナコトニナル、百萬町歩ヲ得タ「コンセシジョン」ガ、折衝ノ上デ十五萬町歩ニ切詰メテデモシヨウト云フヤウナコトデ交渉サレタガ、ソレモ今デハ見込ガ付カスト云フコトデアリマスカラ、私ノ考デハサウ云フヤウナ方面ニ付テハ相當考ヘテ力ヲ盡サナケレバナラヌ、先ヅ主トシテ國內ニ於ケル、例ヘバ北海道ノ人口稀薄デアル所ニ移住ヲ行フトカ、樺太ガ稀薄デカラ其處ニ持ツテ行クトカ、國內ノ移住モ必要デアリマスカ、今日我國ハ要スルニヤハリ滿洲方面ニ相當力ヲ盡サネバナラスト思フ、是ナラ變化ガナイノデスカ、滿洲國情ガ變化シテ彼處カラ日本人ガ追拂ラハレルト

カ、或ハ新付同胞タル朝鮮人モ追拂ラハレルト云フコトニナレバ、ソレハ日本ノ國運ノ全體ガイカスノデアリマスカ、飛ビ離レタ外國ヘノ移民ニ付テハ相當ニ考ヘナケレバナラヌノデハナイカト思フノデアリマス、サウ云フ所ニ大變ナ援助金ヲ掛ケ、大量移民ヲ行フトコトハ少シ考慮スベキデハナカラウカ、今度新ニ斯ウ云フ計畫ヲサレマシタト云フコトニ付テモ、今ノ「アマゾニヤ」産業會社其他ノ例等デ見マシテモ——此會社自體ニ付テモ非常ナ疑問ヲ持ツテ居ルノデアリマスカ、サウ云フ方面ニ付テ、大體ノ移民方針デ結構デアリマスカ、我國ノ移民政策ハ大體ドウ云フ所ニ力ヲ向ケテ行クカト云フコトヲ總理大臣ニ伺ヒタイ、是ハ此贊否ヲ決スル上ニ於テモ重大ナ點ダト考ヘルノデアリマス、唯今海外移住組合デ取扱ツテ居ルノハ移民一人當リ二百五十圓補助スルサウデアリマスカ、移民ノ手ニ渡ルノハ五十圓デ、二百圓ハ海外興業會社ノ手数料ト船賃ニナツテ居ルト云フ譯デアリマス、南米ノ新天地ニ何千人ト云フ同胞ガ行ツテ居ルト云フコトハ、大變力強イヤウデアリマスケレドモ、一面カラ云フト、移民ニハ此二百五十圓ノ補助金ノ中五十圓ヨリ手ニ入ラナイ、移民ガ働イテ、ド

ノ位本國ニ送金スルカト云フニ、今ノ狀態デハ大シタコトハナイノデアリマス、サウスルト我國ノ同胞ヲ遠イ國ニ送ツテ、其國ノ政情ノ變化ニ伴ツテ非常ナ難儀苦勞ヲサシテ、其結果ハ唯單ニ相手國ノ社會的貧血ヲ補フニ止マリテ、何等母國ヲ利スルコトモナケレバ、外交上ノ強ミニモナラヌノデハナイカトモ思ハレルデアリマス、此私ノ卑見ヲ大體申述ベマシテ御所見ヲ伺フ方ガ適當ダト思ヒマスカラ、甚ダ前後不揃デアリマシタケレドモ、私ノ間ハント欲スル重點ヲ申述ベマシテ、先ヅ内閣總理大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○林國務大臣 只今ノ牧山君ノ、移民ト云フコトニ付キマシテノ御意見ハ、大體私共モ御同感デアリマス、ソレデ移民ノ方針トシマシテハ、ヤハリ最モ確實性ノアル、而モ我國ノ移民ヲ最モ歡迎シテ呉レル滿洲ニ、最モ力ヲ注グ考デアリマス、是ハ既ニ御承知ダト存ジマスカ、第一期ノ計畫トシテ五箇年十萬戸、更ニ進ンデ二十箇年百萬戸ノ計畫ヲ立テ、居ル次第デアリマス、其他ノ海外ノ各地ニ對シマシテハ、只今申シタ邦人ノ移民ヲ欲セザル國、或ハ又他國ノ移民ト差別的待遇ヲスル國、サウ云フ所ヘハ成タケ出サナイ方ガ宜イト云フ大體ノ方

針ヲ立テ、居リマス、國際上差支ナイ所デ、歡迎ヲスル所ニハ努メテ移民ノ點ニ付テモ考ヘテハ居リマスガ、大體カラ申シマスト今申シヤウナ順序ガ、根本的ノ一ツノ方針ト考ヘテ居リマス

○牧山委員 私ノ質問ノ要旨ニ對シテ、外務當局トシテ外交上ノ見地カラ如何ニ考ヘテ居ラレマスガ、又今ノ「アマゾニア」方面ニ於ケル移民問題ノ「コンセプション」問題ノ行惱ミ等カラ考ヘテ、外交的ニ相當考慮ヲ要スルノデハナイカ、斯ウ思フノデアリマスガ、佐藤外務大臣ノ新シイ經綸抱負ノ一端ヲ伺ヒタイ

○佐藤國務大臣 移民ニ關スル方針トシマシテ、只今總理大臣カラ述べラレタ所ハ、勿論吾々全體トシテ服膺スベキ方針デアリマス、外務省トシマシテモ只今説明サレマシタ大キナ移民ノ方針ニ依ッテ、行動シテ居ル譯デアリマシテ、今後モ其方針ハ變ラヌコト、信ジマス、移民ヲ送ルコトガ果シテ國家勢力ノ隆盛ヲ來ス所以デアルカドウカ、若クハ外交上ニ不測ノ困難ヲ來スヤウナコトニハナラヌカ、移民アルガ爲ニ却テ日本トシテノ將來ニ、不便ヲ來シハシナイカト云フヤウナ御心配デアッタと思フノデアリマスガ、其點ハ私ハ全然御同感ト

申上ゲ兼ネルノデアリマス、移民ガ、只今總理大臣ガ仰セラレタ通りニ、歡迎サレテ居ル國ニ行キマシテ、而シテ相當ノ發展ヲ爲シ、且ツ其國ノ獨立ヲ毀損シナイ、寧ロ其移住シタ土地ノ繁榮ヲ來スベク、日本ノ移民ガ協力シ得ルナラバ、サウ云フ移民ハ日本ニ取ッテ寧ロ歡迎スベキコトデアラウト思フノデアリマス、其移民達ノ働イタ上ゲ高ガ日本ニモ——本國ニモ送金サレマスシ、是ガ詰リ何ト申シマスガ、普通ノ貿易外ノ收入ニナルノデゴザイマス、移民ノ數ガ多ケレバ多イ程、又其働キ、勞力ノ結果ガ大ナレバ大ナル程、其貿易外ノ收入ガ殖エル譯デアッテ、是ガ日本全體ノ國際貸借ノ上カラ見マシテ、非常ニ必要ナルコト、感ジマス、御存ジノ通り日本ハ始終入超ニナッテ居リマスル國デアリマスレバ、其差額ハヤハリ貿易外收入ニ依ッテ之ヲ補フノ外ナイト思フノデアリマス、然ルニ此日本ノ移民ヲ歡迎シテ居ル國デアッテモ、是ガ情勢ノ變化ニ依ッテ歡迎セザル國ニナリ得ル、サウ云フ場合ニ、現ニ只今例示サレマシタガ、サウ云フ場合ニ對シテハ、ドウ云フ風ニ考ヘルカト云フ御話デゴザイマスガ、是ハ國際間ノ問題ニ付キマシテハ、洵ニ不幸ナコトデアリマスルガ、時々發生スル事態デゴ

ザイマシテ、斯ウ云フ事態ガ發生シナイヤウニ努力スルト云フノガ、第一ノ吾々ノ務デアリマスコトハ申ス迄モナイコトデアリマスルガ、萬一不幸ニシテサウ云フ事態ニ遭遇シマシタナラバ、其時ト場合ニ依リマシテ、何トカ其國ノ自然的繁榮、發達ヲ害セズ、又其國ノ危險トナラナイヤウナ方針ヲ立テ、而シテ其國ニ安心ヲ與ヘ、移民ヲ繼續シテ在住セシメ、若クハ繼續シテ送ルコトガ出來ルヤウニ處置スル外ナイト思フノデアリマス、現在ノ問題ニ付キマシテハドウ云フコトニナルカ、私自身ハマダ研究シテ居リマセヌノデゴザイマスルガ、聞ク所ニ依リマスルト、近ク同地カラ歸ッテ來ラレタ人ガアルサウデアリマシテ、其人ノ話モ能ク聞イタ上デ、今後ノ對策ヲ一應攻究スルコト、ナルガラウト思フノデアリマス

○牧山委員 移民原論ノ講釋ヲ伺ッテ……移民ハ貿易外ノ收入ヲ増ス云々ト云フ如キコトハ、サウ云フコトハ私モ存ジテ居リマス、現實ノ問題トシテ「アマゾニア」問題ニ對シテ、政府ハ今後之ヲアタノ外交手腕ニ依ッテ、所期ノ目的通りニ解決出來ルト云フ御確信デアリマスガ、事件ノ經過及手續上ノ詳シイ事ハアタカラ伺ハヌデモ、先

刻來政府委員カラ承ッテ居ルノデアリマスガ、兎ニ角百萬町歩ノ租借開墾地ヲ、根柢カラ破約破壞サレルニ立至リ、我ガ移民ハ立往生ヲシテ居ル現狀デアリマス、併シ或ル意味ニ於テハ既得權デ、國際正義ノ上カラ云ッテモ、相手國モ當然我ガ主張通り解決シナケレバナラヌ問題ト思ヒマスガ、此際アタノ手腕ニ依ッテ、此問題ガ完全ニ解決サレル御確信ガアリヤ否ヤト云フコトヲ御同致シマス

○佐藤國務大臣 此問題ハ只今申上ゲタ通り、私ハ未ダ研究シテ居リマセヌ、但シ非常ニ大キナ問題デアルコトハ間違ナイノデアリマシテ、之ニ對シマシテハ最近歸朝サレマシタ上塚氏ガアリサウデアリマス、此方カラ十分御話ヲ聽取リマシテ、而シテ對策ヲ講ジタイト云フ考デ、先程ノ御答辯申上ゲタ次第デゴザイマス、解決ノ確信ガアルカドウカト云フコトニ付テハ、是ハ此處デ輕ク御受ケスルコトモ何ノ意味モ爲シマセズ、私ハ此問題ヲ十分研究ノ上デ善處スルト云フ外、此處デ申上ゲラレナイト思ヒマス

○牧山委員 上塚君ハ私モ友人デアリマシテ能ク知ッテ居リマス、上塚君ハ其會社ノ社長デアリマスガ、其人カラ聞イテ樽組折

衝ヲ御ヤリニナラウト云フコトデアリマスガ、「ブラジル」ニハ日本ノ大使モ居ル等デアリマス、當然大使ヨリ斯カル重大問題ニ付テハ報告ガナケレバナリマセヌガ、會社ノ社長ノ意見ヲ聽イテ、外務省ハ之ニ對スル方針ヲ御決メニナルノデアリマス、是ハ小サナ問題デアリマセヌ、日本ノ移民政策上ノ重大問題デアルト思ヒマス、重ネテ申シマス、結論トシテ此問題ヲ解決スル御確信アリヤ否ヤ

○佐藤國務大臣 此問題ハ只今聞ク所ニ依リマスト上塚氏ガ特ニ外地ニ赴カレマシテ、聯邦政府ト交渉シタ問題ダサウデゴザイマス、勿論「ブラジル」駐在ノ帝國大使カラ報告ハアルト云フ風ニ承知シテ居リマス、是等ノ問題ヲ一括シテ吾々ノ今後ノ對策ヲ講ズル上ニ、尤モ有力ナル資料トナル譯デアリマス、只今申上ゲマシタ通りニ、此問題ハ解決スル確信ガアルカドウカト云フコトニ付テハ、此處デマダ言明ヲ申上ゲル時期ニ達シテ居リマセヌ、今後對策ヲ練ツタ上ニ、果シテ解決ノ見込ガアルカドウカト云フコトニ付テ、多少前途ニ希望ヲ持チ得ルトハ思ヒマスガ、只今ノ所ハマダ此點ヲ承知シテ居リマセヌノデ……

○野村委員長 總理大臣ハ外ノ方ニモ御出

デニナルノデアリマスカラ、總理大臣ニ對スル質問ヲドウカ先ニヤッテ戴キタイ、牧山君、總理大臣ニ對シテハドウデスカ

○牧山委員 提案サレテ居ル問題ニ關聯シテ、政府ハ七百二十五萬圓ヲ出資シテ、二百七十五萬圓ダケヲ民間ノ資本デヤラウト云フ會社デアル——此會社設立ニ付テハ、當然議會ノ協賛ヲ得ナケレバナラヌ立法事項ト思ヒマスガ、斯ウ云フ立法上ノコトハ總理大臣ニ御尋ハ致シマセヌ、之ヲ何ガ爲ニ法律ニ依ル會社ニシナイカト云フ點ニ付テ、政府ノ説明ニ依ルト、若シサウ云フ手續ヲ取レバ、此移民拓殖株式會社ト云フ法案ガ議會ニ現レナケレバナラヌ、サスレバ移民地ニ於ケル「ブラジル」政府ノ感情ヲ刺戟シテ、移民遂行上惡影響ヲ及ボスト云フコトノ説明ナノデアリマス、議會政治ノ國ニ於テハ、議事ハ公開デアルカラ、日本政府ガ三分ノ一ノ株式ヲ有スル移民會社デアルカラ、相手國ニ分ラヌ筈ハナイト思ヒマス、「ブラジル」大使館モ東京ニアル譯デアリマス、頭隠シテ尻隠サズト云フヤウナ譯デ、洵ニ不徹底ナ説明デアリマスガ、要スルニ之ヲ表面ノ政府ノ特殊會社トスレバ、相手方ニ直チニ刺戟ヲ與ヘテ移民ノ目的ヲ達セラレナイ、

移民ヲ阻碍サレルコトニナルカモ知レヌトノ説明デアル、サウ云フ極メテ微妙ナル、ドンナ事ニナルカモ知レヌト云フヤウナ「ブラジル」ニ是ダケノ大金ヲ投ジテ、今後移民ヲドシ——遂行シテ行カウ、斯ウ云フコトニナルト、先刻私ノ申上ゲタコト、同ジヤウニ、ドウカスルト根柢カラ破壊サレルノデハナイカ、サウ云フ憂ガアル、今ノ御説明ニ依ッテモ明瞭デアルト思ヒマス、サウ云フ方面ニ政府ハ唯漫然ト力ヲ入レテ行カレルコトガドウ云フモノデアラウカ、斯ウ云フコトニ關聯シテ伺ッテ居ルノデアリマス、ソコデ總理大臣ハ御多用デアルサウデアリマスガ、ドウゾ庶政一新モ斷行セラル、サウデアリマスカラ、移植民政策ト云フモノハ、日本ノ人口問題ノ上カラ申シマシテモ重大ナ問題デアリマス、私ノ先刻申上ゲタノハ卑見ノ一端デアリマスガ、機會カアレバ又愚見モ申上ゲタイト思ヒマスガ、慎重ニ御考慮ニナラナケレバ、今ノ關係ガ是マデ取扱ッテ居ルヤウニ、漫然ト移民會社ナドヲ造ッテ、ソレニ役人ノ古手ヲ埋込デヤッテ行クト云フヤウナ性質ノモノデハナイト思ヒマス、相手國ト親善關係ヲ結ンデヤラナケレバナラヌノデアリマスガ、今ノ關係國ノ國情等モ十分ニ御

研究ニナリマシテ、又外務大臣等ノ御意見モアラウト思ヒマスガ、慎重ニヤッテ戴キタイと思フノデアリマス、ソコデ私極メテ簡單デアリマスガ、豫算總會ノ方デ伺フコトヲ此處デ伺ヒタイト思ヒマスガ、ソレハ昨今政府部内ノ有様ヲ見マスト、此内閣ハ政務官ノ制度ニ御反對デアルカドウカ知ラスガ、政務官ヲ御置キニナラナイ、其爲ニ事務次官以下ノ局長、書記官ト云フヤウナ主ナ方々ハ、舉ゲテ議會ノ交渉ニ没頭シテ居ラレル、其爲ニ一般ノ政務國務ト云フモノハ全ク荒廢停頓ヲ致シテ居ル事實ハ、之ヲ總理大臣ハドウ云フ風ニ御覽ニナッテ居ルカ、是ハ實ニ中央バカリデハアリマセヌ、地方ノ町村邊リカラモ苦情ガ出テ居ル縣廳邊リカラ言ッテ來ル、何度モ中央ノ指揮ヲ仰イデモ一向返事スラナイ、是デハ國民ノ迷惑ハ實ニ甚シイ、ソコデ政務官存廢ノ利害得失ニ關スル御見解ヲ極ク簡單ニ伺ヒタイト思フ、併シ私ハ重ネテ申シマスガ、現内閣ノ議會政治、政黨ニ對スル所ノ御認識ハ、是迄ノ内閣トハ違ッテ居ル、率直ニ申シマスレバ、聊カ輕視セントスル風ガアリマスカラ、議員ノ有爲有能ノ士ニシテ、進ンデ現内閣ノ政務官ヲ引受ケルカドウカト云フコトハ全ク別個ノ問題デアリマスガ、現在ノ

中央地方ニ於ケル事務ノ滯滞デ、非常ニ國民ハ迷惑シテ居ル、此事態ニ付テ總理大臣ハ如何ニ御考ニナッテ居リマスカ、是デ差支ナイト云フ御認識デアリマスカ、誠意アル御答辯ヲ煩ハシタイ

○林國務大臣 只今政務官問題ニ付テ御質疑ガアリマシタガ、此點ニ付キマシテハ、無論政務官ヲ今マデ充實シテ居リマセヌ爲ニ、幾多ノ不便ヲ感ジテ居リマス、又ソレガ爲ニ御話ノ通りノ或ハ事務ニ當ッテ居ル人が忙殺サレテ、ソレガ多少省ノ仕事ニ影響ヲ來シテ居ルト云フコトハ、或ハ有リ得ルコト、考ヘマス、其政務官問題ニ付テモ目下考究中デアリマシテ、今直チニ之ヲ補充スルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、今直チニ御答致シ兼ネマスケレドモ、其點目下考ヘテ居ル次第デアリマス

○牧山委員 政務官制度ヲ設ケタ要旨ハ、政務ト事務ヲ區別スル、政務官ガ議會ニ出テ他ノ政府委員ト協力スル、其間事務次官ガ役所ニ居ルノデアリマスカラ、事務其モノ、處理ニハ大體差支ナイヤウニ行クノデアリマス、無議議會中ハ平素ヨリ幾分事務ノ滯滞スルコトハ已ムヲ得ナイ、林首相ハヤハリ政務ト事務ヲ區別スル政務官制度ハ惡制度デナイ、適當ニ之ヲ活用スルコト

ガ議會政治ノ上ニ於テ、又國家ノ事務ヲ處理スル上ニ於テ、適當ナ制度デアルト云フコトハ御認識ニ相成ッテ居ルノデアリマスカ、首相ノ御所見ヲ承リタイ

○林國務大臣 政務官制度ハ惡制度トハ考ヘテ居リマセヌ、政黨トノ連絡其他ニ於テ、是ハ相當ナル理由ガアルト考ヘマス

○齋藤委員 私ハ移民問題ニ付テ總理大臣ニ御尋シタイ、ソレハ我國ノ移民政策トシテ、滿洲移民ニ重點ヲ置カレルト云フ話ガアリマシタ、其滿洲移民ニ付テ御尋ヲ致シマス、是ハ先日拓務省ノ政府委員ニ御尋致シタノデアリマスケレドモ、實ヲ申スト要領ヲ得ナカッタノデアリマス、段々意見ノ交換ヲ致シテ居ル間ニ、私ノ言フコトヲ御了解下サツヤウニハアリマスケレドモ、判然ト政府ノ御意見ノアル所ハ分ラナカッタ、今丁度總理大臣ガ御見エニナッテ居ルノデ御尋致ス次第デアリマス、滿洲ノ五族協和ト云フコトハ申ス迄モナク御承知ノ通りデアル、我國ノ移民ト申シマスカ、日本人モ五分ノ一ハアッテモ宜イト思フ、ダカラ三千萬國民ガ五千萬ニナレバ、其五分ノ一ノ一千萬人ハ日本人デアッテ宜イト思フ、其移民ガ朝鮮人トドウ云フ關係ガアルカ、昨年ノ五月ノ特別議會ニ於キマシテ、朝鮮カラ

滿洲ニ對スル移民ニ關シテ、色々意見ノ交換ガアリマシタ、其意見ノ交換ノ大要ヲ申上ゲマスト、朝鮮ノ政府委員及其當時ノ拓務大臣ハ、斯ウ云フコトヲ言ッテ居ラレマス、北鮮ハ人口稀薄デアリ、未開墾地モ約三十萬町歩アル、南鮮ハ人口稠密デアルカラ、南鮮ノ人々ヲ北鮮ニ送ッテ、北鮮ノ人々ヲ滿洲ニ送ル、斯ウ云フコトヲ言ウテ居ラレル、是ハ當時ノ拓務大臣以下政府委員皆同様ニ申サレテ居リマシテ、尙ホ或ル政府委員ノ答辯中ニ斯ウ云フコトガアル、宇垣總督ハ滿洲ニ對スル大量ノ朝鮮移民ヲ計畫サレテ居ル、斯ウ云フコトガアリマス、ソレデ結局五月ノ特別議會ニ於キマシテハ、鮮滿拓殖會社ト云フモノガ作ラレマシテ、十箇年十六萬ノ大量移民ヲ滿洲ニスル、斯ウ云フコトハ御承知ノ通りデアリマス、サウ云フコトガ昨年ノ五月ノ議會ニ於テ質疑應答サレマシテ、ソレガ所謂朝鮮人ノ滿洲移民ノ國策デアル、私ハ左様ニ承知シテ居リマス、然ルニ今回當委員會ニ於テ此點ニ付テ質問致シマス、朝鮮ノ政府委員ハ斯ウ云フコトヲ申サレル、朝鮮人ハ積極的ニ移民ヲ獎勵シナイデモ滿洲ニドン／＼入ッテ行カラ、ソレハ積極的ノ獎勵ハセヌ積リデアル、其點ニ於テ宇垣總督時代ノ朝鮮

ノ政府委員ト全ク考ガ違フノデアル、ソレナラバ滿鮮拓殖會社ト云フヤウナモノハ、ドンナ任務ヲ持ッテ居ルカト云フト、朝鮮人ノ向フニ行ッテ移民、或ハコチカラ參ラウト云フ者ヲ唯世話スルダケデアル、大體ハ向フヘ行ッテ朝鮮人ノ世話スルダケデアルト云フニ過ギナイモノ、ヤウニ思フ、ソコニ重點ガアル、宇垣總督時代ノ朝鮮ノ政府委員ノ方々ノ考ハ、大量ノ鮮人ヲ送ルト云フコトガ重點デアッタ、其點ニ喰違ヒガアルヤウニ思フノデアリマス、私ハ滿洲ニハ五分ノ一ノ日本人ガ居ッテ宜イ譯ダ、五族協和ト申シマスカラ、是ハ朝鮮人モ内地人モ入レマス、内地人ハ無論大量ニ滿洲國ニ移民サレナケレバ、滿洲國ノ國防モ産業モ安定ハセヌト思ヒマス、所ガ又朝鮮ヲ考ヘマシテモ、朝鮮ニモ相當内地人ガ行カナクチャナラナイ、現在ノヤウナ長イコト掛ッテ、東拓ゾタリノ仕事ガ長イ年限ヲ經過致シマシテ、ブンナ成績ヂヤ駄目ダ、モット朝鮮ニ内地人ガ行カナクチャ駄目ダ、而シテ本當ニ内鮮一如ノ實ヲ舉ゲナケレバイケナイ、サウ致シマス、トヤハリ北鮮ノ人ヲ滿洲ニ送ル、北鮮ニ南鮮ノ人ヲ送ル、其處ニ内地ノ人ガ入ッテ參ルト云フコトハ、大體ノ根本ノ考デナケレバナラヌト思フノデアリマ

ス、然ルニソレガアナタノ内閣ニナッデカラ、アナタノ政府委員ハサウ云フコトヲ考ヘテ居ラレヌ、滿洲ニハ朝鮮人ハモウ入ルベカラズト云フヤウナコトマデニ行カヌデモ、積極的ニハ移民ヲ獎勵セヌト仰セラレル、又朝鮮ニモ内地人ガ移民スルト云フコトヲ餘リ朝鮮ノ當局ハ歡迎シテ居ラヌヤウデアリマス、ソレハ色々ノ關係カラ、朝鮮ノ人口ハ南ノモノヲ北ニ移シテ調和ヲスルト云フコトハ言ッテ居リマスケレドモ、内鮮ノ關係ガ明瞭デアリマセヌ、ソレデ伺ヒタ
イコトハ、滿洲移民ニ付テ朝鮮人ノ關係、又朝鮮ノ人口ノ關聯致シマシテ内地人トノ關係、此關係ニ付テ總理大臣ノ根本ノ御考ヲ、詰リ我國ノ根本ノ滿洲移民ノ國策ト云フモノヲ伺ヒタイノデアリマス

○林國務大臣 滿洲ニ對シマシテ内地人ヲ移民スルコトハ、先程申ス通りニ差當リ五年間十萬戸、二十年間百萬戸ト云ッタイウナ大體ノ目安ヲ立テ、ヤッテ居ルノデアリマシテ、サウシマスト假ニ百萬戸トシマスレバ五百萬人、ソレカラ朝鮮人モ亦從來ノ關係カラ推シマシテモ、當然滿洲ノ方ニ移民ヲ獎勵スベキモノデアリマシテ、只今ハ特ニ積極的ニ獎勵ヲシマセヌデモ、鮮滿拓殖株式會社ガ創立セラレマシテ、ヤハリ朝

鮮人ノ滿洲移民ヲ相當ニ取扱ッテ居リマス、大體ノ從來ノ方針ト、サウ間違ナイ程度ニ鮮人ノ滿洲移民モ行ハレルモノト考ヘテ居リマス、サウシマスト内地人ノ鮮内ノ移住、是モ相當考ヘナケレバナラヌ、結局内地人ニ付キマシテ、鮮内ニ行ク者モアリ、滿洲ニ行ク者モアル、ソレカラ鮮人ハ今後益々滿洲ニ移住スルモノ、其數ハ御話ノ通り果シテ五分ノ一ト云フヤウナ譯ニ行クカドウカ分リマセヌガ、要スルニ内地人モ鮮人モ、マダ〱滿洲ノ土地ニハ十分ニ餘裕ヲ存シテ居ルノデアリマシテ、滿洲國其モノヲ固メル上カラ言ヒマシテモ、内地人、朝鮮人ノ大量ノ移住ヲシナケレバナラヌ、サウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○野村委員長 服部君
○服部教一君 私ハ總理大臣ニモ、外務大臣ニモ相當長ク御尋シタイコトガアルノデアリマスケレドモ、御忙シイ時デアリマスカラ、議會ガ濟ンダラ何時カ又伺ヒマシテ申上ゲタイト思ヒマス、只今ハ國民ノ代表者トシテ出テ居リマスカラ、其要點ダケハ申上ゲテ置カヌトイカヌト思ヒマスカラ、簡單ニ申上ゲタイト思フノデアリマス、總理大臣ニモ外務大臣ニモ聽イテ置イテ戴キタイ關係ガ三ツアリマス、其一ハ一體日本

ノ人口ヲドウ云フ風ニサレル積リデアアルカト云フコトデアリマス、毎年百萬人ヅ、殖エル此人口、七十年經テバ一億四千萬人ニナリマス、百四十年經テバ二億八千萬人ニナリマス、此日本ノ人口問題ヲ一體ドウスル積リデ居ラレマスカ、此内閣ハ何年續クカ知レマセヌガ、ドウカ確ッカリト此人口問題ヲヤッテ戴キタイソレデ時間ガ短イノデスカラ、ホレノ項目位ノコトニシテ置キタイト思ヒマスガ第二ニ伺ヒタイコトハ、吾々ガ三十五年來努力シテ内務省社會局ヲ作り、次ニ拓務省ヲ作り、今日マデ來テ居ルノデアリマス、日本ノ將來ノ發展ニ向ッテ拓務省ハ極メテ必要ト思ウテ居ルノデアリマス、在來ノ日本ノ内地ノコトハ、農民ガ困ッテ居ルカラ農民ヲ助ケル、ソレガ色々ナコトガアリマスガ、是カラ年々百萬ト產マレル所ノ人間ヲ海外ニ移スト云フヤウナコトハ、是非常ニ大切ナコトデアリマス、其拓務省ヲ廢スル積リデ居ラレルノデアリマスカ、未ダニ拓務大臣ガ出來ズニアルト云フコトハ、是ハドウ云フ御考デアルカ、其點ヲ大臣ニ伺ヒタイノデアリマス

ドウシテモ早く百萬ノ日本人ヲ滿洲ニ入レナケレバイカヌト云フコトヲ、其當時カラ主張シテ居リマス、段々其計畫ニ進ンデ來ルコトハ結構デアリマス、ケレドモ十年デ十萬戸、人口ニシテ五十萬人、毎年百萬ヅツ殖エル人間、十年デ一千萬殖エルノデアリマス、ソレヲ五十萬ヤ百萬出シテ居ッテ、一體ドウ云フ風ニナリマスカ、私ハサウ云フヤウナコトデハ到底此人口問題ノ解決、日本ノ將來ノ發展ト云フコトガ出來ナイト思ウテ居ルノデアリマス、デハドウスルカト云フト、私共ハ二十八億圓ノ豫算デスカラ、一億圓位取ッテ、内地ノ問題モ澤山アルケレドモ、ソシナモノハ後廻シニデモシテ、世界各地ニ日本移民ヲ入レテ呉レル所ヘハドン〱送ルヤウニシナケレバナラヌト思ッテ居リマス、一體日本ノ移民政策ト云フモノハ、昔カラ間違ッテ居ル、是非常ニ政府及ビ外務省アタリノ責任ダト思ウテ居ル、私ハ三十年前ニ亞米利加ニ行キマシタガ、其當時「カリフォルニア」バカリニ日本移民ヲ集メテ居ル、ソレガ爲ニ遂ニ排斥ヲ喰ッテシマッタ、アノ時分カラ外國人ハ何ト云ッテ居ッタカ、日本ノ移民ヲ亞米利加ノ方々ニ配レト云ッテ居ッタ、所ガ行キ易イ所ニバカリ行キ固マッテ居ルカラアノ通りニ

ナツノデアル、今度ノ「ブラジル」ノコトモ
サウデアル、而モ「サンパウロ」ノミニ集メ
テ居ル、私ハ南米ノ主ナル所ハ大抵廻リマ
シタガ、ア、云フヤリ方デハイカヌ、デアリ
マスカラ入レテ呉レル所ハ中米、南米ニハ
幾ラモアル、「パラグアイ」「アルゼンチン」
「ウルグアイ」等チヨイ／＼入レル所ハ澤山
アル、金ハ掛ルケレドモ、日本人ヲ世界ノ
到ル處ニ移シテ世界ヲ日本化スルコトガ必
要デアル、サウナレバ隨テ日本ノ商業モソ
レガ爲ニ盛ニナルノデアリマス、モット南米
各國ニモ中央亞米利加ニモ——亞弗利加モ
私今度八箇所廻テ來マシタガ、亞弗利加ニ
モ餘地ガアリマス、又モット南洋ニ向ッテ力
ヲ入レナケレバイカヌ、南米ハ遠イカラ幾
ラヤッデモ一年ニ五萬カ十萬シカヤレマセ
ヌガ、年々百萬ツツ殖エル所ノ人口ノ捌口
ハ之ヲ南米ニ求メナケレバイカヌと思フ、
又ドウシテモ滿洲ニ入レナケレバイカヌ、
此位デ満足シテ居ッテハイカヌと思フ、此三
點ニ對シテ私ハ他日詳シイ材料ヲ以テ意見
ヲ申上ゲ、御説モ伺ヒタイと思ヒマスガ、
今日ハ時間ヲ限ッテオ出デ下サツサウデ、
忙シイ時デアリマスカラ、此三ツノ要點ダ
ケヲ伺ッテ置キマシテ、詳シイコトハ他日ニ
譲リマス

○林國務大臣 我國ノ人口問題、年々百萬
人ヅツ殖エル此問題ニ對スル遠大ナル計畫
ヲ此際立テルベキデハナイカト云フ御趣意
デアリマスガ、是ハ御尤ナルコトデアリマ
ス、私共ト致シマシテハ、只今差當リ滿洲
國ノヤウナ、我國ノ移民ヲ歡迎シテ呉レル
廣イ地域ガアルノデアリマスカラ、此點ニ
向ッテ先ツ努力ヲスル、ソレカラ御話ノ通
リ世界ノ各地ニ於テ我が移民ヲ歡迎シテ呉
レルヤウナ方面ニハ、各方面ニ向ッテ進出
スルト云フコトヲ考フベキダト思ッテ居リ
マス、其他内地ニ於テモマダ土地ノ開拓スベ
キ所モアリマセウシ、諸種ノ研究スベキ問
題モ、此人口問題ニ關聯シテ内地ノ問題モ
アルト思ヒマス、果シテ百年ノ計ヲ定メル
コトガ出來ルカドウカ分リマセヌガ、サウ
云フヤウナ方面ニ付テハ十分ニ研究ヲ致シ
タイト思ッテ居リマス

ソレカラ第二ノ問題ハ、拓務省ノ問題デ
アリマスガ、此拓殖ノ事務ト云フモノガ、
今日ノ我國ニ於テハ非常ニ重要ナ問題デア
ルト云フコトニ付テハ、全ク御同感デアリ
マシテ、今直チニ拓務省ヲ廢スルトカ何ト
カ云フコトハ無論考ヘテ居リマセヌガ、根
本的ニ各種ノ行政機構等ノ問題モ考ヘテ居
リマス、ソレニハ先日來申上ゲテ居リマス

通りニ、權威アル一ツノ機關ヲ作ッテ、ソレ
等ニ依ッテ十分ノ研究ヲシテ諸種ノ問題ノ
根柢ヲ此際固メタイト云フヤウナコトモ考
ヘテ居リマス、ソレ等ノ關係デマダ拓務大
臣ノ任命ヲサレテ居リマセヌガ、是ハ成タ
ケ早クヤハリ近キ將來ニ於テ拓務大臣ノ任
命ヲ致サレルコトニ運ビタイト考ヘテ居ル
ノデアリマス

ソレカラ南米、中南米、殊ニ南米ト云フ
コトニ付テノ御意見ハ大體私モ御同感デア
リマシテ、此點ニ付テハ將來此日本ノ移民
ト云フ問題ヲ考ヘマス上ニ於テ、滿洲方面
ヲ考ヘ、次ニハ南米ノ方面ヲ考ヘルコトガ
最モ適當ナノデハナイカト思ッテ居ル次第
デアリマス

○牧山委員 今此移民會社ヲ特殊會社ニス
ル、サウスルト詰リ相手國ノ刺戟ガ強ク
ナッテ困ル、「遂行ノ上ニ面白クナイト云フ
コトデ、普通會社ニシテ、コソリ政府デ七百
二十五萬圓ヲ以テ目立タヌヤウニヤラウト
云フコトデアッタ、是ハ外務省ノ説明デア
リマセヌ、拓務省ノ入江次官ノ説明デアッタ
ト思ヒマスガ、亞米利加局長ハ側ニ居ッテ
サウ云フコトヲ御聞キニナッタデアリマセ
ウガ、ヤハリサウ云フコトモ考慮シナケレ
バナラヌノデアリマセウカ、是ハ一ツ亞米

利加局長ニ御相談ノ上デ御答辯ヲ煩シマ
ス

○佐藤國務大臣 此問題ハ政府委員カラ御
説明申上ゲルコトニシタイト思ヒマス

○岡本政府委員 今御審議ニナッテ居リマ
ス海外移住組合聯合會ヲ改組シテ、會社ニ
致ス件デゴザイマスガ、是ハ無論拓務省カ
ラモ當初カラ外務省ニ御協議ガアリマシ
テ、曩ニ申上ゲマシタ通りニ、「ブラジル」
ニ居リマス總領事、領事ノ意見モ聽イタノ
デアリマス、其結果總領事ナリ領事ナリノ
意見ヲ徴シテ、外務省ノ意見ヲ纏メマシタ
モノハ、對外的ノ影響及ビ在外邦人ニ對ス
ル影響ヲ慎重ニ考慮シテ、其運用ヲ誤ラナ
イナラバ、此計畫ハ非常ニ結構ナ計畫デア
ルト云フ結論ニ、吾々ハ達シタノデアリマ
ス、先程カラ牧山君其他ノ方々カラ續、御
述ニナリマシタ通り、是マデノ移住組合ヲ
會社ニサセマシテ、其會社ガ一千萬圓ノ會
社ニナッテ、其會社ノ資本金ノ四分ノ三ヲ政
府ガ持ツト云フコトニナルノハ事實デア
リマス、ソレガ「ブラジル」ノ方ニ自然ニ分
ル、分レバ外交上ニ非常ニ困ルヤウナコト
ガアリハシナイカ、外務省トシテハドウ考
ヘルカ、斯ウ云フ御趣旨ト拜承シタノデア
リマスガ、成程其點ハ御尤デアリマシテ、

吾々モ此點ハ出來ルダケサウ云フ誤解ガナイヤウニ、先程拓務省ノ政府委員カラモ縷、御述ニナリマシタガ、外部ニ對スル説明ハ、要スルニ「ブラジル」ニアル所謂「ブラジル」拓殖株式會社ト云フモノハ、是マデノ通りノ仕事ヲシテ居ル、ソレハチットモ變ラヌノデアリマスガ、唯背後ニ居ッテ之ニ投資ヲスル一ツノ會社、日本ニ出來テ、ソレガ今度一千萬圓ノ會社ニナッタノダ、是マデハソレガ組合デアッタ、サウ云フ説明デ成ベクソコニ誤解ヲ、如何ニモ日本政府ガ非常ナ金ヲ出シテ此仕事ヲヤラシテ居ルヤウナ、サウ云フ印象ヲ與ヘナイヤウニシタイ、斯ウ云フ考デ外務省ハ居リマス、サウ云フコトヲ致シマスレバ私ハ實害ハ先ヅナカラウ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○**牧山委員** ソコデ拓務次官ニ御伺致シマスガ、今御聽キノ通りデ、此會社ハ設立シタ時分ニ「ブラジル」ノ大使ガ佐藤外務大臣ヲ訪問シテ、新ニ斯ウ云フ移民會社ガ出來タガ、政府ハ其中ノ三分ノ二ノ株ヲ持ッテ居ルト云フコトヲ噂ニ聞クガ事實カドウカ、斯ウ云フ質問ノアッタ場合ニ、ソレハ國家ノ秘密デ言ヘナイト云フヤウナ答辯ガ出來マスカ、恐ラク言ヘナイダラウト思フ、サウスルト此計畫ハ日本ノ立法事項デアルノ

ニ、之ヲ普通會社トシテ一種ノ胡魔化シラヤッテ、七百二十五萬圓ト云フ政府出資ニ依ッテ之ヲ作ル、ソレデ秘密ガ保テル、斯ウ云フコトデス、サウスルトアナタノ言ハレタ秘密ヲ保ツ爲ニ、外國ヲ刺戟シナイ爲ニ、斯ウ云フ方法ヲ取ッタト云フコトハ、根柢カラ破壊サレテ意味ヲ爲サナイト思ヒマシガ、外務大臣御列席ノ上デ此點ヲ明確ニシテ載カケレバナラス、何カ國家ノ重大ナル秘密ヲ維持スル上ニ於テ、特ニ斯ウ云フ方法ヲ執ラナケレバナラスト言フノデアルナラバ、私ハマダ之ヲ首肯致シマスケレドモ、其大使ガ聞キニ行ッタ時分ニ外務大臣ハ答ヘラレナイ、又聞キ合セレバ直グ分ルコトダ、オ前ノ會社ノ株主ハ誰ダ、七百二十五萬圓ト云フ政府ノ出資ダト云フコトハ會社ニ問合セテモ分ル、全ク子供騙シ見タイナ話ヲ此神聖ナル議場ニ於テ公言ヲセラレルコトハ、私心外千萬ニ思フノデアリマス、又斯ノ如キ方法ヲ持タル、コトガ適當デアルカドウカト云フコト、又先例ガアルカドウカト云フコトニ付テハ國務大臣、法制局長官ニ質シタイト思ヒマス、之ニ對スル外務當局ノ所信ハ述ベラレテ居リマス、特ニアナタガ斯ウ云フ變態ノ策ヲ執ッタト云フコトハ、秘密ヲ保持スル、相手方ヲ刺

戟シナイ爲ノ手段方法ト言フコトハ根柢ニ於テ覆ッテ居ル、

○**入江政府委員** 御答致シマスガ、別段此會社ヲ隱サウト云フ考ハ持ッテ居リマセヌ、
「ブラジル」大使ガ聞キニ來レバ、アリノ儘ヲ話シテモ宜イト思フ、唯今日斯カル機關ヲ作ル場合ニ於テ、徒ニ外部ニ刺戟ヲ與ヘルヤウナコトハ或ベク避ケタガ宜イダラウ、斯ウ云フ趣旨ノ下ニ考ヘテ居ルダケノコトデアリマス

○**牧山委員** ドウモチヨットモ分ラナイ、政府ガ援助シテ謂ハミ政府ノ機關ダト見ラレルコトガ相手方ヲ刺戟スルト言ハレル、ソレハ大使ガ聞ケバ政府ハ七百二十五萬圓、三分ノ二ノ出資ヲシテ居ルト云フコトガ分ルコトガ面白クナイト云フコトヨリ外ニナイト思フ、サウスルト議會政治ノ國ニ於テ斯ウ云フ秘密ガ保ッテ行ケルカ、外務省ニ聞キニ來テモ、アナタノ所ニ聞キニ來テモ、向フノ總領事、コッチノ大使ガ聞イテモ、斯ウ云フコトハ隱スベキデナイ、委員長ノ報告ニモ此會社ノ目的如何、内容如何ト言ヘバ政府ガ三分ノ二ヲ出資スルト云フコトハ、當然他ノ委員ノ質問ニ對シテモ答ヘラレ、當然報告サレナケレバナラヌコトデア

ルヤウナ御説明デアルガ、改メテ伺ヒマシガ、是ハ拓務大臣ハマア形ノ上ニ於テハ拓務大臣ノ名ニ於テ關係大臣トシテ議會ニ提案サレタコトデアリマスカラ、十分ニサウ云フコトハ諒解ヲ得、議ヲ盡シテノ御提案デアルカドウカ、ソレカラ此案ガ大體出來タノハ、今御承知ノ通り増稅案デモ何デモ前内閣御膳立ヲシタ、ソレヲソックリ出シタ、其經過ヲ言ッテ居ル、目淺クシテ改編ノ暇ガナカッタカラ、是ハ已ムヲ得ナイカラ出シタノダト云フコトヲ説明サレル、總テ豫算ノ際ニモ、法律案ノ場合ニ於テモ政府ハ之ヲ聲明シテ居ル、此案ノ經過ト云フモノハ前内閣ノ經綸抱負ノ一端デアルカ、或ハ現拓務大臣、言葉ヲ換ヘテ現内閣ノ方針トシテ生レテ來タモノデアルカ、其點ヲ改メテ伺ヒタイ

○**入江政府委員** 現拓務大臣ハ十分此案ニ付テハ御承知ニナッテ居ルモノデアリマス、此計畫ハズット前内閣時代、前内閣ヨリ前々内閣時代カラ此件ニ付テハ政府ノ方デハ研究ヲ進メテ來タノデアリマス、拓務省部内ガデス、前内閣時代カラ此件ニ付キマシテハ色々研究シテ居ル、サウシテ成案ヲ得マシタノハ、前内閣ノ前拓務大臣ノ時ニモ、既ニ或種ノ成案ヲ得タノデアリマス、其成案ヲ

色々ノ方面カラ研究シマシテ、サウシテ此内閣デ初テ提案スルヤウニナッタノデアリマス

○服部教一君 一寸簡單ニ外務大臣ガオ居

デスカラ、要點ダケ御尋致シマス、詳シイコトハ何レ又他ノ機會デ御尋致シマス、此問題ニ關聯致シマシテ一寸御尋シタイコトハ、亞米利加ノ日本ノ移民ノ排斥法ガ決マリマシタ、亞米利加ニハ日本人ヲ入レナイト云フ排日法デアリマス、アレハ前ノ事デアリマス爲ニ、外務省ガ此頃ハ亞米利加ニ居ラレル大使ニ至ルマデ此問題ニ付テハモウ觸レナイヤウニシテ、忘レタカノ如クサレテ居ルノデアリマス、其影響ハドウナッデ居ルカト云フト、ソレガ今南米ニ及ンデ居ルノデアリマス、詰リ傳染シテ居ルノデアリマス、私ハ今度南米方面ヲ歩イテ來マシタガ「ブラジル」ノ二分制限案モ、ヤハリ亞米利加ガ影響シテ居リマス、ノミナラズ直接ニ尻押シヲシテ居リマス、亞來利加人ガ、ソレカラ「ウルグアイ」ニ行ッテ見レバ、ヤハリ亞米利加ノ移民制限ガ影響シテ居リマス、「アルゼンチン」「パラグアイ」ニマデ竊カニ行ッタノデアリマスガ、亞米利加、英吉利ガ付イテ來テ、サウシテ私ニ會ヒタイト云ッテ始終邪魔シヨウ、邪魔シヨウ

トシテ居ルノデアリマス、亞米利加ノ移民制限ハ、吾々アノ當時カラヤカマシクアッテコッチデ、講演シテ歩イテ居リマシタノデ、今ニ至ルマデ決シテ忘レテ居ラス、唯今言ウタ所デ、戰デモスルノナラ兎モ角、シヨウガナイカラ默ッテ居ルガ、私共決シテアンナモノヲ承知シテ居ル譯デヤナイ、是ハ無論外務省モ其通りデアルト思ヒマス、ケレドモ默ッテ居ッテ唯仲好クスルダケデハ

イカヌ、比律賓ガ毎年々々獨立運動ニ出テ行キマス、サウシテ目的ヲ達シ掛ケタ、日本モ毎年々々アノ排日法ハ取消シテ貰ヒタイト云フコトヲ忘レヌヤウニ、一ツ外務省カラシテ貰ヒタイノデアリマス、モウ日本人ハ得心シテ居ルヤウニ思ハレルト困ルノデス、ドウゾモウチット關心ヲ持ッテ戴キタイノデアリマス、アレガ世界ニ非常ニ影響シテ、排日法ト云フモノガ世界ニ傳染スルノデアリマス、現ニ「パラグアイ」ニ段々中央亞米利加、南米ト傳染サセルヤウニ、亞米利加ノ大使ヤ、公使、領事ナンカ、揃ッテヤッテ居ルノデアリマス、アレガ非常ナ害ヲシテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、此點ハ國民ガ默ッテ居ルノハ決シテ好ンデ居ルカラデハナイ、唯今言ウテモ仕方ガナイカラ決シテ忘レテ居ルノデハナ

イ、ソレデアリマスカラ是ハ毎年一回使節デモ出ス位ニ——誰カ替ッテ排日法取消ノ運動ニ毎年出ス位ニシテ貰ヒタイト思フノデス、段々外ニ宣傳シマスカラ、アレヲ早ク止メテ貰ヒタイノデアリマスカラ、此點ハドウゾ今度ノ外務大臣ニ確ッカリ御願シテ置キタイノデアリマス、其點ニ付テドウ云フ風ニ御考ヘニナッデ居リマスカ、一寸一言簡單デ宜シウゴザイマス

○佐藤國務大臣 外務省トシマシテ米國ノ排日移民法ノ存在ヲ輕視シテ居ルトカ、或ハ之ヲ忘却シテ居ルトカ云フヤウナコトハ一切ゴザイマセヌ、是ハ歷代ノ内閣ニ於テモ然リデアアルノデゴザイマスガ、常ニ大イニ監督ヲ怠ラナイノデゴザイマシテ、時勢ガソレヲ許スヤウニナリマシタナラバ、勿論十分ノ手當ヲシナケレバナラヌ問題ト考ヘテ居リマス、幸ヒニシテ現在ノ所デハ、日米間ノ關係モ漸次良好ニ向ヒツ、アルト云フ風ニ見受ケラレマス、又米國內デモ既ニ此問題ニ關シテ、自發的ニ提案ヲシテ居ル人モアルヤウデゴザリマスルシ、又サウ云フ議論ナドモ度々見受ケルノデゴザイマス、是等ノ空氣ヲ助成シテ行ッテ、而シテ或ル時期ニ同法案ノ全廢ヲ見ルト云フ風ニ指導シナケレバナラヌト云フ風ニ、吾々モ常

ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス
○野村委員長 ソレデハ明日ハ午後ノ一時半カラ開キマス、本日ハ是デ散會致シマス
午後六時三十二分散會

昭和十二年三月二十三日印刷

昭和十二年三月二十四日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社